



SharpV ため AutoVu ハンドブックは、固定
します

インストール 12.3

著作権について

© ゼネテック株式会社、2017

ゼネテック社は、エンドユーザー使用許諾契約を含むライセンスの下で提供されており、唯一のライセンス契約の条件に従って使用することができるソフトウェアで、この文書を配布しています。このドキュメントの内容は著作権法により保護されています。

このガイドの内容は情報提供のみを目的と予告なく変更することがあります。ゼネテック Inc.は、本マニュアルにおけるいかなる誤謬または不正確な記述に対しても一切の責任を負いません。

この公報には、コピー、変更、または任意の形式、あるいは任意の目的のために再現し、また任意の派生作品はゼネテック Inc.の事前の書面による同意なしに、そこから作成することができますされない場合があります。

ゼネテック株式会社は、それが適当と考えるようにその製品を改訂し、改善する権利を留保します。この文書は、文書の最後のリビジョンの時に商品の状態を説明し、将来的にはすべての回で製品を反映していないかもしれません。

いかなる場合においてゼネテック株式会社は、本明細書に記載し、この文書またはコンピュータソフトウェアおよびハードウェア製品で見つかった命令に応じへの偶発的または必然的である損失または損害に関して、いかなる個人または団体に対して責任を負うものとします。このドキュメントの使用は、エンドユーザー使用許諾契約で見つかった責任の免責事項の対象となります。

ゼネテック、ゼネテッククリアランス、の Omnicast、Synergis、AutoVu、連盟、Stratocast、Sipelia、Citywise、ゼネテック小売センス、ゼネテック交通センス、ゼネテック空港センス、ゼネテック Motoscan、ゼネテック Citigraf、ゼネテックミッションコントロール、ゼネテック ClearID、ゼネテックパトローラー、コミュニティを接続し、ゼネテックロゴ、メビウスストリップロゴ、ゼネテッククリアランスロゴ、Omnicast のロゴ、Synergis ロゴ、AutoVu ロゴ、および Stratocast ロゴはゼネテック Inc.の商標であり、登録またはいくつかの国での登録を保留することができます。この文書で使用されているその他の商標は、それぞれの製品のメーカーやベンダーの商標である場合があります。

すべての仕様は予告なく変更することがあります。

ドキュメントの情報

文書のタイトル : AutoVu ハンドブック SharpV 固定設備用 12.3 文書番

号 : EN.420.003-12.3B (2)

ドキュメント更新日 : 2017 年 5 月 19 日

あなたのコメント、修正、およびこのガイドについての提案を送信することができます
documentation@genetec.com.

本ガイドについて

このガイドでは、固定された展開に AutoVu™ SharpV システムをインストールして構成する方法についての完全なソースを提供します。

すべてのセキュリティセンターおよび AutoVu™ ドキュメンテーションのリストについては、GTAP に行きます [ドキュメント](#) ページ。

AutoVu は、多くの方法でカスタマイズすることができるが、SharpV 固定配備のための唯一のタスクが実行されるために設けられています。配備要件に応じて、リストされたすべてのタスクを実行する必要がないかもしれません。より高度な構成タスクと詳細なリファレンス情報については、セキュリティセンターの管理者ガイドを参照してください。

警告: AutoVu 認定の担当者のみが AutoVu システムをセットアップしてインストールする必要があります。AutoVu 固定またはモバイルシステムをインストールする前に、このガイドの手順のすべてを読みます。取扱説明書や情報に従わないと、ハードウェアへのデータや損傷が失われる可能性があり、保証が無効になります。

注意事項と注意事項

次の注意事項および注意事項は、このガイドで表示されることがあります。

- **先端。** トピックまたはステップの情報を適用する方法を提案しています。
- **注意。** 特殊なケースを説明し、または重要なポイントに拡大。
- **重要。** トピックまたはステップに関する重要な情報を指摘します。
- **あぶない。** アクションやステップは、データ、セキュリティ上の問題、またはパフォーマンスの問題の損失を引き起こす可能性があることを示します。
- **警告。** アクションやステップは、物理的な危害が発生、またはハードウェアの損傷を引き起こす可能性があることを示します。

重要: 第三者のウェブサイト上の情報を参照し、このガイドに現れるトピックしかし、この情報はゼネテック社に予告なく変更することがあり、出版の時点で正確でした

コンテンツ

はじめに : はじめに

著作権表示。	ii
このガイドについて	iii

第 1 章 : AutoVu SharpV 固定設備

AutoVu SharpV について。	2
AutoVu SharpV について。	3
SharpV 固定設備用のハードウェアコンポーネント	4
SharpV 固定設置に必要な工具および部品	5
SharpV の仕様.....	6
SharpV 固定展開の概要	10
SharpV 測位ガイドライン	14
プレートは SharpV のための距離を読みます レンズ	14
SharpV カメラのネットワークケーブルの要件	16
SharpV 入力/出力ケーブル終端	18
SharpV カメラを取り付けるためのガイドライン	21
利用可能な Videotec 取り付けブラケット	22
SharpV の日除けについて	23
SharpV ケーブルの接続	24

第 2 章 : SharpV 固定設備のトラブルシューティング

SharpV カメラの LED ステータス 単位	26
--------------------------------	----

第 3 章 : SharpV ウェブポータル概要

SharpV Web ポータルへのログオン	29
SharpV Web ポータルインターフェ이스の概要	30
SharpV の Web ポータルにログオンパスワードを変更します	31
SharpV ウェブからカメラを再起動 ポータル	32
SharpV ウェブの設定のインポートとエクスポート ポータル	33
SharpV クロックの同期	34

第 4 章 : SharpV のソフトウェア構成

SharpV ポータルのセキュリティ設定	
--------------------------------	--

	36	
自己署名を使用して SharpV への接続を暗号化します 証明書	37
署名を使用して SharpV への接続を暗号化します 証明書
	40	
SharpV のネットワーク設定を構成します
	42	
フォールバック IP アドレスを使用して SharpV カメラへの接続	42
カメラの表示 SharpV カメラからのフィード	43
SharpV ズームとフォーカスのキャリブレーション
	. 44	
プレートは SharpV のための距離を読みます レンズ
	. 47	
屋内設置用 SharpV 露出調整について
	49	
屋内用のカスタム SharpV LPR カメラの露出レベルを設定します インストール
	49	
屋内設置用のカスタム SharpV コンテキストカメラの露出レベルを設定します	50
屋外設置のための SharpV 露出調整について
	51	
屋外用のカスタム SharpV LPR カメラの露出レベルを設定します インストール
	51	
SharpV 分析の設定
	56	
仮想ループのキャリブレーション	57
速度推定のキャリブレーション
	63	
SharpV は、その LPR データを送信した場合の設定
	66	
セキュリティへの SharpV カメラの接続 センター
	66	
SharpV の通信ポート
	67	
LPR に SharpV カメラを追加 マネージャー
	68	
アーカイバに SharpV カメラを追加
	69	
SharpV FTP 拡張機能の設定
	70	
あなたは SharpV FTP の XML テンプレートに変更することができます	70
SharpV HTTP の拡張機能の設定
	72	
SharpV HTTP の拡張のための JSON と XML LPR イベントの例	72
SharpV ログの syslog の設定 ファイル
	75	

第 5 章 : アップグレード

シャープポータルから SharpV の更新	77
セキュリティセンターから SharpV を更新	78

第 6 章 : シャープポータル参照

シャープポータル - 概要ページ	80
シャープポータル - カメラがページをフィード	82
シャープポータル - ネットワークページ	83
シャープポータル - セキュリティページ	84
シャープポータル - ズームとフォーカスページ	86
シャープポータル - カメラページ	88
シャープポータル - 解析ページ	89
シャープポータル - Extension ページ	91
シャープポータル - 日付と時刻のページ	93
シャープポータル - 電源オプション ページ	94
シャープポータル - メンテナンスページ	95
シャープポータル - ログページ	96
どこの製品情報を検索します	97
技術サポート	98
SharpV LPR のための屋外暴露の問題のトラブルシューティング カメラ	52
SharpV コンテキストカメラ用屋外暴露の問題のトラブルシューティン	53
フォールバック IP を使用して SharpV カメラへの接続 住所	55

AutoVu SharpV 固定設備

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「AutoVu SharpV について」 2 ページ
- 「AutoVu SharpV について」 3 ページ
- 「SharpV 固定設備のハードウェアコンポーネント」 4 ページ
- 「SharpV の仕様」 6 ページ
- 「SharpV 固定展開の概要」 10 ページ
- 「SharpV 位置決めガイドライン」 14 ページ
- 「SharpV カメラ用ネットワークケーブルの要件」 16 ページ
- 「SharpV 入力/出力ケーブル終端」 18 ページ
- 「SharpV カメラを取り付けるためのガイドライン」 21 ページ
- 「SharpV ケーブルの接続」 24 ページ

AutoVu™ SharpV について

AutoVu™ SharpV はオールインワン専門自動ナンバープレート認識 (ALPR) デバイスであります。これは耐久性の高い、環境に密封されたユニットにオンボード処理及び照明を有する2つの高精細カメラを組み合わせました。



* カメラのオプションに応じて、5つのLPR照明器は、暗状態で表示されて光を放出する可能性があります。単一コンテキストカメラ照明は、可視光を発生しません。

AutoVu™ SharpV について

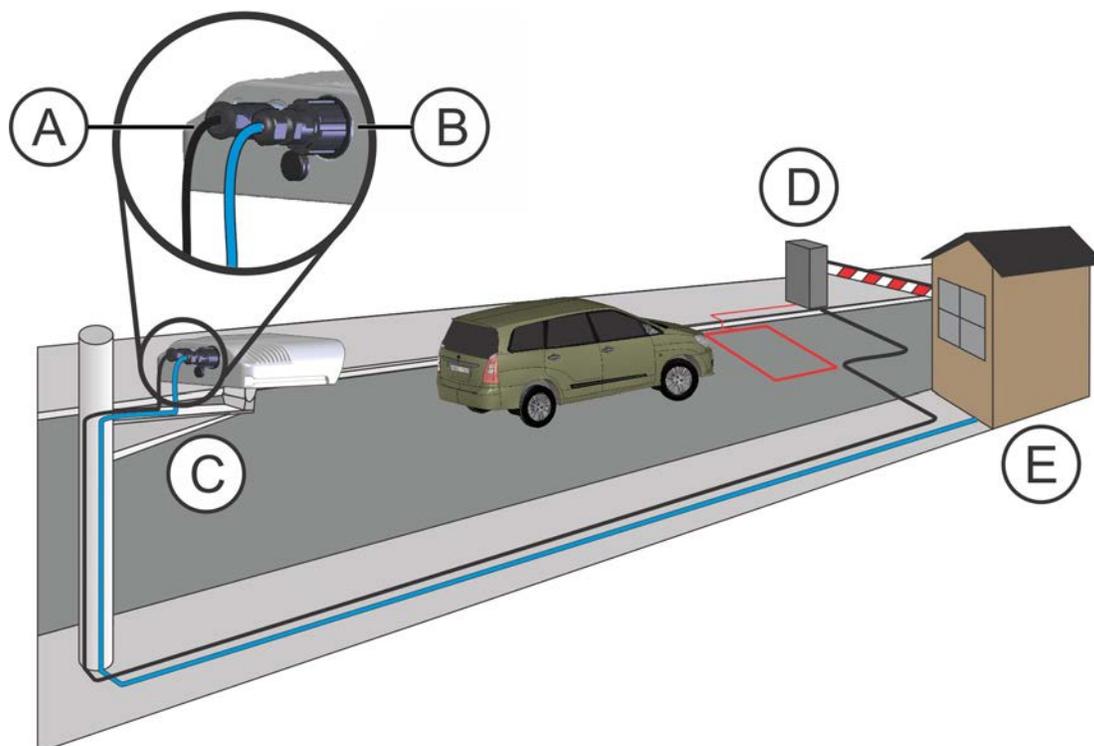
AutoVu™ SharpV はオールインワン専門自動ナンバープレート認識 (ALPR) デバイスであります。これは耐久性の高い、環境に密封されたユニットにオンボード処理及び照明を有する 2 つの高精細カメラを組み合わせました。



* カメラのオプションに応じて、5 つの LPR 照明器は、暗状態で表示されて光を放出する可能性があります。単一コンテキストカメラ照明は、可視光を発生しません。

SharpV 固定設備用のハードウェアコンポーネント

SharpV システムをインストールする前に、あなたが標準インストールで使用されるハードウェアコンポーネントを理解しておくことをお勧めします。



成分	あなたは知っておくべきこと
A SharpV : 入力/出力接続	SharpV は、2 入力 2 つの出力 (I/O) を含みます。あなたはナンバープレートの読み取りをトリガするために入力信号を使用するように SharpV を設定することができます。詳細については、 SharpV 入力/出力ケーブル終端 18 ページ。
B SharpV : ネットワークケーブルの接続	SharpV は、標準の CAT5e ネットワークケーブル (含まれていない) を使用して、ネットワークに接続します。詳細については、 ネットワークケーブル SharpV カメラのための要件 16 ページ。
C 取り付けブラケット	Videotec WBJA (白) または WBJF (黒) 取り付けブラケットが含まれています SharpV と。互換性の取り付けブラケットの一覧については、 利用可能な Videotec 取り付けブラケット 22 ページ。
D 入出力コントロール	SharpV の入力と出力を使用して、セキュリティを設定することができます センターでは、有効なライセンスプレートの読み取りに基づいてエントリポイントを制御します。詳細については、 SharpV 入力/出力ケーブル終端 18 ページ。
E PoE + パワー	電源は PoE の+を使用して、ネットワークケーブルを介して SharpV に供給されます。 注意： PoE +と比較して、電力の 25.5 W の最大値を提供します 標準の PoE により提供 15.4 W。

SharpV 固定設置に必要な工具および部品

SharpV 固定ハードウェアをインストールする前に、あなたが正常にインストールを完了するために必要な工具および部品を持っていることを確認してください。

- **深さ制御ケーブルジャケットストリッパー**：内部導体の損傷を避けるための CAT5e および I/O ケーブルジャケットを剥離するために推奨。
- **ワイヤーストリッパー**：銅線の絶縁体を除去するために必要。
- **RJ45 は、圧着工具**：ネットワークケーブルの RJ45 コネクタを圧着するためにプロ品質のツールを使用してください。
- **2 ミリメートルの六角ドライバー（付属）**：SharpV のズームとフォーカスを設定するときが必要です。
- **CAT5e ネットワークケーブル**：SharpV 通信および PoE +電源に必要です。詳細については、[SharpV カメラのネットワークケーブルの要件](#) 16 ページ。
- **RJ45 コネクタ**：一つの RJ45 コネクタは IP67 コネクタアセンブリに含まれています。IP67 コネクタアセンブリは、標準的なシールドまたはシールドなし RJ45 コネクタをサポートしています。詳細については、[ネットワーク SharpV カメラのケーブル要件](#) 16 ページ。
- **I/O ケーブル（オプション）**：あなたは、外部機器を制御するために SharpV の入力と出力を使用している場合は、十分なケーブルを使用する必要があります。詳細については、[SharpV 入力/出力ケーブル終端](#) 18 ページ。
- **PoE +対応のスイッチ、ルータ、またはインジェクタ**：SharpV に電源を供給するために必要。

重要:

- パワー・オーバー・イーサネット; 802.3at のタイプ 2 (25.5 W)
- 「PoE 対応+」というラベルが付いていないすべてのハードウェアは SharpV で使用するために必要とされる IEEE 802.3at 標準規格を満たしています。
- スイッチまたはインジェクタは PoE +を提供する能力を持っているかもしれませんが、機能は、デバイスのコンフィギュレーション設定で有効にする必要があります。設定が PoE +またはリンク層検出プロトコル (LLDP) のために存在している場合、これらの設定を有効にします。
- PoE +のソースに接続されているすべてのハードウェアの総消費電力が PoE +ソースの電力バジェットを超えていないことを確認してください。各 SharpV カメラは 25.5 W.が供給されなければなりません

SharpV の仕様

SharpV カメラを計画して展開するときに、技術的、機械的、および環境仕様を参照してください。

機械的および環境仕様

Hardware Specification	
LPR カメラ センサー	1280 x 960 のプログレッシブスキャン @ 30fps の (LPR) 、モノクロ
コンテキストカメラ センサー	30 の FPS、15 の FPS (ストリーミング) @ 1280x960 プログレッシブスキャンカラー
	(標準モデルでのみ使用可能)
	注意: コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
イルミネーター	0 ルクスで効果的に使用する LED 照明をパルス (暗闇) 環境。異なる照明波長が利用可能です。
キャプチャー 範囲	<ul style="list-style-type: none"> 標準: 2.75~18.25 メートル (9~60 フィート) 長距離: 35 メートル - 18.25 (60~115 フィート)
カ サプライ	PoE + (パワー・オーバー・イーサネット; 802.3at のタイプ 2
(25.5 W)) 圧縮	LPR 画像の同時 MJPEG ビデオ圧縮と JPEG 温度 動作温度
	60°C に -40°C (140°F に -40°F)
水 抵抗	IEC 60529 : IP67
振動	NEMA TS-2 あたりとして : 5~30 ヘルツ。0.5 グラムのダブル振幅
電磁波耐性と排出量	FCC パート 15 サブパート B。ICES-003 号 4。CISPR32 / EN55032; CISPR 24 / EN 55024
外部の I/O	<ul style="list-style-type: none"> 2 つの入力 (偏光絶縁型 DC) 2 つの出力 (光絶縁、乾式) 外部
の インタフェース	1x10/100/1000 ベース-T イーサネット
ポート 大きさ (高さx幅x奥行き)	63 X 192 X 214 ミリメートル (2.5x7.6x8.5 インチ)
	69 ミリメートル (2.7 インチ) : ブラックバージョンのサンシールドを含む高さ
重量	2.29 キロ (5.04 ポンド)
利用できる色	白または黒のセキュリティ
EMC 指令 (CE マーキング)	2004/108 / EC

ネットワークケーブルの仕様

Hardware Specification	
ケーブル 格付け	CAT5e (IP67 等級のために提供される特別なコネクタ)
シールド	シールドまたはシールドなし
導体 ゲージ	24 AWG
導体 配置	ストレート EIA-568A または EIA-568B
ケーブル 直径	6.7 ミリメートル - システムに同梱されている RJ45 コネクタは範囲 4.8 の CAT5e ケーブル直径を受け付ける (0.19 - 0.26) です。
ケーブル 長さ	最大 100 メートル (330 フィート)
環境の	ネットワークケーブルは、あなたの気候に適した温度定格を持つ、防水性と耐 UV 性でなければなりません。
PoE+ 標準	パワー・オーバー・イーサネット; IEEE 802.3at のタイプ 2 (25.5 W)

入力/出力仕様

ハードウ	仕様
入力	
入力数	2
入力 格付け	0 VDC - 30 VDC
オン状態保証 しきい値	5.75 V
OFF 保証状態 しきい値	4.80 V
過電圧 保護	付属
逆電圧 保護	付属
入力 タイプ	光絶縁、DC 偏
アウトプット	
出力数	2
出力 格付け	30 V / 100 ミリアンペア
オン状態 電圧	2 ミリアンペア @ = <1.0 V 100 ミリアンペア @ = <2.5 V
過電流 (過負荷) 保護	付属

HardwareSpecification

逆電圧保護	付属
出力タイプ	フォトカプラ絶縁、乾燥

入力/出力ケーブルの仕様

HardwareSpecification

ケーブル直径	8ミリメートル - I/Oケーブルアセンブリは、範囲4にケーブル直径と互換性があり(0.16 - 0.31)。 注意： 二つの異なるケーブルシールは、I/Oケーブルアセンブリに含まれていません。使用しているケーブルの直径のために、インストールするシールを決定するために、メーカーの説明書を参照してください。
ワイヤーゲージ	I/Oケーブルアセンブリは、20 AWGの最大ワイヤゲージをサポートすることができます。ケーブルの電圧定格はSharpV I/Oの仕様に適していなければならないし、あなたの地域の電気規格に準拠する必要があります。
天気格付け	ケーブルは防水、UV耐性がなければならない、とお住まいの地域に合わせて屋外設置のために評価されなければなりません。

仕様取付 SharpV

HardwareSpecification

取り付けボルト	タイプ M6
取付穴距離	70ミリメートル(2.76。)
取付穴深さ	9.5ミリメートル(0.37インチ)

部品番号

AU-V-WS850-LC

成分

意味

A	SharpVプレフィックス
B	色：W(白)またはB(ブラック)
C	範囲： <ul style="list-style-type: none"> S(標準)：2.75~18.25メートル(9~60フィート) L(ロングレンジ)：35メートル - 18.25(60~115フィート)

成分	意味
D	照明：ナノメートルで LED 照明
E	カメラのオプション：LC (LPR およびコンテキスト) または L (ITS - インテリジェント交通システム：LPR のみ)

SharpV 固定展開の概要

固定 SharpV システムを導入に関与する多くのタスクがあります。プロセスをガイドするための基準として、この概要を使用します。

展開のための準備

これらは、サイトに行く前に、デプロイメントのために実行するタスクです。あなたは、このチェックリストでタスクを完了できない場合は、お使いのゼネテック株式会社の担当者にお問い合わせください。

Task Description		どこより多くの情報を見つけるために
<ul style="list-style-type: none"> 適切なサイト調査が完了したことを確認します。 	<p>サイト調査は、以下の情報を含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> カメラ名 カメラの設置高さ 道路からカメラポール距離 道路幅 カメラのパン・チルト カメラの読み取り距離 (予想プレート位置までの距離フォームカメラ) からのスクリーンショット <i>視野ツール</i> カメラ位置 (磁極と道路) の写真 予想車速最大値 	<p>SharpV 測位ガイドライン 14 ページ</p>
<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を記入 <i>AutoVu 固定配備アンケート</i>。 	<p>アンケートは、あなたがシステムを展開するために必要な情報を収集することができますたとえば、連絡先情報、サイト情報、および AutoVu™ システムの詳細は、インストールされています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> AutoVu のコピーを入手するには <i>固定された駐車場の展開アンケート、あなたのゼネテック株式会社 AutoVu お問い合わせください™ 代表。</i>
<ul style="list-style-type: none"> 製品関連のリリース・ノート <i>を参照してください。</i> 	<p>リリースノートには、現在のリリースに関する情報、ならびに任意の既知の問題や制限が含まれています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <i>セキュリティセンターのリリースノート</i> <i>SharpV リリースノート</i>
<ul style="list-style-type: none"> カメラを装着するための責任がある電気工事業者へのインストールドキュメントを送信します。 	<p>電気工事業者は、次の操作を実行するために必要とされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ポール、壁、または天井にカメラをマウントします。 カメラに NEMA ボックスからコンジットを実行します。 カメラでと NEMA ボックス内の電氣的接続を行います。 	<p>に電気技師を参照してください。 <i>AutoVu をインストールして接続する方法™ SharpV カメラある文書、SharpV ボックスに含まれています。</i></p>

仕事	説明	どこより多くの情報を見つける
<ul style="list-style-type: none"> 電気工事業者がどこにカメラをマウントするために理解していることを確認してください。 	<p>電気工事業者に以下の情報を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置場所 例えば、説明書を取り付け、トップマウント、ボトムマウント、またはポール - マウント おおよその設置角度 	<ul style="list-style-type: none"> インストール情報は、サイト調査に基づいて提供することができます。
<ul style="list-style-type: none"> カメラに IP アドレスを割り当てます。 	<p>あなたはアーカイバにカメラを追加する場合 SharpV は、静的 IP アドレスを持っている必要があります。</p> <p>カメラが搭載されている前に、あなたがこれを行うことをお勧めします。</p>	<p>SharpV ネットワークの設定設定 42 ページ</p>
<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェアアップデートを適用すると、インストールのために、カメラを事前に設定します。 	<p>たとえば、コンテキストとサーバの IP アドレスを設定します。</p> <p>カメラが搭載されている前に、あなたがこれを行うことをお勧めします。</p>	<p>SharpV 分析の設定 56 ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> どこ SharpV の設定 その LPR データを送信します ページ上 66
<ul style="list-style-type: none"> Security をインストール Center.Security インストールする必要があります 	<p>センターでは、サイトに行く前に、リモート接続を介してサーバー上。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 見ます セキュリティセンターのインストールガイド.
<ul style="list-style-type: none"> セキュリティセンターでの LPR マネージャーの役割を設定します 	<p>LPR Manager は SharpV カメラからの LPR データを管理し、制御の役割です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> LPR マネージャの設定については、以下を参照してください セキュリティセンター管理者ガイド.
<ul style="list-style-type: none"> (オプション) セキュリティセンターで許可証を作成して構成します。 	<p>許可証は、単一の駐車許可証の保持者リストを定義するエンティティのタイプです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 詳細については許可証は、参照します セキュリティセンター管理者ガイド.
<ul style="list-style-type: none"> (オプション) ホットリストを作成して構成します。 	<p>セキュリティセンターでホットリストエンティティを使用するには、ホットリストを作成するソーステキストファイルにマッピングし、あなたの施行シナリオのためにそれを設定する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ホットリストの作成については、以下を参照してください セキュリティセンター管理者ガイド.

仕事	説明	どこより多くの情報を見つける
<ul style="list-style-type: none"> カメラが正しくインストールされたことを確認してください。 	<p>カメラは、取り付けられた電力を供給し、あなたがサイトに到着する前に、ネットワークに接続する必要があります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 電気工事業者にお問い合わせください。
<ul style="list-style-type: none"> ファイアウォールを設定 入ってくるカメラの接続を許可するためのルール。 	<p>カメラは、インターネット上で、お客様のネットワークと通信しなければならない場合は、ファイアウォールのポート転送ルールが有効になっていることを確認してください。カメラの設定のために、サーバのパブリック IP アドレスを取得します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の IT 部門に確認してください。

サイトのタスク

これらは、サイト上でしばらく実行するタスクです。あなたは、このチェックリストでタスクを完了できない場合は、お使いのゼネテック株式会社の担当者にお問い合わせください。

TaskDescription	どこより多くの情報を見つけるために	
<ul style="list-style-type: none"> カメラが正しい場所にインストールされているかどうかを助けるために手であなたの最初のサイト調査を持っています。 	<p>カメラ配置とケーブルの接続が正しいことを確認してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SharpV カメラマウント SharpV ネットワークケーブルの接続 SharpV I/O ケーブルの接続
<ul style="list-style-type: none"> カメラを向け、フォーカスとズームを調整します。 	<p>適切な位置決め、および角度を決定するのを助けるために手であなたの最初のサイト調査を持っています。これは、カメラの照準を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> SharpV 測位ガイドライン 14 ページ プレートは SharpV のための距離を読みます レンズ 14 ページ SharpV ズームをキャリブレーションし、フォーカス 44 ページ。
<ul style="list-style-type: none"> セキュリティセンターにカメラを追加します。 	<p>プレートは、セキュリティセンターで読み込む受信するには、LPR Manager にカメラを追加する必要があります。セキュリティセンターのコンテキストカメラのビデオフィードを表示するには、アーカイバにカメラを追</p>	<p>加する必要があります。</p> <p>注意： コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。</p>

仕事

説明

どこより多くの情報を見つける

LPR に SharpV カメラ
を追加 マネージャー
68 ページ

- [に SharpV カメラ
を追加 アーカイ
ブ](#) 69 ページ

TaskDescription

どこより多くの情報を見つけるために

- | | | |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • テスト システム。 | <p>インストールの終わりにハードウェアが機能していることを保証するために、システムをテストし、テストのパフォーマンスに読み出し報告を行います。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • 使用した LPR のパフォーマンス結果を生成します。パフォーマンスアナライザツール。 |
| <ul style="list-style-type: none"> • エンドユーザーにオペレータのトレーニングを提供します。 | <p>セキュリティデスクユーザーガイドセキュリティデスク機能とコマンドを説明し、そして、そのようなライブイベントの監視、ビデオ再生、インスタントリプレイ、レポート生成、アラーム管理、および訪問者の管理などのタスクを実行する方法についての指示を提供します。</p> | <ul style="list-style-type: none"> • AutoVu オペレータのトレーニングについては、を参照してください。セキュリティデスクユーザーガイド。 |

展開をファイナライズ

これらは、カメラがインストールされ、設定された後に実行するタスクです。あなたは、このチェックリストでタスクを完了できない場合は、お使いのゼネテック株式会社の担当者にお問い合わせください。

仕事

説明

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> • 作ります 展開フィールドレポート。 | <p>あなたは送信する必要があります 展開フィールドレポート to Autovu.deployment@genetec.com</p> <p>報告書は、含める必要があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • インストールの日付 • 連絡先 • セキュリティセンター情報 • ハードウェア情報 • カメラ名、カメラ (黄色ステッカー) からのシリアル番号。ログオンパスワード (デフォルトと異なる場合)。 • 配線情報 • ネットワーク情報 • サイト調査情報と、元のサイト調査への変更 • LPR のパフォーマンスの結果 • インストールの写真 • 完了ステータス (ない 100% 完全な場合、提供する行動計画) • 特記事項 |
| <ul style="list-style-type: none"> • 顧客とのフォローアップ。顧客を確保するために、1~2 週間、展開後のフォローアップ満足。 | |

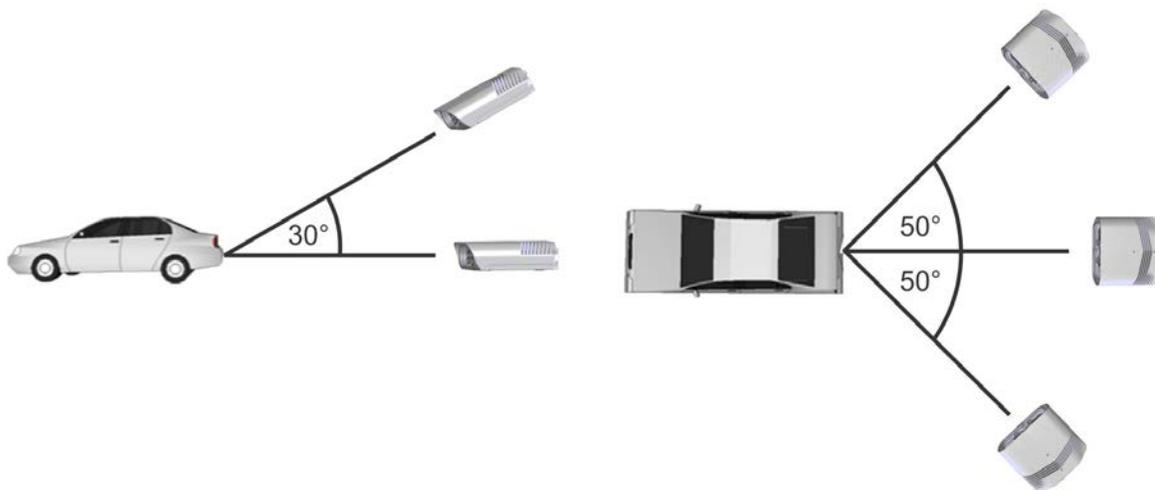
SharpV 測位ガイドライン

最も正確なプレート読み取り達成するために、あなたは、車両が通過すると予想地域からの正しい角度と距離で SharpV カメラをインストールする必要があります。

SharpV カメラの位置を選択する際に以下のことを考慮してください。

カメラアングル：

例えば高速道路上のような高速、で走行している車両でプレートを捕捉するために、カメラの水平方向および垂直方向の角度を減少させます。角度を減少させること車両がカメラの視野に残る時間の量を増加させ、成功したプレートリードの可能性を増加させます。カメラの角度が最大 30° 上下左右 50° までにより直上のビューから逸脱することができます。



プレートからの距離：

SharpV カメラが調整可能なズーム、フォーカスを持っているので、あなたが選択したプレート読み取り位置の特定の距離内にカメラを設置することができます。SharpV ポータルを使用して、正確なプレート読み取りのために、次にズームを調整し、そのナンバープレートの文字は正しいサイズ（ピクセルの高さ）ですので、集中しなければなりません。ズームとフォーカスの設定の詳細については、[SharpV ズームとフォーカスのキャリブレーション](#) ページ上

44.

SharpV は、次の読みの範囲をサポートするために、レンズと照明の組み合わせで提供されています：

- **標準：** カメラから - (60 フィート 9) 18.25 メートル - 捕獲プレートは、2.75 の距離で読み取ります。
- **長距離：** カメラから - (115 フィート 60) 35 メートル - 捕獲プレートは、18.25 の距離で読み取ります。

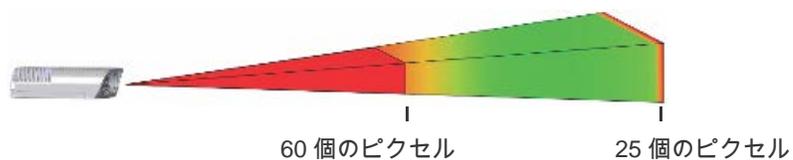
関連トピック

[SharpV ズームとフォーカスのキャリブレーション](#) 44 ページ

プレートは SharpV レンズの距離を読みます

SharpV カメラがサポートできるビューの最大プレート読み取り距離とフィールドレンズの種類とカメラのズーム設定に依存します。

最適なパフォーマンスを得るために、標準および長距離 SharpV カメラ用の次のインストールの距離を尊重します。



レンズ typeZoom	level60	ピクセル (最大) 25	ピクセル (最小)
標準 lensReading	distance2.75	M (9 フィート) 18 : 25	メートル (60 フィート)
長距離 lensReading	distance18.25	M (60 フィート) 35	メートル (115 フィート)

SharpV カメラのネットワークケーブルの要件

SharpV は、標準の CAT5e ネットワークケーブル (含まれていない) を使用して、ネットワークに接続します。選択し、ネットワークケーブルを準備する際の仕様のリストを参照してください。

ネットワークケーブルの仕様

Hardware Specification

ケーブル 格付け	CAT5e (IP67 等級のために提供される特別なコネクタ)
シールド	シールドまたはシールドなし
導体 ゲージ	24 AWG
導体 配置	ストレート EIA-568A または EIA-568B
ケーブル 直径	6.7 ミリメートル - システムに同梱されている RJ45 コネクタは範囲 4.8 の CAT5e ケーブル直径を受け付ける (0.19 - 0.26) です。
ケーブル 長さ	最大 100 メートル (330 フィート)
環境の	ネットワークケーブルは、あなたの気候に適した温度定格を持つ、防水性と耐 UV 性でなければなりません。
PoE+ 標準	パワー・オーバー・イーサネット; IEEE 802.3at のタイプ 2 (25.5 W)

RJ45 IP67 コネクタアセンブリ

SharpV は、屋外設置におけるネットワークのケーブル終端を耐候するために使用されている必要があります。IP67 定格 RJ45 コネクタアセンブリが同梱されています。詳細については、RJ45 IP67 コネクタアセンブリに含まれているインストール手順を参照してください。

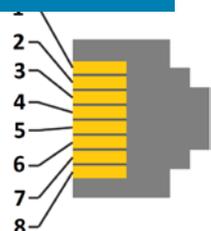
重要: あなたは前にケーブルフィッティングとプラグハウジングアセンブリを介してケーブルを渡す必要があります。

ネットワークケーブル終端を作成します。

ネットワークケーブル終端

- 一つの RJ45 コネクタは IP67 コネクタアセンブリに含まれています。IP67 コネクタアセンブリは、標準的なシールドまたはシールドなし RJ45 コネクタをサポートしています。
- ストレート EIA-568A または EIA-568B の導体装置とネットワークケーブルを終端します。

Pin #	フェア-T568A	Pin #	フェア-T568B
1	ホワイト/グリーン	1	ホワイト/オレンジ
2	緑	2	オレンジ
3	ホワイト/オレンジ	3	ホワイト/グリーン
4	青	4	青
5	ホワイト/ブルー	5	ホワイト/ブルー



Pin #	フェア-T568A	Pin #	フェア-T568B
6	オレンジ	6	緑
7	ホワイト/ブラウン	7	ホワイト/ブラウン
8	褐色	8	褐色

ネットワークケーブル、電源

電源は PoE の+を使用して、ネットワークケーブルを介して SharpV に供給されます。次のいずれかの方法を使用して、ネットワークケーブルを電源：

- **PoE +スイッチまたはルータ**：（パワー・オーバー・イーサネット、IEEE 802.3at のタイプ 2 (25.5 W)) の PoE + 100 メートル (330 フィート) の最大長さを有しているネットワークケーブルを接続するイーサネットスイッチポート。
- **PoE +パワーインジェクタ**：あなたは非 PoE スイッチを使用している場合は、PoE 対応+インジェクタは SharpV とスイッチの間に追加する必要があります。SharpV とスイッチとの間に実行するネットワークケーブルの全長は 100 メートル (330 フィート) を超えてはなりません。

重要:

- 「PoE 対応+」というラベルが付いていないすべてのハードウェアは SharpV で使用するために必要とされる IEEE 802.3at 標準規格を満たしています。
- スイッチまたはインジェクタは PoE +を提供する能力を持っているかもしれませんが、機能は、デバイスのコンフィギュレーション設定で有効にする必要があります。設定が PoE +またはリンク層検出プロトコル (LLDP) のために存在している場合、これらの設定を有効にします。
- PoE +のソースに接続されているすべてのハードウェアの総消費電力が PoE +ソースの電力バジェットを超えていないことを確認してください。各 SharpV カメラは 25.5 W.が供給されなければなりません

避雷

SharpV は、基本的な雷サージ保護を備えています。PoE +インジェクタ、および PoE +スイッチは、通常、基本的な雷サージ保護 (ハードウェア仕様を検証する) が装備されています。でのインストールの場合 **エリア 頻繁に高エネルギーの雷サージの対象となっていること** 以下の追加の保護対策の一つ以上を使用して、ネットワークケーブルを保護することをお勧めします。

- 接地金属導管。
- ギガビット・イーサネット (1000BT) の PoE +システム (; IEEE 802.3at のタイプ 2 (25.5 W) オーバーイーサネットなパワー) と互換性のある外部のサージプロテクタ。
- PoE +インジェクタまたは+の PoE イーサネットスイッチで接地 RJ45 コネクタを有するシールドイーサネットケーブル。

SharpV 入力/出力ケーブル終端

SharpV は、2 入力 2 つの出力 (I/O) を含みます。あなたはナンバープレートの読み取りをトリガするために入力信号を使用するように SharpV を設定することができます。セキュリティセンターと連携して SharpV を使用する場合は、入力と出力は、システムイベントに反応するように、あなたは、イベントとアクションを作成することができます。

SharpV I/O の仕様

ハードウ	仕様
入力	
入力数	2
入力 格付け	0 VDC - 30 VDC
オン状態保証 しきい値	5.75 V
OFF 保証状態 しきい値	4.80 V
過電圧 保護	付属
逆電圧 保護	付属
入力タイプ	光絶縁、DC 偏
アウトプット	
出力数	2
出力 格付け	30 V / 100 ミリアンペア
オン状態 電圧	2 ミリアンペア @ = <1.0 V 100 ミリアンペア @ = <2.5 V
過電流 (過負荷) 保護	付属
逆電圧 保護	付属
出力タイプ	フォトカプラ絶縁、乾燥

I/O ケーブルの仕様

HardwareSpecification

ケーブル 直径 8 ミリメートル - I/O ケーブルアセンブリは、範囲 4 にケーブル直径と互換性があり (0.16 - 0.31)。

注意： 二つの異なるケーブルシールは、I/O ケーブルアセンブリに含まれていません。使用しているケーブルの直径のために、インストールするシールを決定するために、メーカーの説明書を参照してください。

Hardware Specification

- ワイヤー ゲージ** I/O ケーブルアセンブリは、20 AWG の最大ワイヤゲージをサポートすることができます。ケーブルの電圧定格は SharpV I/O の仕様に適していなければならないし、あなたの地域の電気規格に準拠する必要があります。
- 天気 格付け** ケーブルは防水、UV 耐性がなければならない、とお住まいの地域に合わせて屋外設置のために評価されなければなりません。

避雷

SharpV I/O ケーブルポートは、基本的な雷サージ保護を備えています。でのインストールの場合ある分野 頻繁に高エネルギーの雷サージの対象、あなたが以下の追加の保護対策の一つ以上を使用して I/O ケーブルを保護することをお勧めします。

- I/O デバイスで接地シールドを有するシールドケーブル。
- I/O が接続された回路の正常電圧範囲に準拠して I/O の外部避雷器。

I/O ケーブル終端

指示に従って、I/O ケーブルアセンブリと I/O ケーブルを終端は、ハードウェアに含まれています。

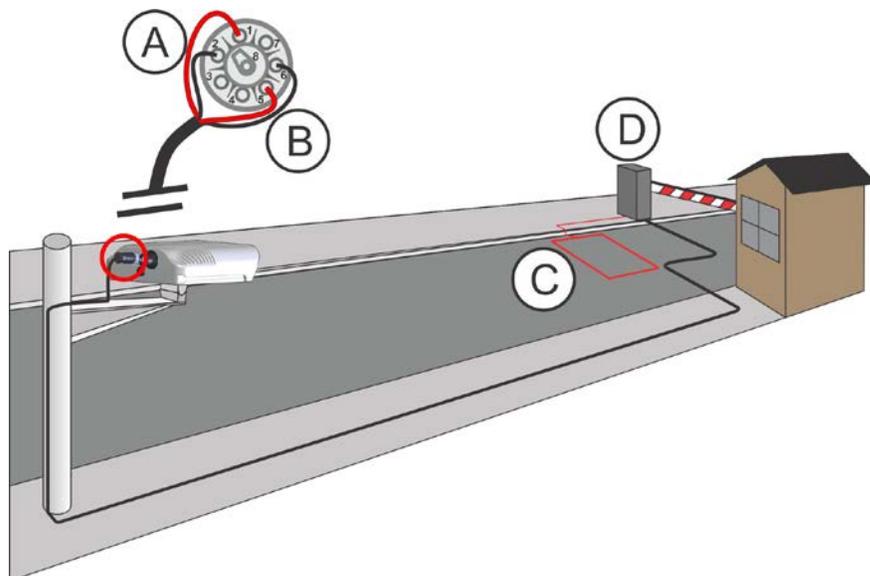
次のピン配置図は、SharpV 入力および出力に対応します。



I/O ケーブルアセンブリ ピン number	SharpV 入力または出力
Pin # 1	Output 1 +
Pin # 2	Output 1 -
Pin # 3	Output 2 +
Pin # 4	Output 2 -
Pin # 5	Input 1 +
Pin # 6	Input 1 -
Pin # 7	Input 2 +
Pin # 8	Input 2 -

例：

この例では、地中ループからの信号は、プレートが読んだ後、ゲートをトリガするために使用されます。この機能を実行するために SharpV の入力と出力を設定するには、ナンバープレートのためのイベントとアクションを作成する必要がありますセキュリティセンターで読み込みます。ナンバープレートの読み取りのためのイベントとアクションの作成の詳細については、セキュリティセンターの管理者ガイドを参照してください。



成分	説明
A	地中ループからの入力信号は、入力 1 または 2 SharpV します
B	SharpV 出力 1 又は 2 からゲートコントローラへの出力信号
C	地中ループ (入力装置)
D	ゲート (出力装置)

SharpV カメラを取り付けるためのガイドライン

マウントトップまたはボトムマウント位置のいずれかにカメラをマウントするために、あなたの SharpV カメラが設けられており、取り付けブラケットを使用してください。

重要: カメラを取り付ける前に、設置距離と角度が SharpV 要件を尊重していることを確認してください。見るプレートは [SharpV レンズの距離を読みます](#) 14 ページ。



マウント仕様

サポートされている取付ブラケットは、次のホールパターンを使用します。

Hardware Specification

取り付け ボルト	タイプ M6
取付穴 距離	70 ミリメートル (2.76。)
取付穴 深さ	9.5 ミリメートル (0.37 インチ)



- SharpV 本体は鋳造アルミニウムで作られています。取付ボルトを締めるときは、無理な力を使用すると、スレッドを削除し、恒久的にカメラを損傷する可能性があります。
- あなたが黒の SharpV をインストールする場合は、取付ボルトの 2 セットが用意されています。長い (26 mm) のボルトのみサンシールドを含む上部に取り付けられたインストールに使用されなければなりません。日除けは、屋外に設置されている黒 SharpV カメラのために必要とされます。

警告: 唯一の日除けを含めるトップマウントインストール用の長いボルトを使用します。

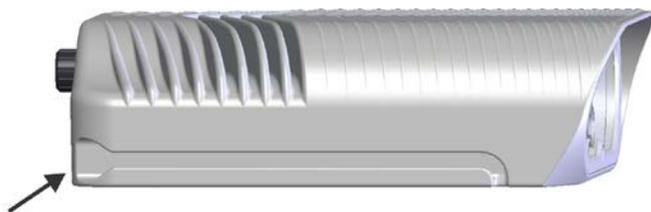
- 必ずボルトの頭部と平座金の上に設けられた外部鋸歯状のロックワッシャをインストールします。

警告: 設けられたロックワッシャをインストールに失敗すると、mounting ボルトが緩む時間をかけてすることがあります。ゼネテック株式会社は、不適切な取り付けに起因するいかなる傷害の責任を負いません。

- 取付穴の最大深さ 9.5 mm である (0.37)。あなたがカメラを使用していない場合には、提供されるマウントは、それらが範囲 6 ミリメートルで深さカメラ本体を貫通することを保証するために、取付ボルトの必要な長さを計算する必要があります - 9.5 ミリメートル (0.24 寸 - 0.37 インチ)。取付ボルトの長さに関する情報は、以下を参照してください [SharpV の日除けについて](#) 23 ページ。
警告: あなたが推奨されるボルトの侵入深さを超えた場合、カメラ本体は、恒久的に損傷することができます。
- 取付ボルトを締めるとき、トルクは 4N-M (3 フィート - ポンド) を超えないことを確認してください。
警告: あなたが最大のボルトトルクを超えた場合、カメラ本体は、恒久的に損傷することができます。

T スロット

SharpV カメラは M5 ボルトをサポートするカメラ側の T 型スロットを含みます。カスタムマウントソリューションを実装するために、T-スロットを使用することができます。



T-slot for custom mounting solutions.

利用可能な Videotec 取り付けブラケット

Videotec WBJA (白) または WBJF (ブラック) マウンティングブラケットは SharpV に含まれています。設けられたブラケットは、インストールに適していない場合は、Videotec の販売店から、適切なブラケットを購入することができます。

互換性の Videotec 取付ブラケットの完全なリストについては、[Videotec ブラケットのデータシート](#)。

重要: あなたは Videotec 取り付けブラケットを購入する場合、あなたが選択したブラケットの取付板が設けられたブラケット (WBJA / WBJF) と同じ厚さを有していることを確認してください。必要な場合は、9.5 ミリメートル (0.37。) の最大ボルトの深さを超えないように、それに応じてシムためにワッシャーを追加します。

互換性のある Videotec マウント

以下 Videotec マウントは SharpV 取付穴と互換性があります。

カメラ mount	Description
WBJA	ゼネテック社から入手可能なボールジョイント (白) とハウジング壁ブラケット
WBJF	ゼネテック社から入手可能なボールジョイント (黒) とハウジング壁ブラケット
WFWCA	欄干には、ボールジョイントを搭載しません
WCM3A	ボールジョイント付き天井ブラケット
WCM5A	ボールジョイントと天井マウント
WCPA	ウォールブラケット適応プレート

カメラ mountDescription

WCWA	WBJA、WBMA、WBOVA2、PTAC のためのコーナーアダプター
WSFPA	WBJA、WBMA、WBOVA2、PTAC ポールマウントアダプター
DBHWGC	(- 225 ミリメートル 210) で 8.85 から 8.2 の範囲の極アダプタ直径。 WBOV2 または WBJA と住宅のインストールに WCPA が必要です。

Videotec の顧客サポート

互換性のある Videotec マウントの詳細については、お使いの Videotec 担当者にお問い合わせください：

- **アメリカ**：電話：+1 518-825-0020 E メール：info.usa@videotec.com
- **APAC**：電話：852 2333 0601 E メール：info.hk@videotec.com
- **EMEA**：電話：39 0445 697411 E メール：info@videotec.com
- **アフリカのフランスとフランス語圏の国**：電話：33 1 60491816 E メール：info.fr@videotec.com

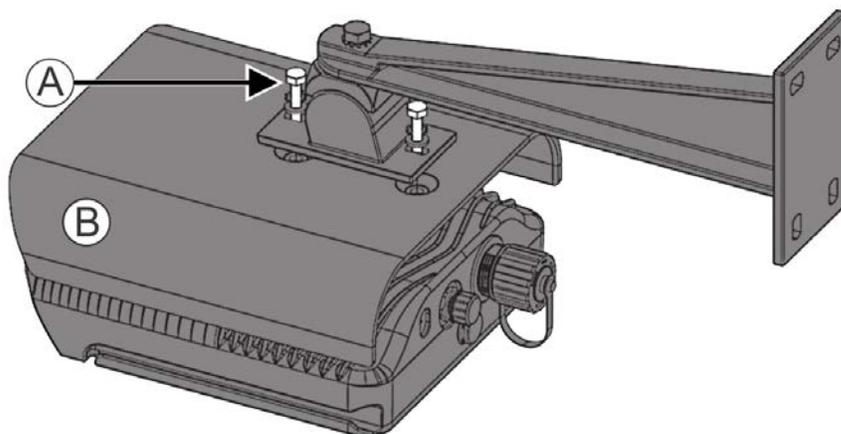
連絡先の完全なリストについては、http://www.videotec.com/en/page_556.html。

SharpV の日除けについて

あなたが黒の SharpV をご注文いただいた場合、それがカメラにプリインストールされているサンシールドが同梱されています。SharpV の損傷を防ぐためには、正しい取り付けネジを使用する必要があります。

警告: 設けられた取付ブラケットに SharpV を取り付けるときに、トップマウント型インストールでは、あなたが 16 ミリメートルのボルトを外し、提供さ 25mm のボルトを使用する必要があります。

警告: あなたはサンシールドを削除する場合は、25mm のボルトを捨てます。サンシールドなし 25mm のボルトを使用して取付穴のねじ山を損傷する可能性があります。ゼネテック株式会社は取り除か取り付け穴のための保証請求を尊重しません。

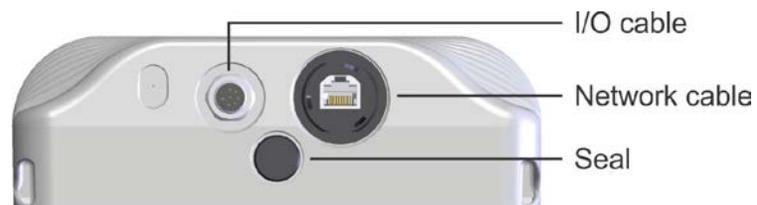


A	取付ボルト	サンシールドを有する SharpV を実装する場合にのみ上部に取り付けられた位置に、25mm のボルトを使用します。
B	日除け	サンシールドは黒 SharpV カメラのために含まれており、屋外設置のために必要とされます。

SharpV ケーブルの接続

SharpV I/O ケーブルとネットワークケーブルの接続は、カメラの背面に配置されています。

- I/O ケーブルの終端を作成する方法の詳細については、[SharpV 入力/出力ケーブル終端](#) 18 ページ
- ネットワークケーブル接続の詳細については、以下を参照してください [SharpV のためのネットワークケーブルの要件](#) カメラ 16 ページ



SharpV 固定設備のトラブルシューティング

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- [「SharpV カメラユニットの LED ステータス」](#) 26 ページ

SharpV カメラユニットの LED ステータス

SharpV カメラユニットのステータス LED は、システムの状態に応じて応答します。

次の表は、SharpV カメラの LED が SharpV システムの状態に応じて、どのように動作するかを説明します。



状態	説明	LED (赤または緑)
オフ	ユニットは、powered-off.Off	
隠密モード ます。	カメラは秘密のモードで構成されています。 カメラの起動後、LED が非アクティブ化されます。	オフ
致命的な failureThe ます	カメラが原因重要にシャットダウンされ エラー、例えば、過温度アラーム。この状態では、カメラに接続することはできません。	点滅遅い赤色 (0.5 秒オフ -0.5 秒で)
主要な failurePlate	Reader がダウンしています。あなたは、カメラに接続することができるかもしれないと、あなたはログを見ることができるかもしれません。	1 秒間に 3 回の赤点滅
パフォーマンスの問題 や軽微な故障	プレートリーダーは、例えば、重要なパフォーマンスの問題と照明の失敗を実行しています。	毎秒つの短い赤点滅
PoE + failureThe	PoE 電源供給が IEEE 802.3at の (POE +、または 25.5 W) をネゴシエートすることができませんでした。プレートリーダーは実行されませんが、SharpV ウェブポータルにアクセスができません。 詳細については、ログを確認してください。電源は、互換性の POE +ではありません、 または (の PoE +および LLDP が明示一部のスイッチで有効にする必要があります) 無効になっています。	一つの長い赤の点滅毎秒 1 回の短緑点滅

更新が、更新が完了した後、オンラインに戻ってくるのが予想され
ます。

1 秒間に 5 回の緑の点滅

状態	説明	LED (赤または緑)
見つけます カメラ	SharpV ウェブポータルで点滅 LED をクリックした後、LED は 10 のために点滅します 秒。	遅い赤と緑の交互 (0.5 秒毎)
フォーカス modeThe	カメラのフォーカスやズームが SharpV ウェブポータルで調整されています。	高速赤と緑の交流 (0.25 秒毎)
ノーマル modeThe	カメラが実行されています 通常は。	緑色の点灯
カメラ 起動	カメラが起動されます up.One	毎秒緑の点滅

SharpV ウェブポータル概要

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「SharpV Web ポータルへのログオン」 29 ページ
- 「SharpV Web ポータルインターフェ이스の概要」 30 ページ
- 「SharpV の Web ポータルにログオンパスワードを変更します」 31 ページ
- 「SharpV Web ポータルからカメラを再起動」 32 ページ
- 「SharpV Web ポータルの設定のインポートとエクスポート」 33 ページ
- 「SharpV クロックの同期」 34 ページ

SharpV Web ポータルへのログオ

SharpV カメラを設定するには、まず Web ポータルにログオンする必要があります。

あなたが始める前に

- あなたのマシン上の Internet Explorer 11 をインストールします。SharpV ウェブポータルは、Internet Explorer 11 をサポートしていますのみ。
- あなたは、接続したい SharpV カメラの IP アドレスまたは名前を知っておく必要があります。
 - **SharpV 名**：あなたは、カメラの背面のラベルに（例えば、SharpV12345）SharpV 名を見つけることができます。
 - **SharpV フォールバック IP アドレス**：フォールバック IP アドレスは 192.168.10.100 です。カメラは DHCP モード（デフォルト）である場合のフォールバック IP アドレスにのみ使用可能です。カメラ起動後、カメラは、DHCP サーバを検索します。DHCP サーバが 2 分後にネットワーク上に存在しない場合は、代替 IP アドレスが使用可能になります。

SharpV Web ポータルにログオンするには：

- 1 Web ブラウザを開きし、http://<SharpV 名または IP アドレス>。

例：

- SharpV カメラの IP アドレスが 192.168.10.100 の場合は、入力します http://192.168.10.100。
- SharpV カメラの名前が SharpV12345 ある場合は、入力します http://SharpV12345。

- 2 を入力 ユーザー名 そして パスワード。

最初のログオン用のデフォルトユーザー名：管理者、パスワード：ゼネテック

- 3 クリック コネクト。

これが初めてである場合は、SharpV にログオンされています。

- 1 電源ライン周波数を選択し、[次へ]をクリックします。

- 60 ヘルツ。一般的には、北米と南米で使用されます
- 50 ヘルツ。一般的にアフリカ、オーストラリア、アジア、ヨーロッパで使用されます

インストールの場所で使用される電源ライン周波数の詳細については、[ここをクリック](#)。

- 2 パスワードを変更します。

新しいパスワードを入力して確認し、[Next]をクリックします。

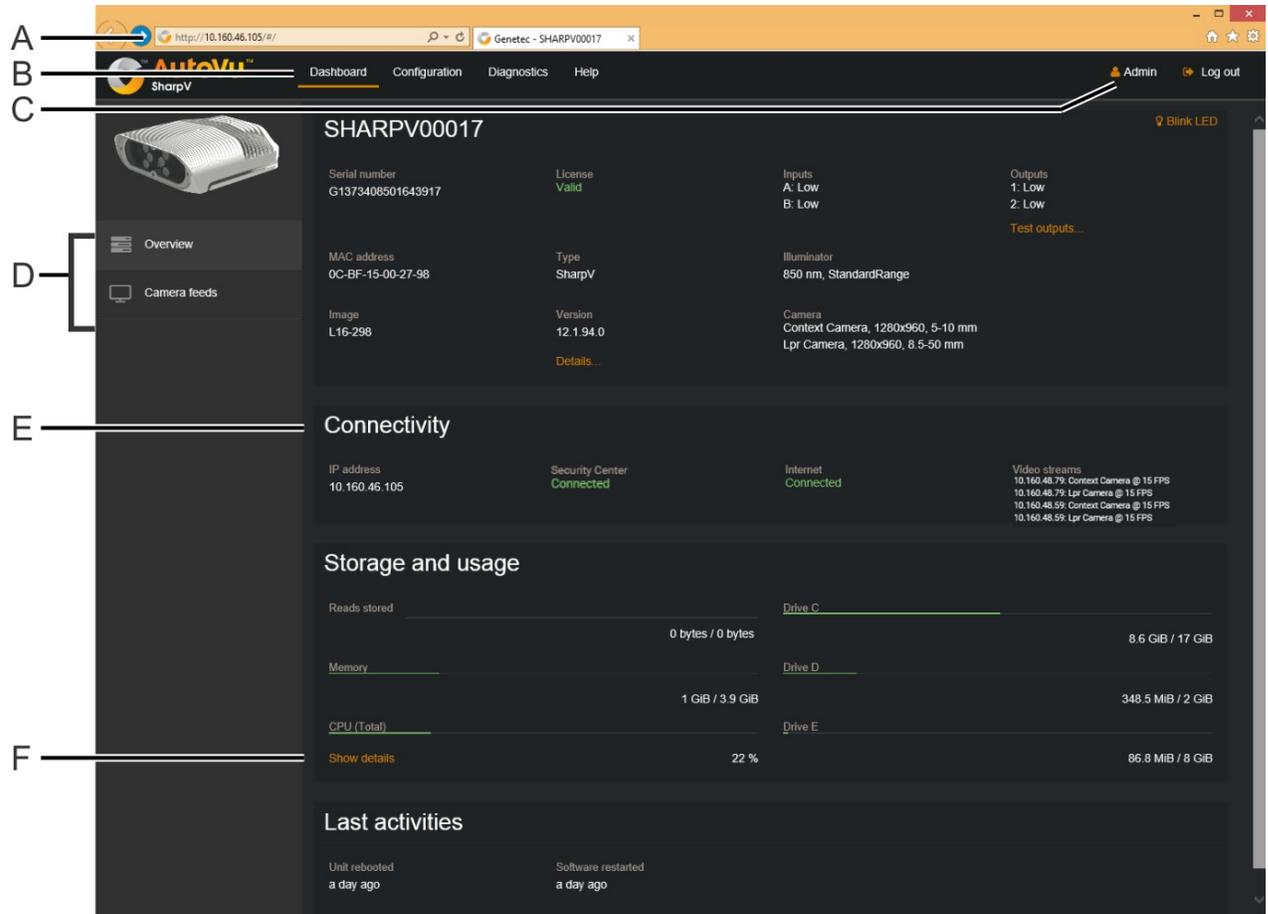
警告: パスワードを忘れた場合は、それが取得またはリセットすることができません。カメラは、サービスのための私達に返却しなければなりません。

注意: ユーザー名を変更することはできません。

正常にログインした後、SharpV カメラのための Web ポータルは、概要ページが表示されます
計器盤 メニュー。

SharpV Web ポータルインターフェェ

SharpV Web ポータルを理解するには、ユーザーインターフェェスのメインエリアのツアーに参加することができます。



A	SharpV Web ポータルアドレス	SharpV 名または IP アドレスを入力します。形式は http : // Sharp12345 か http://192.168.10.100
B	MenuDisplays	SharpV ウェブポータルの主なカテゴリ。
C	現在 userShows	現在のユーザーとコマンドをログアウトします。
D	ページ	選択したポータルメニューで使用可能なページを表示します。
E	セクション	選択のために利用可能な情報、ステータス、または設定を表示しますポータルページ。
F	追加 informationOrange は示すことができます	テキストは、テキストがクリック可能であることを示しています。これは示すことができます ハイパーリンクは、アクションをトリガーすることができ、または追加情報を表示することができます。

SharpV の Web ポータルにログオンパスワードを変更し

セキュリティ上の理由から、あなたは SharpV カメラのログオンパスワードを変更する必要があります。あなたは SharpV Web ポータルでこれを行うことができます。

あなたは知っておくべきこと

あなたが最初 SharpV Web ポータルにログオンしたときにデフォルトのパスワードを変更する必要があります。

警告: パスワードを忘れた場合は、それが取得またはリセットすることができません。カメラは、サービスのためにゼネテック社に返却しなければなりません。

あなたのパスワードを変更するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログオンします](#)。
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#)を選択 [セキュリティ ページ](#)。
- 3 の中に [アクセス セクション](#)、クリックしてください [パスワードを変更します](#)。
- 4 古いパスワードを入力し、新しいパスワードを入力し、確定します。
- 5 クリック [適用](#)します。

SharpV Web ポータルからカメラを再起動

特定の設定手順は SharpV カメラを再起動する必要がある。あなたは SharpV Web ポータルからこれを行うことができます。

SharpV を再起動するには：

- 1 SharpV Web ポータルにログインします。
- 2 から **コンフィギュレーションメニュー**を選択 **メンテナンス** ページ。
- 3 クリック **再起動ユニット** ボタン。
SharpV ウェブポータルへの接続が一時的に失われます。
- 4 SharpV ウェブポータルを再起動できるようにするために約 2 分間待機します。

SharpV Web ポータルの設定のインポートとエクスポート

ゼネテック™技術サポートで必要とされる場合は、診断情報として使用するため SharpV 設定をエクスポートすることができます。また SharpV ユニットの構成を復元するか、別のユニットに設定をコピーするためにエクスポートした設定ファイルを使用することができます。

あなたは知っておくべきこと

警告: あなたは SharpV に設定をインポートする場合、カメラの現在の設定が失われます。

SharpV の設定をエクスポートするには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログインします](#) あなたから設定をエクスポートする SharpV の。
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#)を選択 [メンテナンス ページ](#)。
- 3 から [設定](#) セクション、クリックしてください [エクスポートの設定](#)。
システムは、ファイルを作成し、「ダウンロードが成功しました」というメッセージが表示されます。
- 4 [診断](#)はポータルとファイルをインポートされる Windows ユーザーにを表示するために使用されるブラウザにアクセスできる場所に zip ファイルを保存します。ファイルは、ファイルの日付と時刻で名前が付けられています作成された、例えば、診断-2016-10-25_12_49_36。

SharpV 設定をインポートするには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログインします](#) あなたが設定をインポートしたい SharpV の。
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#)を選択 [メンテナンス ページ](#)。
- 3 から [設定](#) セクション、クリックしてください [設定のインポート](#)。
- 4 [パスとファイル名を入力するか、またはインポートして、はいインポート\]](#)をクリックします SharpV 設定で ZIP ファイルを参照します。
- 5 画面上の指示に従って、カメラに設定をインポートします。

SharpV クロックの同期

あなたが SharpV の Web ポータルにアクセスするために使用しているコンピュータで日付と時刻の設定を同期させるために SharpV カメラを設定することができます。また、あなたは NTP サーバまたはセキュリティセンターのサーバーで日付と時刻を同期させることができます。

あなたは知っておくべきこと

- プレートリーダーのサービスが再起動されるたびにノー同期オプションが選択されていない限り SharpV ユニットは自動的に、そのサーバーでクロックを同期させます。
- あなたが選択した場合 **今**、クライアントブラウザとの同期、カメラは、クライアントのブラウザの日付と時間と 1 時間の同期を行います。
- あなたが選択した場合 **いいえ同期しません**、カメラは無期限にその内部の時間を保持します。
- あなたが NTP サーバを選択した場合は、日付と時刻の更新はあなたの選択時間ごとに応じました。

SharpV クロックを同期するには：

1 [SharpV Web ポータルにログインします](#)。

2 から [コンフィギュレーションメニュー](#)を選択 [日時](#) ページ。

3 次のオプションのいずれかを選択します。

- **いいえ同期ありません**。カメラは、任意のサーバーと同期しません。

あなたが選択した場合 **今**、クライアントブラウザとの同期、カメラは、クライアントのブラウザの日付と時間と 1 時間の同期を行います。

重要: あなたは (コンピュータが LPR マネージャの役割をホスト) サーバから SharpV の Web ポータルに接続されていない限り、クライアントのブラウザで SharpV クロックを同期しないでください。あなたは、サーバ以外のコンピュータとのクロックを同期させる場合は、カメラの読み取りとヒットは正確なタイムスタンプを持っていない可能性があります。

- **NTP サーバ**：カメラは、NTP サーバと同期します。一般的に、NTP サーバは外国のコンピュータまたは外部の NTP サーバと同期を取り、組織内のサーバーのいずれかです。同期は、組織にとって非常に重要である場合、後者が推奨されます。クリック **サーバ**そして、NTP サーバを実行しているマシンの URL を入力してください。接続テストをクリックすると、カメラと NTP サーバとの間の接続をテストします。カメラは NTP サーバ毎時間と同期します。
- **アクティブな拡張機能**：あなたが選択した場合 **アクティブな拡張機能 (セキュリティセンター)**、カメラの日付と時刻は、カメラが接続されているセキュリティセンターサーバと同期されています。カメラはと同期**セキュリティセンター**その後、再び接続時のサーバ、24 時間ごと。

注意：あなたがまだアクティブな拡張機能を設定していない場合 (参照 [SharpV が送信する場所の設定 その LPR データ](#) 66 ページ) には、Active 拡張子 (なし) を選択することができ、そしてそれは時に更新されます

あなたは拡張子を設定します。

注意：ザ・**アクティブな拡張** 現在ではカメラのために選択された方の拡張オプションを表示 **設定**> **[拡張機能]**あなたが以外の拡張子の種類を使用している場合は、しかし、このオプションを選択しても効果はありません **セキュリティセンター** (FTP には有効ではありません、HTTP など)。

4 クリック **セーブ**。

SharpV のソフトウェア構成

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「SharpV ポータルにおけるセキュリティの設定」 36 ページ
- 「自己署名証明書を使用して SharpV への接続を暗号化」 37 ページ
- 「署名付き証明書を使用して SharpV への接続を暗号化」 40 ページ
- 「設定 SharpV ネットワーク設定」 42 ページ
- 「カメラを表示する SharpV カメラからのフィード」 43 ページ
- 「SharpV ズームとフォーカスを調整します」 44 ページ
- 「屋内設置用 SharpV について露出調整」 49 ページ
- 「屋外設置のための SharpV について露出調整」 (51 ページ)
- 「フォールバック IP アドレスを使用して SharpV カメラへの接続」 55 ページ
- 「設定 SharpV 分析」 56 ページ
- 「SharpV はその LPR データを送信した場合の設定」 66 ページ
- 「SharpV FTP 拡張設定」 70 ページ
- 「SharpV HTTP の拡張機能の設定」 72 ページ
- 「SharpV ログファイルの設定の Syslog」 75 ページ

SharpV ポータルのセキュリティ設定

あなたは SharpV Web ポータルに最初に接続したときには、それがネットワーク上の誰もが (パスワードを含む) 送信されたデータを読み取ることができることを意味非暗号化 HTTP 接続を、上にあります。

常にあなたが SharpV Web ポータルにログオンするために HTTPS プロトコルを使用することをお勧めします。あなたがパブリックネットワーク上にある場合、これは特に重要です。HTTPS を使用すると、ログオン資格情報と (ビデオフィードを除く) のデータ伝送が暗号化されることが保証されます。

あなたは SharpV Web ポータルに接続した後、あなたは SSL 証明書を使用し、SSL 暗号化 (HTTPS) でログオンを受け入れるように、それを構成することができます。ポータルで提供されるツールを使用して SharpV ための自己署名 SSL 証明書を生成、または VeriSign などの認証局から署名付き証明書を使用することができます。

関連トピック

[自己署名証明書を使用して SharpV への接続を暗号化します 37 ページ](#) [署名された](#)

[証明書を使用して SharpV への接続を暗号化します 40 ページ](#)

自己署名証明書を使用して SharpV への接続を暗号化します

あなたは、自己署名 SharpV 証明書を使用してセキュア HTTP (HTTPS) を使用して、それを構成することにより、SharpV ウェブポータルを確保することができます。

あなたが始める前に

- シャープ Portal になぜ接続についての記事を読みます [暗号化されなければなりません](#).
重要: お使いのセキュリティセンターのバージョンが 5.3 SR3 以上である場合は、HTTPS を使用してアーカイバに SharpV ユニットを追加したい場合は、あなたは、Knowledge Base の記事で手順を使用してアーカイバの HTTPS オプションを変更する必要があります [KBA01405](#).
- あなたは HTTPS を使用してアーカイバに SharpV を追加する場合は、[カメラのネットワーク設定を構成します](#) あなたが証明書をインストールする前に静的 IP アドレスを使用します。

あなたは知っておくべきこと

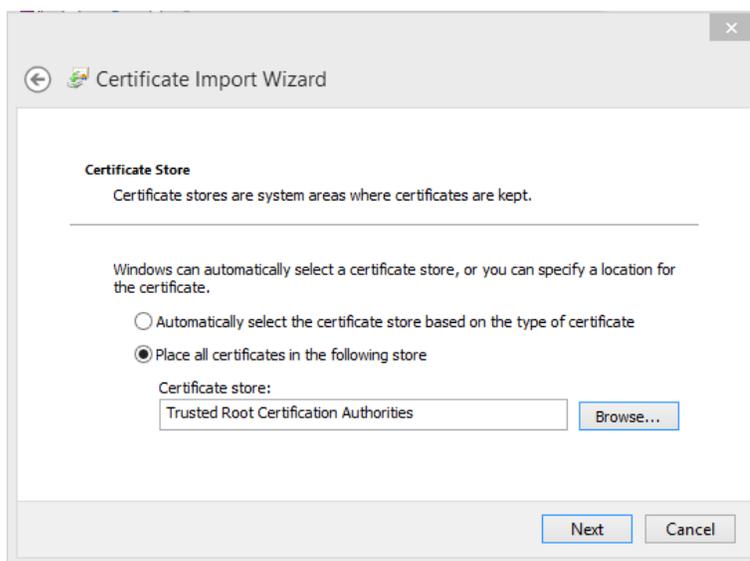
- あなたは SharpV Web ポータルにログオンする最初の時間は、システムが HTTP モード (なし証明書) を使用してログインできます。組織のセキュリティポリシーを使用すると、自己署名証明書または信頼できる認証局から署名付き証明書のいずれかを設定することが必要な場合があります。
- クライアントマシン上で証明書をインストールするには、管理者権限が必要です。
- あなたは、例えば、カメラと通信するすべてのマシンで、Web ポータルに接続するすべてのマシン上で証明書をインストールする必要があります。
- 証明書をインストールするには、カメラが HTTP モードである必要があります。既存の証明書を削除する必要があります。証明書がすでにインストールされている場合は、設定> [セキュリティ] ページで HTTPS を使用する] チェックボックスをオフにする必要があります。あなたがカメラを再起動したら、設定> [セキュリティ] ページから、現在インストールされている証明書を削除する必要があります。
- 信頼された機関によって署名された証明書のインストールの詳細については、を参照してください [暗号化 署名された証明書を使用して SharpV への接続](#) 40 ページ。

自己署名証明書を使用して SharpV Web ポータルへの接続を暗号化するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログオンします](#) 管理者として。
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#) を選択 [セキュリティ](#) ページ。
- 3 から [証明書](#) セクションを選択 [自己署名証明書](#) を作成します。。証明書に必要な情報を入力し、クリックしてください [OK].
次の 2 つの文字を入力する必要があります [国](#) コード、[一般名](#)、そしてあなたが定義する必要があります (年) [妥当性](#)。他のフィールドはオプションです。
注意： あなたもアーカイバに接続するために証明書を使用している場合は、証明書に定義された一般的な名前が SharpV IP アドレスではなく、SharpV 名でなければなりません。
- 4 クリック [自己署名証明書をダウンロード](#) お使いのブラウザの指示に従って、証明書ファイルを保存します。
- 5 証明書のインポートウィザードは、店舗の場所を選択するように要求されます。ローカルマシンを選択し、クリックしてください
次。



- 6 ウィザードが使用する証明書ストアを選択するように要求されます。選択すべて次のストアに証明書を配置 クリックします ブラウズ。



- 7 から 証明書ストアを選択します ウィンドウを選択 信頼されたルート証明機関 クリックします [OK].



- 8 クリック 次 続けて、クリックします フィニッシュ 閉じるために 証明書のインポートウィザード。このシステムは、「インポートが成功しました。」というメッセージが表示されます

あなたが Web サイトのセキュリティ証明書に問題があることを示す警告が表示された場合、証明書が正しく登録されるために、あなたが証明書を登録するマシンに管理者としてログオンする必要があることに注意してください。

9 から **HTTPS 接続ポリシー** セクションを選択 **HTTPS** を使用し

てください。10 クリックセーブ。

11 システムはメッセージ「変更を有効にするには、ユニットを再起動する必要があります」と表示されます。再起動のユニットをクリックします。

注意： また、 からカメラを再起動することができます **設定**>**メンテナンス**メニュー。

12 SharpV Web ポータルにログオンします。あなたは自動的に HTTPS モードでログオンしています。

ロックアイコン () ブラウザのアドレスバーには、あなたが今、安全な接続で SharpV にログオンしていることを示しています。

あなたが完了した後、

ベストプラクティスとして、 [パスワードを変更してください](#) HTTPS 通信用 SharpV を設定した後。

署名された証明書を使用して SharpV への接続を暗号化します

あなたは、信頼できる認証局によって署名された証明書を使用してセキュア HTTP モード (HTTPS) でカメラを構成することにより、SharpV Web ポータル接続を確保することができます。

あなたが始める前に

- 記事を読むなぜ SharpV ウェブポータルへの接続 **暗号化されなければなりません**。

重要: お使いのセキュリティセンターのバージョンが 5.3 SR3 以上である場合は、HTTPS を使用してアーカイバに SharpV を追加したい場合は、あなたは、Knowledge Base の記事で手順を使用してアーカイバの HTTPS オプションを変更する必要があります [KBA01405](#)。

- あなたは HTTPS を使用してアーカイバに SharpV を追加する場合は、**カメラのネットワーク設定を構成します** あなたが証明書をインストールする前に静的 IP アドレスを使用します。

あなたは知っておくべきこと

- あなたは SharpV Web ポータルにログオンする最初の時間は、システムが HTTP モード (なし証明書) を使用してログインできます。組織のセキュリティポリシーを使用すると、自己署名証明書または信頼できる認証局から署名付き証明書のいずれかを設定することが必要な場合があります。
- クライアントマシン上で証明書をインストールするには、管理者権限が必要です。
- あなたは、例えば、カメラと通信するすべてのマシンで、Web ポータルに接続するすべてのマシン上で証明書をインストールする必要があります。
- 証明書をインストールするには、カメラが HTTP モードである必要があります。既存の証明書を削除する必要があります。証明書がすでにインストールされている場合は、設定> [セキュリティ] ページで HTTPS を使用する] チェックボックスをオフにする必要があります。あなたがカメラを再起動したら、設定> [セキュリティ] ページから、現在インストールされている証明書を削除する必要があります。

重要: 現在の証明書が署名された証明書である場合、証明書署名要求を削除すると、再インストールされることから証明書を防ぎます。

署名された証明書を使用して SharpV Web ポータルへの接続を暗号化するには：

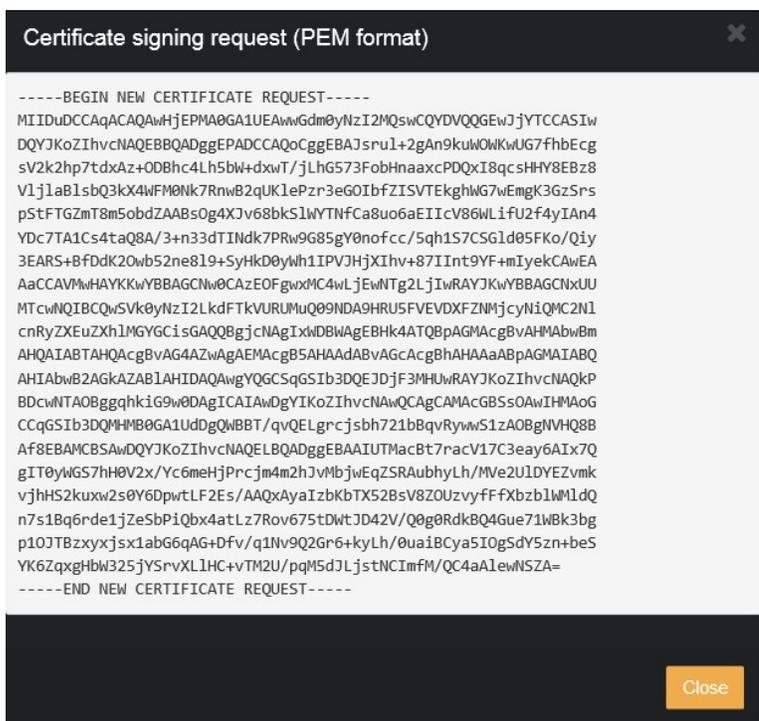
- SharpV Web ポータルにログオンします 管理者として。
- から コンフィギュレーションメニューを選択 セキュリティ ページ。
- クリック 証明書署名要求を作成します。
- 証明書署名要求のために必要な情報を入力し、[OK] をクリックします。

注意：

- 「国」フィールドは、2 文字の国コードが必要です。
- あなたもアーカイバに接続するために証明書を使用している場合は、証明書に定義された一般的な名前が SharpV IP アドレスではなく、SharpV 名でなければなりません。

「操作は成功しました」というメッセージが表示されます。

- クリック 表示要求。
- 証明書署名要求ウィンドウで、あなたのクリップボードに (「---- BEGIN NEW CERTIFICATE ---」と「---- END NEW CERTIFICAT の REQUEST ----」を含む) テキスト文字列をコピーして、[閉じる] をクリックします。



- 7 認証局に証明書署名要求を送信します。

重要: 証明書を要求するために使用されている場合は署名要求を削除しないでください。

あなたは、認証局によって署名された SSL 証明書を受け取ることになります。

- 8 証明書の場所を参照し、[開く]をクリックし、次に署名された証明書のインストール]をクリックします。このシステムは、「インストールされて署名された証明書... 成功した」というメッセージが表示されます。
- 9 から **HTTPS 接続ポリシー** セクションを選択 **HTTPS** を使用してくださいをクリックします **セーブ**。カメラは、設定を保存し、「設定が正常に保存された」というメッセージが表示されます。
- 10 あなたがカメラを再起動するように求めるメッセージが表示されます。再起動のユニットをクリックします。システムがオンラインに戻ったとき、あなたはまた、HTTPS モードであると URL が表示され、ロックのアイコンが表示されていることに気づきます。

ロックアイコン () ブラウザのアドレスバーには、あなたが今、安全な接続で SharpV にログインしていることを示しています。

あなたが完了した後、

ベストプラクティスとして、 [パスワードを変更してください](#) HTTPS 通信用 SharpV を設定した後。

SharpV のネットワーク設定を構成します

あなたは、動的ホスト構成プロトコル (DHCP) または静的 IP アドレスを使用するように SharpV を設定することができます。

あなたは知っておくべきこと

no オプションを SharpV ウェブポータル[ネットワーク]ページで選択されていない場合、DHCP がデフォルトで使用されます。

SharpV のネットワーク設定を構成するには：

- 1 SharpV Web ポータルにログインします。
- 2 から **コンフィギュレーションメニュー**を選択 **ネットワーク** ページ。
- 3 次のいずれかを選択します。
 - **DHCP を使用します。** これは SharpV カメラのデフォルトのモードです。あなたが必要な IP アドレスを割り当てる DHCP サーバにシャープを接続している場合、DHCP を選択します。あなたが DNS 機能を持つ DHCP サーバ上にある場合、あなたは SharpV 名 (例えば、SharpV12345) ではなく (例えば、192.186.10.100) IP アドレスを使用して SharpV に接続することができます。
 - 注意：** IPv6 は、現在 SharpOS でサポートされていないとして使用する DHCP サーバは、IPv4 アドレスを提供するように設定する必要があります。
 - **静的 IP アドレスを使用します。** SharpV の静的アドレスを使用するには、このオプションを選択します。
 - 重要：**あなたがセキュリティセンターアーカイバロールにビデオをストリーミングする場合は、静的 IP アドレスを使用する必要があります。
- 4 あなたが選択した場合 **静的 IP アドレスを使用します** 次の設定を行います。
 - **IP のアドレス：** あなたは SharpV に割り当てる新しい IP アドレスを入力します。10.0.0.1 がデフォルトです。
 - **サブネットマスク：** 新しいを入力 **サブネットマスク** 該当する場合。255.255.0.0 デフォルトです。
 - **ゲートウェイ：** 新しいを入力 **ゲートウェイ** 該当する場合。10.0.0.0 デフォルトです。
 - **DNS：** 該当する場合は、新しい DNS を入力します。10.0.0.0 がデフォルトです。
- 5 **クリック セーブ**。

フォールバック IP アドレスを使用して SharpV カメラへの接続

あなたは、ネットワーク上の SharpV カメラに接続できない場合は、カメラの代替 IP アドレスを使用してカメラに接続してみてくださいすることができます。

あなたは知っておくべきこと

- たとえば、DHCP サーバが利用できない、場合は、フォールバック IP アドレスを使用してカメラに接続する必要があります。
- カメラの電源が投入されると、数分のためにネットワークに接続されていない場合は、代替 IP アドレスが利用できるようになります。
- カメラは DHCP モードになっている場合は、フォールバック IP アドレスにのみ使用可能です。

フォールバック IP アドレスを使用してカメラに接続するには：

- 1 ネットワーク上に複数のシャープのカメラがある場合は、コンピュータに直接接続して、カメラを隔離します。
- 2 フォールバック IP アドレス (192.168.10.100) を使ってカメラに接続します。

- 3 必要に応じてカメラを再構成し、ネットワークに再接続します。

カメラの表示 SharpV カメラからのフィード

カメラは、あなたの SharpV カメラユニットが動作しているかどうかをテストするためのページをフィードを使用。

カメラを表示するには SharpV からのフィード：

- 1 [SharpV Web ポータルにログインします](#) 管理者として。
- 2 から **計器盤** メニューを選択 **カメラフィード** ページ。
- 3 カメラのドロップダウンリストから、そのライブフィードを表示するカメラのグループを選択します。

あなたが完了した後、

あなたがカメラフィードの表示が完了した後、ネットワーク帯域幅を削減するために、カメラのドロップダウンリストから、何のカメラを選択していない、またはブラウザを閉じます。

SharpV ズームとフォーカスのキャリブレーション

SharpV は明らかにナンバープレートを読み取り、プレートの文字が許容できるサイズで表示されていることを確認するために、あなたはあなたの SharpV カメラのズームとフォーカスを調整する必要があります。

あなたが始める前に

- あなたのマシン上の Internet Explorer 11 をインストールします。SharpV ウェブポータルは、Internet Explorer 11 をサポートしていますのみ。
- 読みます **プレートに最適な読み取り距離を読み込み**、SharpV ため。
- SharpV カメラのズームを調節し、集中する静止ナンバープレートを取り付けます。これは、トラフィックの車線を閉じる必要ならば、すべての地域の規制を遵守してください。あるいは、ズームを調整し、通りの側にカメラを向けると予想される距離で固定板を配置することによって焦点を合わせることができます
プレート読み取りのために。カメラが車線に戻って指摘されている場合、あなたはプレートを評価しなければなりませんフォーカスを調整するために画像を読み取ります。

あなたは知っておくべきこと

- LPR カメラによって取得された画像では、ナンバープレートの文字の最適なサイズは、30 個のピクセルの高あります。システムは、文字が 25~60 画素高である場合、正確なプレート読み取り取り込みます。
- コンテキストカメラのズームやフォーカス調整ネジの位置は、あなたが SharpV の SR (標準レンジ) または LR (長距離) をインストールしているかどうかに応じて逆転される可能性があります。具体的な調整ネジについては、カメラで製品のステッカーを参照してください。

注意: コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

ズームとフォーカス調整ネジ

SharpV は LPR カメラとコンテキストカメラのズームおよびフォーカス調整ねじを含みます。あなたはカメラの底にゴム栓を除去することにより、調整ネジにアクセスすることができます。六角キーは、調整を行うために提供されます。



以下の情報は、ズーム/フォーカス調整ラベルに表示されます。

LabelDescription

ズーム：広い T / WTelephoto /

フォーカス：F / N

遠くから近く

LPR / CTX

LPR カメラ/コンテキストカメラ

SR / LRStandard

レンジ/長距離

LPR カメラのズームとフォーカスを調整するには：

- 1 HTTP で SharpV Web ポータルを開きます：// <シャープ名または IP アドレス>または https：// <シャープ名または IP アドレス>、あなたが証明書をインストールした場合。
デフォルトでは、SharpV は、DHCP を使用するよう設定されています。DHCP サーバがネットワーク上で利用できない場合は、SharpV にアクセスするための IP アドレス 192.168.10.100 を使用することができます。
- 2 これはあなたがポータルにログインしている初めてである場合は、セキュリティ上の理由から、パスワードを変更するように求めています。詳細については、[SharpV Web ポータルへのログイン](#) 29 ページ。
警告: パスワードを忘れた場合は、それが取得またはリセットすることができません。カメラは、サービスのためにゼネテック社に返却しなければなりません。
- 3 クリック [コンフィギュレーション](#) > [ズームとフォーカス](#)。
- 4 から [お使いのカメラを選択](#) ドロップダウンリストを選択 **LPR カメラ**。LPR カメラのライブフィードが表示されます。
- 5 [最高プレート画像のために必要に応じて露出を調整](#) します。
注意： SharpV カメラは、調整プロセス中にズームとフォーカスのページに表示される露出設定を使用しています。カメラが調整された後、この設定は無視され、カメラは設定暴露設定に戻ります。
- 6 カメラのズームレベルを調整します。
 - a) ショー定規を選択します。定規は、LPR カメラ画像上に表示されます。それはナンバープレートの横に表示されるように定規をドラッグします。
 - b) ナンバープレートの文字の高さに合わせて、ページ上のルーラーのサイズを変更するために、新しいピクセル (PX) の値を入力します。
 - c) 60 ピクセル - 25 間の画像におけるプレート文字の高さを維持しながら画像は、ビュー最長プレート通過時間の最大フィールドを有するようにズームおよび整列を調整します。最適なパフォーマンスは 30 個のピクセルです。
先端： デジタルズームを使用するためのライセンスプレートをクリックします。1：1,2：1、および 4：1 3 つのズームレベルがあります。ズームされた領域のプレビューが画像の右上に表示されます。
注意： あなたは、カメラのズームレベルを変更すると、フォーカスが失われます。あなたはナンバープレートの比較的明確な見解を持っているように、基本的なフォーカス調整にあなたがズームレベルを変更するたびに実行する必要があります。



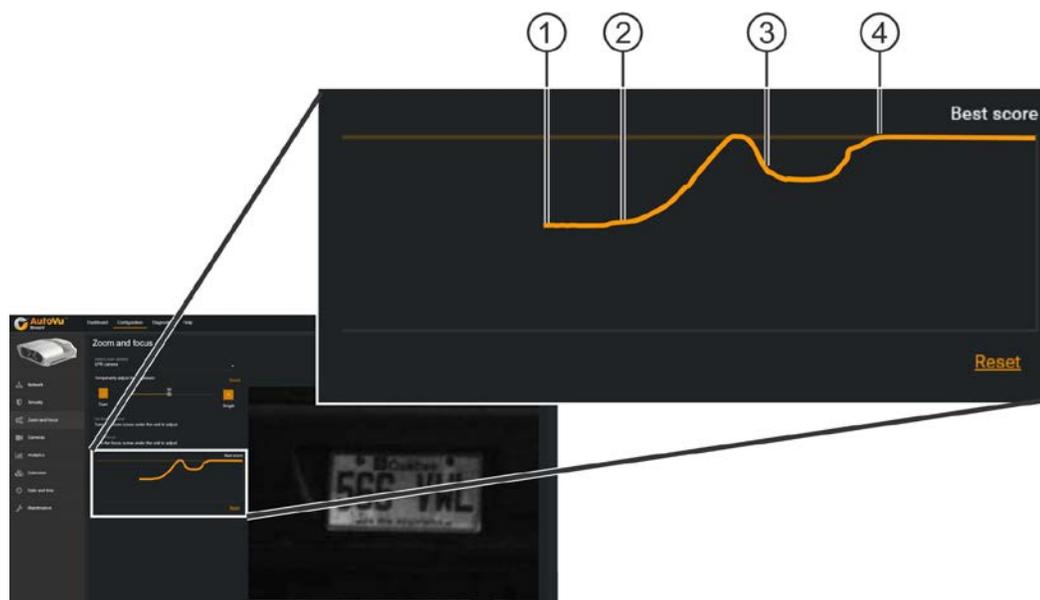
7 カメラのフォーカスを調整します。

- 車両の予想軌跡の中間点に位置する固定プレート上にカメラの焦点を合わせます。
- デジタルプレートにズームインする画像をクリックしてください。

注意：

- あなたが SharpV の底面のネジを調整している間に最適な設定がフォーカスのために達したときに、視覚的に監視するために、ベストスコアのグラフを使用して、2本のオレンジ色の線が表示されます。「大胆な」オレンジ色の線は、現在のフォーカス値を示しています。「暗く」オレンジ色の線はグラフが最後にリセットされてから達成された最良の焦点を示しています。
- 最良の結果を得るために、ベストスコアのグラフを使用した場合、カメラの視野で動きがないことを確認してください。

例：



- c) フォーカス調整 (1) を開始するには、[リセット]をクリックします。
- d) LPR カメラ (2) のためのフォーカス調整ねじを回し始めます。この例では、ネジは、時計回りになっています。
太字および DIM オレンジラインの両方がグラフ上でより高い移動して交差しています。
- e) ある時点で、太線は、グラフ上に下部移動を開始せず、ラインはもはや (3) と交差しています。この時点で、あなたは最良の焦点を超えています。
薄暗いオレンジ色の線は現在、最高のフォーカスポイントを表示することに注意することが重要です。
- f) 反対方向 (この例では、反時計回り) に調整ねじを回し始めます。
- g) 太線は、DIM 線 (4) のレベルに達すると、フォーカス調整が終了します。クリック完了。

コンテキストカメラのズームとフォーカスを調整するには：

以下の例外を除いて、LPR カメラに説明したのと同じ方法を使用して、コンテキスト・カメラを調整します。

- あなたは、画像の鮮明度に基づいて、カメラのコンテキストで画像の焦点を合わせることができますが、あなたはまた、微調整焦点をあなたを助けるために、グラフツールを使用することができます。
- コンテキスト・カメラを調整する際、ライセンスプレート文字のピクセル高さは重要ではありません。あなただけの車両が画像ではっきりと認識可能であることを確認する必要があります。
- あなたは、低光条件でコンテキストカメラのズームとフォーカスを調整する必要がある場合は、IR 照明を可能にします。IR イルミネーターを有効にするには、フラッシュを有効にします> [設定]> [ズーム]をクリックし、焦点を合わせます。IR イルミネーターは、より明確に画像を確認することができます。しかしながら、コンテキストカメラからのビデオフィードを白黒画像に変換されます。
- あなたは非常に明るい条件 (日光) のコンテキストカメラのズームとフォーカスを調整する場合は、露出レベルのスライダーに非常に低いレベルを使用する必要があるかもしれません。非常に低いレベルでは、カメラの絞り開口が減少しています。フォーカスがこの位置に調整されている場合、フォーカス品質が低い光条件下で分解することができるので、結果は最適ではないかもしれません。Web ポータルは、このような状況が存在する場合を示す警告が表示されます。可能な限り最良の焦点品質を実現するには、非常に明るい日光の下でピントを合わせるべきではありません。

注意： コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

8 クリック 完

了. 関連トピック

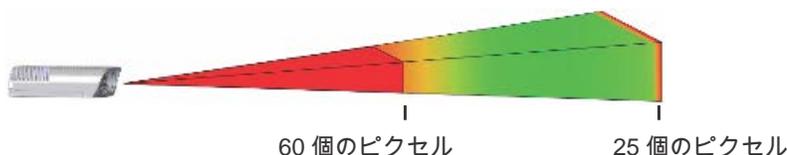
ク

[SharpV 測位ガイドライン 14 ページ](#)

プレートは SharpV レンズの距離を読みます

SharpV カメラがサポートできるビューの最大プレート読み取り距離とフィールドレンズの種類とカメラのズーム設定に依存します。

最適なパフォーマンスを得るために、標準および長距離 SharpV カメラ用の次のインストールの距離を尊重します。



レンズタイプ	ズームレベル	60 個のピクセル (最大)	25 個のピクセル (最小)
標準レンズ長距離レンズ	読み取り距離の読み取り距離	2.75 メートル (10 フィート)	18.25 メートル (60 フィート)
		18.25 メートル (60 フィート)	

屋内設置用 SharpV 露出調整について

デフォルトによって、SharpV は自動的に捕捉ナンバープレートを読み取る際に光の状態を変更するための露出設定を調整するように構成されています。あなたは屋内 SharpV カメラをインストールしている場合は別の方法として、例えば、地下の駐車場で、あなたはカメラの絞り、シャッター時間、およびゲイン設定用の固定値を定義することができます。これを行うと、LPR とコンテキスト画像のためのより一貫性の暴露につながるすることができます。

重要: SharpV の露出設定を変更すると、大幅に LPR パフォーマンスに影響を与えることができます。損傷または汚れているデザインナンバープレート、またはプレートは、異なる反射特性を有することができます。静止試験板を用いて露光を改善する反射特性の広い範囲を有するプレートを含む日常のトラフィックに低下 LPR 性能をもたらすことができます。あなたはこれらの設定を変更した後、システムをテストする必要があります。

屋内設置用のカスタム SharpV LPR カメラの露出レベルを設定します

デフォルトの露出設定が許容可能な結果を生成しない場合は、あなたの屋内設置に最適に動作するために絞り、シャッター時間、および SharpV LPR カメラのゲイン設定を調整することができます。

あなたが始める前に

- 照明条件は、通常のカメラ動作時に期待されているものと一致していることを確認してください。
- [ズームとフォーカスを調整します](#) カメラの。

あなたは知っておくべきこと

- 正しく露出ナンバープレート画像において、文字板の状態が暗く、明確に定義されており、背景が白または非常に明るいです。



- LPR の画像では、プレート自体が正しく露出している露出アンダープレートの周囲であることが通常です。LPR の画像では、プレートは、適正露出とその周辺の品質を無視していることを確認します。

LPR カメラの露出設定を調整するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログオン](#) します。
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#) を選択 [ズームとフォーカス](#) ページ。
- 3 から [お使いのカメラを選択](#) します ドロップダウンリストを選択 [LPR カメラ](#)。LPR カメラのライブフィードが表示されます。
- 4 選択 [定規を表示](#) ボックスをチェックします。
- 5 文字高さが 25 個の画素となるようにカメラの前で固定ライセンスプレートを配置します。

重要: フォーカスを変更しないでください。ナンバープレートは、焦点の外に見えるかもしれませんが、あなただけの手順で露出を調整しています。

- 6 から [コンフィギュレーションメニュー](#) を選択 [カメラ](#) ページ。
- 7 から [お使いのカメラを選択](#) します ドロップダウンリストを選択 [LPR カメラ](#)。LPR カメラからのライブフィードが表示されます。
- 8 から [暴露](#) ドロップダウンリストを選択 [固定 \(屋内\)](#)。 [利得](#), [露出時間](#) そして [虹彩](#) 設定が表示されます。

- 9 アイリスのチェックボックスをオフにします。
 - 10 スライダを右に移動して 100% に絞りを開きます。
- 図 11 は、最小のデフォルト値 (0) にゲインレベルを設定します。
- 12 オーバー露光画像を生じることなく、できるだけ高くなるように露光時間を調整します。
 - 13 あなたは最大露光時間レベルに達すると、プレートの画像はまだ暗すぎる場合は、ゲインを上げます
あなたは、プレートの画像に満足するまでレベルは、露光時間を調整します。
先端：ゲインレベルを増加させると、画像にノイズを導入します。できるだけ低いゲインをしてください。
 - 14 あなたがビデオフィールドウィンドウ内のプレート画像の外観に満足している場合は、[保存]をクリックします。
システムは、メッセージが表示されます。 *設定の保存に成功しました。*

屋内設置用のカスタム SharpV コンテキストカメラの露出レベルを設定します

デフォルトの露出設定が許容可能な結果を生成しない場合は、あなたの屋内設置に最適に動作するようにシャッター時間を調整し、SharpV コンテキストカメラの設定を得ることができます。

あなたが始める前に

- 照明条件は、通常のカメラ動作時に期待されているものと一致していることを確認してください。
- [ズームとフォーカスを調整します](#) カメラの。

あなたは知っておくべきこと

- コンテキストカメラの露出設定を調整すると、LPR のパフォーマンスに影響を与えることはありません。この手順を実行すると、単にコンテキスト画像の品質を向上させます。
- あなたが長い露光時間を設定する場合は、コンテキスト画像におけるモーションブラーを気づくかもしれません。これは、較正のために固定されたナンバープレートを使用する場合に明らかではないが、通常の操作でカメラをテストした後に調整が必要な場合があります。
- コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

コンテキストカメラの露出設定を調整するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログイン](#)します。
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#)を選択 [カメラ](#) ページ。
- 3 から [お使いのカメラを選択](#)します [ド롭ダウンリスト](#)を選択 [コンテキストカメラ](#)。コンテキストカメラからのライブフィードが表示されます。
- 4 [照明の種類](#)ドロップダウンリストから、最高のインストールの通常の照明条件を説明し、設定を選択します。
- 5 から [暴露](#)ドロップダウンリストを選択 [固定 \(屋内\)](#)。利得そして [露出時間](#) 設定が表示されます。
- 6 最小のデフォルト値 (0) にゲインレベルを設定します。
- 7 あなたがイメージに満足しているとナンバープレートがはっきりと見えるようになるまで露出時間を調整します。
- 8 あなたは最大露光時間レベルに達すると、プレートの画像はまだ暗すぎる場合は、ゲインを上げます
レベル。

注意：、もし不良による照明に、プレートの画像も、ゲインレベルを上げる、またはゲインレベルを増加させると、画像にあまりにも多くのノイズを付加した場合、あなたはカメラの IR 照明をオン

SharpV のソフトウェア構成にする照明を有効にする]を選択することができた後も表示されません。IR 照明器は、プレートをより見えるようにするが、コンテキスト画像から色を除去します。

- 9 あなたがビデオフィードウィンドウ内のプレート画像の外観に満足している場合は、クリックしてください **セーブ**。システムはメッセージを表示し *設定の保存に成功しました*。

屋外設置のための SharpV 露出調整について

屋外に設置されている SharpV カメラのために、我々はあなたがデフォルトの露出設定しておくことをお勧めします。あなたはナンバープレートが（暗すぎる）が露出アンダーまたは露出オーバー（明るすぎる）場合が多いことに気付いた場合、あなたは露出設定を調整することができます。しかし、照明条件の変化を考慮するために考慮すべき多くの要因があります。

重要: SharpV の露出設定を変更すると、大幅に LPR パフォーマンスに影響を与えることができます。損傷または汚れているデザインナンバープレート、またはプレートは、異なる反射特性を有することができます。静止試験板を用いて露光を改善する反射特性の広い範囲を有するプレートを含む日常のトラフィックに低下 LPR 性能をもたらすことができます。あなたはこれらの設定を変更した後、システムをテストする必要があります。

屋外設置用のカスタム SharpV LPR カメラの露出レベルを設定します

デフォルトの露出設定が許容可能な結果を生成しない場合は、あなたの屋外設置に最適に動作するように絞り、シャッター時間、および SharpV LPR カメラのゲイン設定を調整することができます。

あなたが始める前に

- 照明条件は、通常のカメラ動作時に期待されているものと一致していることを確認してください。
- [ズームとフォーカスを調整します](#) カメラの。

あなたは知っておくべきこと

- 正しく露出ナンバープレート画像において、文字板の状態が暗く、明確に定義されており、背景が白または非常に明るいです。



- LPR の画像では、プレート自体が正しく露出している露出アンダープレートの周囲であることが通常です。LPR の画像では、プレートは、適正露出とその周辺の品質を無視していることを確認します。
- 露光時間とゲイン設定の範囲は、すべての雷の条件で優れた品質の画像を可能にするのに十分な大きさでなければなりません。あなたは、できるだけ多くの範囲を減らす必要があります。範囲が大きすぎる場合、それは露出オーバーや露出アンダーのリスクを増大させます。SharpV は常にプレートの適正露出を得るために LPR カメラの露出を変化することは正常です。
- 夜間の読み取り性能を向上させるために、設定を変更すると、負の日中の読み出し性能への影響、およびその逆を持つことができます。したがって、あなたは、夜間や（太陽の照明の下で）日中双方の設定をテストする必要があります。
- SharpV は、両方のエンボス加工、フラットナンバープレートを読み取ることが予想される場合は、平板やエンボスプレートと夜の命令で一日の指示を行います。

太陽の照明の下で LPR カメラを調整します。

- 静止プレート読み取り捕捉するためにカメラの範囲内にありながら、できるだけカメラに近い固定ライセンスプレートを配置します。
- [SharpV Web ポータルにログインします。](#)

- 3 から **コンフィギュレーションメニュー**を選択 **カメラ ページ**。
- 4 から **お使いのカメラを選択**します ドロップダウンリストを選択 **LPR カメラ**。
LPR カメラからのライブフィードが表示されます。フォーカスを変更しないでください。ナンバープレートは、焦点の外に見えるかもしれませんが、あなただけの手順で露出を調整しています。
- 5 から **暴露** ドロップダウンリストを選択 **レンジ (屋外)**。
利得, **露出時間** そして **虹彩** 設定が表示されます。
- 6 をセットする **利得** そして **露出時間** それらの最小値と最小値と最大レベル。
- 7 **アイリスのチェックボックス**をオフにします。
- 8 **オーバー画像露光**することなく、可能な限り右方向に**アイリススライダー**を移動します。
- 9 あなたがビデオフィールドウィンドウ内のプレート画像の外観に満足している場合は、クリックしてください **セーブ**。システムはメッセージを表示し**設定の保存に成功しました**。

夜に LPR カメラを調整します。

- 1 静止プレート読み取り捕捉するためにカメラの範囲内にありながら限りカメラからできるだけ固定ライセンスプレートを配置します。
- 2 [SharpV Web ポータルにログイン](#)します。
- 3 から **コンフィギュレーションメニュー**を選択 **カメラ ページ**。
- 4 から **お使いのカメラを選択**します ドロップダウンリストを選択 **LPR カメラ**。
LPR カメラからのライブフィードが表示されます。フォーカスを変更しないでください。ナンバープレートは、焦点の外に見えるかもしれませんが、あなただけの手順で露出を調整しています。
- 5 から **暴露** ドロップダウンリストを選択 **レンジ (屋外)**。
利得, **露出時間** そして **虹彩** 設定が表示されます。
- 6 露出オーバーの画像を得ることなく、できるだけ多くの露光時間最大値を増やします。
- 7 露光時間を最大値に設定され、画像がまだ暗いである場合、**ゲイン**を増加させます
最大あなたがイメージに満足するまで。
- 8 あなたがビデオフィールドウィンドウ内のプレート画像の外観に満足している場合は、クリックしてください **セーブ**。システムはメッセージを表示し**設定の保存に成功しました**。

SharpV LPR カメラ用屋外暴露の問題のトラブルシューティング

あなたは下にさらされたり、固定 SharpV のインストールでナンバープレートの画像を露出オーバーになる露出調整の問題を解決することができます。

LPR 画像 (またはいくつかの特定のプレートモデル) は夜に常に暗すぎる場合 :

- 1 太陽の照明の下で最初の調整を行います。
- 2 をセットする **利得** そして **露出時間** 最小値の最小値と最大レベル。
- 3 プレートを露出オーバーせずにできるだけ**アイリス値**を増加させます。
- 4 夜に残りの露出調整を行います。
- 5 あなたは、プレートの画像に満足するまで最大露出時間値を増やします。
- 6 あなたは最大露光時間レベルに達すると、LPR のイメージがまだ暗すぎる場合は、最大**ゲイン**値を上げます。

LPR イメージは夜間に多くの場合、暗すぎる場合 :

この場合、露出設定範囲が低すぎると露出を引き起こし、大きすぎる可能性があります。削減する範囲は、最小値を増加させることによって開始します。昼間は読み込みのために高い最小値はオーバー露出につながる可能性があるため、日中の調整を行います。

この場合、露出設定範囲が低すぎると露出を引き起こし、大きすぎる可能性があります。あなたは、最小値を増やすことで範囲を減らすことができますが、最小値を大きくすると、日中の過剰露出を引き起こす可能性があるため、あなたは慎重にこれを行う必要があります。そのため、この調整は、日中に行われるべきです。

- 1 太陽の照明の下で調整してください。
- 2 画質を損なうことなく、可能な限り最小露光時間の値を増やします。
- 3 最小露光時間値が最大値に達した場合は、最小値を増やすことができます
利得 値。画質は依然として満足できるものであることを確認するためのテスト。

LPR 画像（またはいくつかの特定のプレートモデル）は太陽光下でも常に暗すぎる場合：

- 1 太陽の照明の下で調整してください。
- 2 プレートを露出オーバーせずにできるだけアイリス値を増加させます。
- 3 アイリスがその最大値に達し、プレートを下に露出まだある場合、最大値を増加させます
露出時間 オーバー露光プレートをせずに可能な限りレベル。
- 4 最大露光時間が最大値に達すると、プレートの下に露出したままの場合、あなたが画像に満足するまでの時間で最大ゲイン値一步を増やします。

LPR 画像（またはいくつかの特定のプレートモデル）は、日光の下で、常に明るすぎる場合：

- 1 太陽の照明の下で調整してください。
- 2 あなたは、プレートの画像に満足するまで最小ゲイン値を減らします。
- 3 あなたが最小ゲインレベルに到達し、LPR のイメージがまだ明るすぎる場合は、最小値を下げます
露出時間 値。
- 4 あなたが最小露光時間レベルに達すると、LPR のイメージがまだ明るすぎる場合は、プレートの画像に満足するまで、アイリス絞りを小さくします。

LPR 画像は、太陽光の下で、多くの場合、明るすぎる場合：

この場合には、露出設定範囲は露光が高すぎるのが原因、大きすぎるかもしれません。あなたは、最大値を減少させることによって範囲を減らすことができますが、あるため、慎重にこれを行う必要があります

最大値を減少させると、下の露光夜に発生する可能性があります。そのため、この調整は、夜の間に行われるべきです。

- 1 夜に調整してください。
- 2 画質を損なうことなく、可能な限り最大ゲイン値を減らします。
- 3 最大ゲイン値が最小値に達した場合は、最大露光時間の値を小さくすることができます。画質は依然として満足できるものであることを確認するためのテスト。
- 4 あなたが最小露光時間レベルに達すると、あなたはまだ画質に満足できない場合は、**完全な昼と夜の露出調整を行います** 再び。

SharpV コンテキストカメラ用屋外暴露の問題のトラブルシューティング

あなたは下にさらされたり、固定 SharpV のインストールでライセンスコンテキストイメージを露出オーバーになる露出調整の問題を解決することができます。

コンテキスト・イメージは、高速移動車両にぼやけている場合：

- 1 夜に調整してください。
- 2 車両運動によるぼけが許容可能になるまで、最大露光時間の値を減少させます。

コンテキストイメージは夜の間にはノイズが多い場合：

- 1 夜に調整してください。
- 2 (オプション) 照明を有効にする]を選択します。これは、カメラは、暗条件下で IR 照明器をオンにすることを可能にするが、光レベルが減少するように、画像から色を除去します。
- 3 最大ゲイン値を減らします。これはノイズを増幅するからカメラを防止するが、それは暗い画像をもたらすことができます。

コンテキスト画像は夜間暗すぎる場合：

- 1 夜に調整してください。
- 2 (オプション) 照明を有効にする]を選択します。これは、カメラは、暗条件下で IR 照明器をオンにすることを可能にするが、光レベルが減少するように、これは徐々に画像から色を除去します。
- 3 あなたが画質に満足するまで最大露出時間値を増やします。しかし、高速で移動する車両に容認できないモーションブラーが発生するレベルを超えていません。
- 4 あなたは最大露光時間値に到達し、画像はまだ暗すぎる場合は、最大値を増やします
利得 値。

コンテキスト画像は、日中は明るすぎる場合：

- 1 太陽の照明の下で調整してください。
- 2 あなたが画質に満足するまで最小ゲイン値を減らします。
- 3 あなたが最小ゲイン値に到達し、画像はまだ明るすぎる場合は、最小露光時間の値を小さくします。

フォールバック IP アドレスを使用して SharpV カメラへの接続

あなたは、ネットワーク上の SharpV カメラに接続できない場合は、カメラの代替 IP アドレスを使用してカメラに接続してみてくださいすることができます。

あなたは知っておくべきこと

- たとえば、DHCP サーバーが利用できない、場合は、フォールバック IP アドレスを使用してカメラに接続する必要があります。
- カメラの電源が投入されると、数分のためにネットワークに接続されていない場合は、代替 IP アドレスが利用できるようになります。
- カメラは DHCP モードになっている場合は、フォールバック IP アドレスにのみ使用可能です。

フォールバック IP アドレスを使用してカメラに接続するには：

- 1 ネットワーク上に複数のシャープのカメラがある場合は、コンピュータに直接接続して、カメラを隔離します。
- 2 フォールバック IP アドレス (192.168.10.100) を使ってカメラに接続します。
- 3 必要に応じてカメラを再構成し、ネットワークに再接続します。

SharpV 分析の設定

あなたは、このような SharpV を読んで、SharpV は、プレートの原点と車両のメイクを読み取る必要があるかどうかだろうプレートとして SharpV によって実行される分析を、設定することができます。

SharpV Analytics を設定するには：

- 1 SharpV Web ポータルにログインします。
- 2 クリック 設定>解析。
- 3 コンテキストドロップダウンリストから、SharpV が読まれるライセンスプレートを選択します。
- 4 読み取りモード]ドロップダウンリストから、次の読み取りモードのいずれかを選択します。
 - **連続**：連続して撮影するプレートのためにこれを選択します。これがデフォルトの設定です。
 - **条件**：これは、プレートがあれば、選択された入力信号が規定される条件を満たしているように連続的に読み取り、捕捉するために選択（ハイ/ロー）。
 - **トリガー上の単一の読み取り**：信号は、電気トリガーから受信した、または後にされた後に読んでプレートをキャプチャする SharpV を強制するには、このオプションを選択してセキュリティセンターイベント・ツー・アクションまたはホットアクション。この構成は、ゲート付きの駐車場への車両のアクセスを制御するのに便利です。あなたは前またはトリガーが起動された後に発生するプレートのリード・キャプチャを設定することができます。
- 5 あなたが選択した場合には（オプション）トリガーのシングルリード、クリックしてくださいトリガーを追加 そして次のように設定します。
 - a) 入力（A または B）はその状態（ローまたはハイ）に基づいて、プレート読み取りをトリガーするときトリガーの下で、選択。たとえば、入力 A は、それが Low 状態に遷移するとき、プレートを読み取ってトリガーするように指定することができます。また、このようなセキュリティセンターイベント・ツー・アクションまたはホットアクションとして外部入力を選択することができます。
 - b) SharpV は（ミリ秒単位）キャプチャーを開始し、トリガーの前または後にそれを行うかどうかをするときキャプチャウインドウの下に、指定します。また SharpV は、プレート読み取りを捕獲しようとしていること（ミリ秒単位）持続時間を指定する必要があります。

重要：キャプチャウインドウは、トリガーがアクティブになる時間の前に終了することはできません。
 - c) 下いいえプレートの場合、車両のコンテキストイメージをキャプチャする前に、トリガー後に待機する時間（ミリ秒単位）を示します。選択コンテキスト画像として LPR の画像を使用します。あなたは LPR カメラからの映像をのために使用したいオプション、何のプレート読み取りません。

注意：コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
- 6 から 戦略を読みます リスト、読み取り戦略を選択します。
 - **動きの遅い車両**：ナンバープレートを撮影しているとき、該当車両がゆっくりと移動しています。例えば、駐車場の入口を監視するため、このオプションを選択します。
 - **高速車両を移動します**：ナンバープレートが撮像されたときに適用できる車両は高速、中程度で走行しています。例えば、高速道路を見下ろす SharpV ため、このオプションを選択します。
 - **ゲート制御**：適用時にナンバープレートを撮影している時に車両が停止する必要があります。例えば、ゲート付き駐車場の入り口や料金所を監視している SharpV ために、このオプションを選択します。
- 7 読むの内容の下に、あなたは SharpV を読み取ろうとしたいと思いプレートの内容を選択します。次の中から選択できます。

注意：あなたが状態を追加することができ、車両はセキュリティデスクのレポートでこの情報を照会するために、セキュリティセンターの注釈フィールドとして行い、信頼性スコア。

- **状態**：あなたはナンバープレートの原点を読み取る SharpV ユニットのしたい場合は、このオプションを選択します。例えば、都道府県、または国。

注意：状態認識は、特定のコンテキストのために利用可能です。
- **車のメイク**：あなたはブランドやロゴから車両のメイクを読み込もうとする SharpV ユニットのしたい場合は、このオプションを選択します。例えば、ホンダ、トヨタなど。
- **信頼性スコア**：各ナンバープレート読み取り（0-100）数値を割り当てます。この値は、SharpV が読み取りの精度であるか確信を示しています。

8 クリック セーブ.

仮想ループのキャリブレーション

ナンバープレートの捕捉率が重要な駐車アプリケーションでは、SharpV 仮想ループ機能は SharpV の LPR カメラで検出されていない、破損したり汚れたナンバープレートと車を検出することができます。これらの車両のプレートの番号は、手動でセキュリティデスクに変更することができます。

あなたが始める前に

- 固定位置に SharpV カメラを取り付けます。
- **ズームとフォーカスを調整します** カメラの。

重要: ビューのコンテキストカメラフィールドがビューの LPR カメラフィールドの倍以上の幅になるように仮想ループを使用するように、LPR 及びコンテキストカメラのズームレベルを調整しなければなりません。

注意: あなたは、ズームを変更し、焦点を合わせるか、カメラのパン・チルト角度場合は、カメラの位置を移動する、または場合は、再構成し、仮想ループ検出ゾーンを再調整しなければなりません。

あなたは知っておくべきこと

- 仮想ループ機能を使用して最良の結果を得るために、検知エリアを十分に点灯していることを確認してください。信頼性の高い動作のために十分な光が存在しない場合には照明条件が改善されるまで、仮想ループは一時的に無効になっています。
- 仮想ループによって検出される、車両の少なくとも 25% が赤色検出ゾーンを通過しなければならないと車両の少なくとも 20% は、任意の順序で、ビューのオレンジ LPR フィールドを通過しなければなりません。車両はまた、あなたが選択した設定に応じて、ビューのコンテキストカメラフィールドを入力するか、終了する必要があります。
- あなたは推奨 SharpV 位置決めガイドラインを尊重しなければなりません。詳細については、*SharpV* ハンドブック。
- キャリブレーションはすぐに終了するのを、車両が指定された領域内の適切な方向に進行することが期待されている時間を選択します。
- 仮想ループ機能は SharpV、ITS のカメラでは使用できません。
- あなたは、ゲート制御のためのトリガーとして仮想ループを使用することはできません。

SharpV 仮想ループを構成するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログインします。](#)
- 2 クリック **設定>解析** そして、選択 **仮想ループ**。
- 3 クリック **有効**。
カメラは、設定を保存し、「設定が正常に保存された」というメッセージが表示されます。
- 4 クリック **設定**。
SharpV のステータス LED は、構成時に赤と緑の点滅します。
- 5 マーカーを一致させます。
 - a) 仮想ループ構成ページでは、ビデオは、LPR カメラとコンテキストカメラからのフィード、各カメラの A 及び B のマーカーで表示されています。両方のカメラフィールドに表示されている 2 つの点を選択し、それらが各カメラフィールドに同じ位置にあるように A と B のマーカーを移動します。マーカーが正しい位置に接近している場合は、オレンジ色のボックスは、コンテキストカメラビデオフィールドに表示されます。微調整マーカーの位置オレンジボックスはの視野と一致するように LPR カメラ。

注意：

- 最良の結果を得るために、垂直方向と水平方向にできるだけ遠くに離れている A と B のマーカーの位置を選択してください。

- ビデオフィードのいずれかが正確にマーカーを配置することが暗すぎる、または明るすぎる場合は、一時的に各ビデオフィードの上方に位置するスライダを使用して明るさを調整することができます。キャリブレーションが終了すると、露出がデフォルトモードに戻ります。

b) クリック 次.

6 検出ゾーンを設定します。

a) 特定の方向に移動している車両を検出するためのシステムを構成するために、ドロップダウンリストから次の検出モードのいずれかを選択します。

- 検出ゾーンの視野に入ります。
- 検出ゾーンの視野を終了します。
- 検出ゾーンの視野に入るか、終了します。

b) カメラのビデオフィードで検出ゾーンを描画するには、少なくとも 3 点をクリックすることにより、多角形を作成します。

注意：

- 視野をクリックすると、既存のポリゴンをクリアします。また、既存のポリゴンを削除するためにクリアし、ゾーンをクリックすることができます。
- ビューのコンテキスト全体のカメラ分野をカバーしてポリゴンを描画するには、すべてを選択]をクリックし、使用
検出ゾーンの視野に入るか出ます。設定。

検出ゾーンを描画するときの次のことを考慮してください。

- ポリゴンは、画像の境界に触れなければなりません。これは、例えば、旅行設定のすべての方向のために必要であり、検出ゾーンの視野に入ります。
- ポリゴンの線が交差することはできません。

- (設定されている場合)、車両が進入する又は画像を出るときに検出されるように、車両の可視部分の少なくとも 25% が赤色検出ゾーンを通過しなければなりません。車両はまた、どこかその軌跡に沿って図のオレンジ LPR フィールドの少なくとも 20% をカバーしなければなりません。
- 自転車と歩行者がゾーンを通過しないように、あなたの検出ゾーンを描くようにしてください。たとえば、あなたはあまりにも多くの誤検出を持っている場合は、カメラから遠いポリゴンを描画して使用する場合は、検出ゾーンの視野を終了し、カメラに近いポリゴンを描画しようとすると、使用検出ゾーンの視野に入ります。

詳細については、[仮想ループ検出ゾーンの例](#) 60 ページ。

- c) あなたはポリゴンの描画が終了したら、[完了]をクリックします。

進行中のシステム・ディスプレイ - 5 台の以上の車両を待機し、ナンバープレートの番号をカウントダウン仕上げにキャリブレーションのために必要であることを読み込みます。このキャリブレーション時に、システムは、予想される車両のサイズおよび軌跡を評価します。

注意：

- システムは、独自のキャリブレーションを完了します。これ以上の手順は必要ありません。
- キャリブレーションが終了する前に、あなたは SharpV 構成に他の変更を加えた場合、キャリブレーションが再開されます。

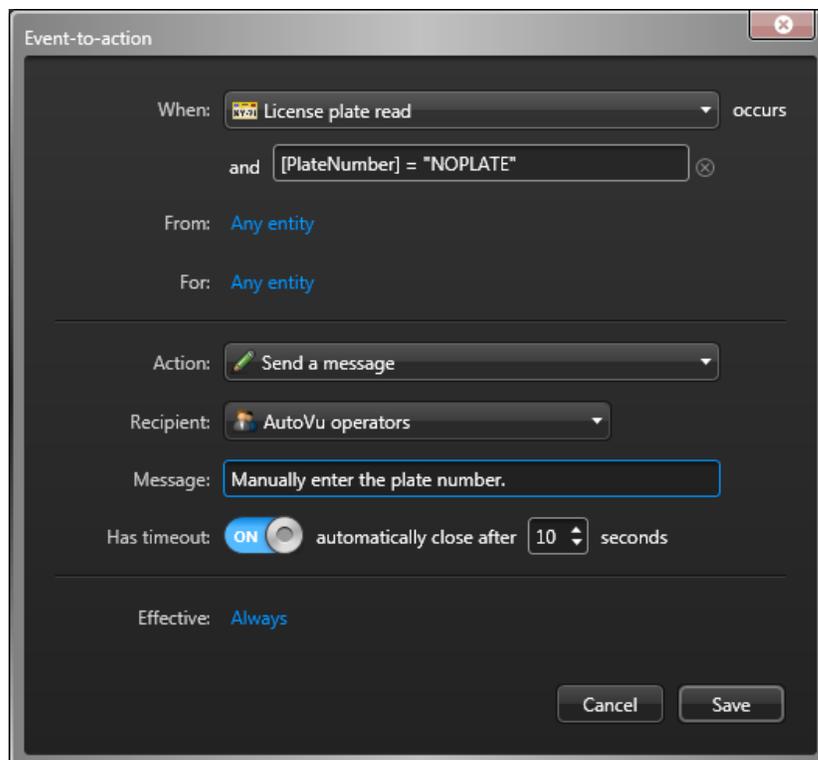
あなたが完了した後、

- **トラブルシューティングの目的のために、仮想ループ診断情報は、診断から入手可能です**
>ログ ページ。キャリブレーションの前に、使用して *VehicleDetection* ソース、およびキャリブレーションを使用した後

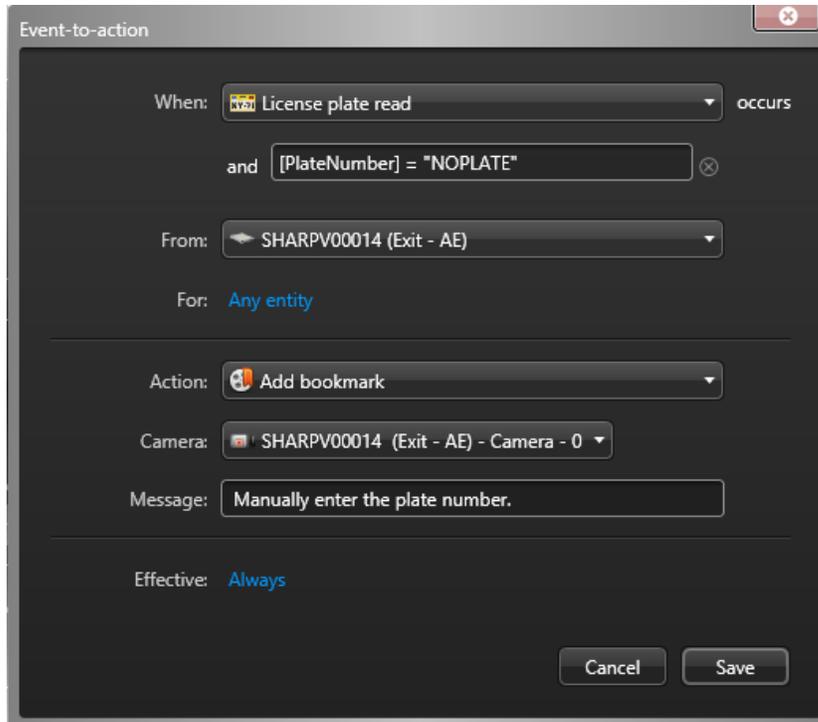
VehicleDetection (詳細) ソース (から有効にする必要があります ログインするソース ドロップダウン リスト)。

- LPR カメラは、車両のナンバープレートと車両をキャプチャするために失敗した場合は、仮想ループによって検出され、SharpV により送信されたナンバープレートのイベントは、文字列 NOPLATE を使用しています。オペレータが知っているように
ナンバープレートを手動で変更する必要があることを、あなたがメッセージを送信するために、またはブックマークを追加するには、アラームをトリガーするイベントとアクションを設定することができます。

例：イベント・ツー・アクションメッセージを送信します



例：イベント・ ツー・ アクションのブックマークを作成します



仮想ループ検出ゾーンの例

固定 SharpV のインストール中に仮想ループ機能を使用する際に誤検出の数を減らすには、検出ゾーンを描画するためのガイドラインを考慮しなければなりません。

仮想ループ検出ゾーンのガイドライン：

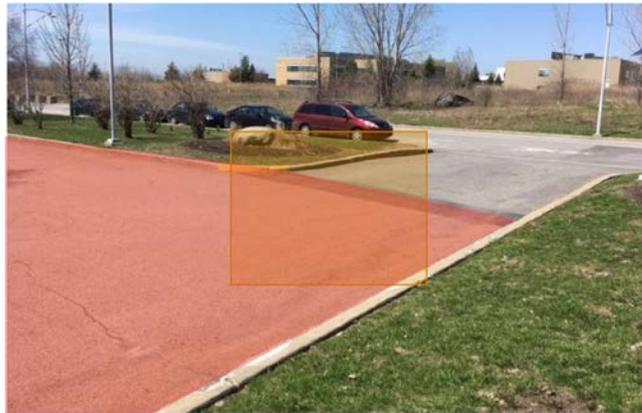
- ポリゴンは、画像の境界に触れなければなりません。これは、例えば、旅行設定のすべての方向のために必要であり、*検出ゾーンの視野に入ります*。
- ポリゴンの線が交差することはできません。
- (設定されている場合)、車両が進入する又は画像を出るときに検出されるように、車両の可視部分の少なくとも 25% が赤色検出ゾーンを通過しなければなりません。車両はまた、どこかその軌跡に沿って図のオレンジ LPR フィールドの少なくとも 20% をカバーしなければなりません。
- 自転車と歩行者がゾーンを通過しないように、あなたの検出ゾーンを描くようにしてください。たとえば、あなたはあまりにも多くの誤検出を持っている場合は、カメラと使用から遠いポリゴンを描画するときインクルード *検出ゾーンの視野を終了し*ます設定、カメラに近いポリゴンと使用を描いてみてくださいインクルード *検出ゾーンの視野に入ります*設定。

問題：検出ゾーンは、視野の端に触れていません

- **悪い：** 検出ゾーンは、ビューのコンテキストカメラフィールドの縁に接触しません。この検出ゾーンでは、何の車両も検出されません。



- **良い：** 検出ゾーンは、ビューのコンテキストカメラフィールドの縁に触れます。駐車場を出た車両のみを検出するために、使用検出ゾーンの視野に入らず設定。



問題：車が視界を残していません

- **悪い：** 検出されるためには、車両はビューのコンテキストカメラフィールドを終了する必要があります。この駐車場で駐車スペースの中には、検出ゾーン内にあります。結果として、これらのスペースに車両が検出されません。

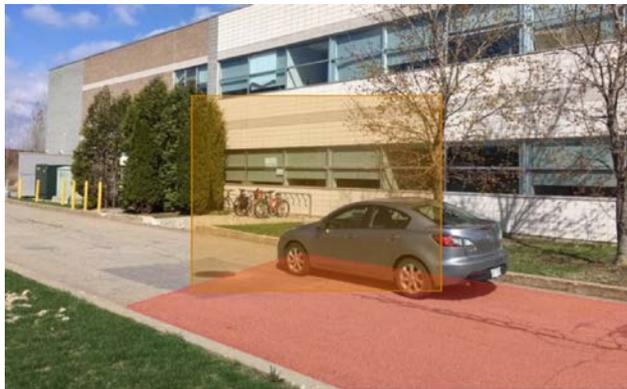


- **良い：** この問題を修正するには、カメラの角度が（ズームとフォーカスの再キャリブレーションを必要とする）下降してきました 検出ゾーンの視野に入らず設定が使用されています。駐車場で車が表示されないように別の方法として、あなたは、ビューのコンテキストカメラのフィールドのサイズを減らすことができます。

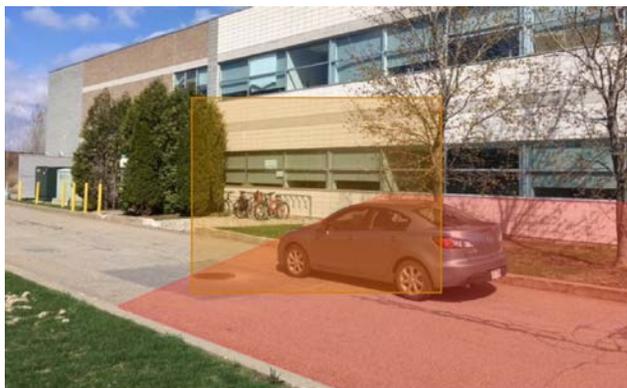


問題：車両の 25% が検出ゾーン内にありません

- **悪い**：この例では、検出ゾーンは、道路に一致するように描かれています。カメラが地面に近く設置されている場合は特に、これは車両が除外されていることを意味します。



- **良い**：検出ゾーンを描画するときに、彼らが視野を通過すると、この問題を修正するには、車のパスとサイズを考慮してください。



速度推定のキャリブレーション

固定 SharpV カメラを含むシステムの場合、あなたは行って、ナンバープレート読み取り時に推定車体速度を含めるようにカメラを設定することができます。

あなたが始める前に

- 固定位置に SharpV カメラを取り付けます。この機能を使用するには、カメラが道路に関してはナンバープレートのレベルよりも高いインストールする必要があります。これは、少なくとも 1.5 メートル (5 フィート) のカメラ設置高さを意味します。カメラは、少なくとも 5° だけ水平に対して下向きされるべきです。

- ズームとフォーカスを調整します** カメラの。

注意： あなたはズームとフォーカスまたはパンを変更し、カメラの角度を傾けた場合は、速度推定を再調整しなければなりません。

- LPR コンテキストを設定します。** スピードと測定単位があなたの地域の形式で表示されるようにこれを行います。

あなたは知っておくべきこと

- より正確な速度推定のために、キャリブレーション中にカメラを渡し車両はで移動する必要があります
少なくとも毎時 30 キロ (毎時 20 マイル) の一定速度。この勧告は校正中に適用されます。一般的に、システムは、より遅い毎時 30 キロ (毎時 20 マイル) を移動させる車両用速度を推定することができます。
- 速度推定を校正するために、システムは、任意の順序で、次のことを必要とします。
 - 少なくとも 1 枚のライセンスプレートは、既知の速度で較正車両から読み出します。あなたは、特定の速度で、または通過車両の速度を検出するレーダ装置を使用してキャリブレーション車両を駆動することにより、これを行うことができます。
 - 20 追加ライセンスプレートを読み込みます。あなたはこれらの車両の速度を知っている必要はありません。

注意： キャリブレーションはすぐに終了するのを、車両が指定された領域内の適切な方向に進行することが期待されている時間を選択します。トラフィックが校正中に通過することが予想されていない場合は、少なくとも 15 を残して、カメラの前で 20 回のパスを作るために一台の車両を使用することができますバス間の秒。

SharpV 速度推定を設定するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログオンします。](#)

- 2 クリック **設定>解析** そして、選択 **速度推定**。

- 3 クリック **有効**。

カメラは、設定を保存し、「設定が正常に保存された」というメッセージが表示されます。

- 4 クリック **キャリブレーションを開始します**。

システムは、ナンバープレートは、キャリブレーションと...キャリブレーションディスプレイの読み込みキャプチャを開始します。カウンタは、プレートの数は、キャリブレーションを完了するために、残りの読み出しを示しています。

あなたは、キャリブレーション車両を使用する場合は、特定の速度で移動：

- 1 メイン速度推定画面から、**[編集]**をクリックします。

- 2 プレート番号をクリックして、キャリブレーション車両のナンバープレートを入力してください。

- 3 クリック **加えます**。

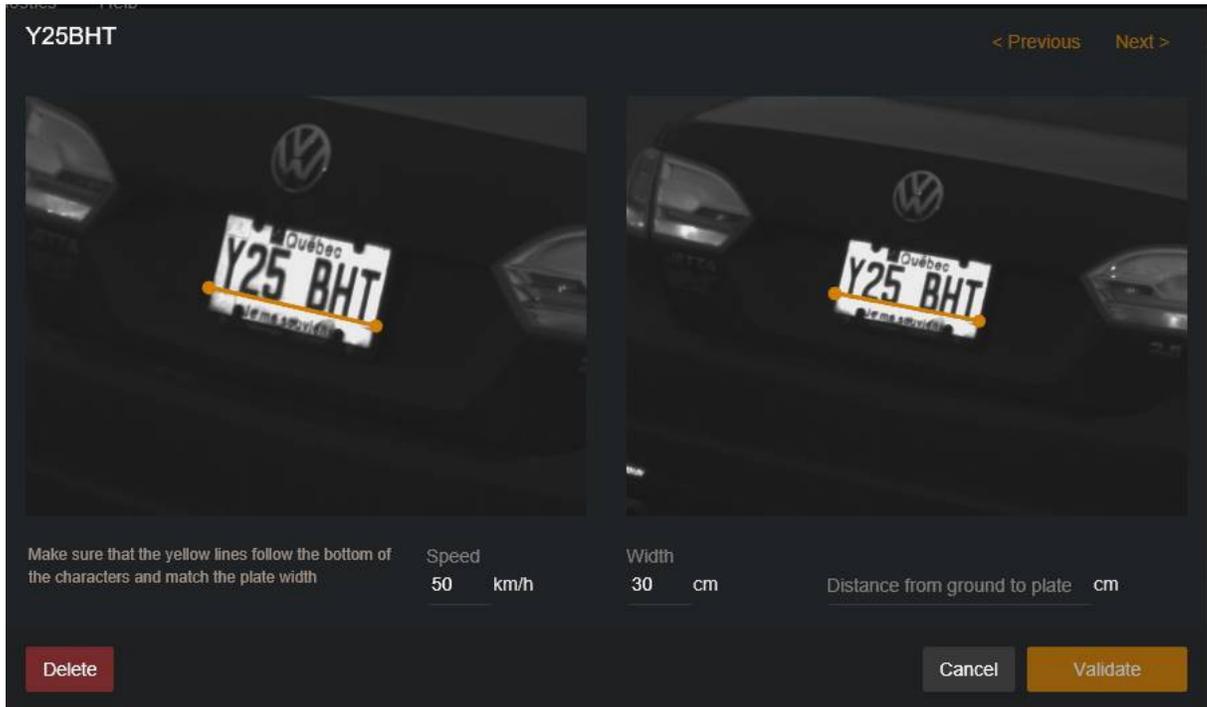
システムは、メッセージが表示されます。システムは現在、この車両用プレートを読み取ることが期待されます。車両が一定の速度を維持する必要があります。

システムはキャリブレーションプレートを検出すると、タイムスタンプを読んでナンバープレート

- 表示します。
- 4 クリック 検証.
キャリブレーションプレートの 2 枚の画像が表示されます。

- 5 以下の図に示すように、各画像にオレンジ色の線は、文字の下に従わなければならない、ナンバープレートと同じ幅でなければなりません。必要に応じて、ラインの配置を修正するためにエンドポイントを移動します。

重要: 速度推定精度は、エンドポイントの正確な位置決めに依存します。



- 6 それは SharpV カメラで読み込まれた際に車両が走行したときの速度を入力します。
- 7 板の幅は、設定した LPR コンテキストに基づいて、あなたのために入力されます。必要であれば、板幅を変更します。
- 8 (オプション) は、より精度のために、地上からのキャリブレーション車両のナンバープレートの底までの距離を測定し、地面からプレートフィールドまでの距離の測定値を入力します。
- 9 クリック 検証。
緑のチェックマークは、ステップが完了したことを示す、キャリブレーションプレート上に表示されます。
- 注意:** あなたは追加のキャリブレーション用車両のためのプレートの番号を追加することができます。これは必須ではありませんが、速度推定精度を高めることができます。

あなたは、通過車両の速度を検出するレーダ装置を使用する場合:

- 1 メイン速度推定画面から、[編集]をクリックします。
- 2 画面の右側にある[詳細設定]をクリックします。
通行車両からのナンバープレートが表示されます。
- 3 通過車両のナンバープレートのノートを取り、車両の速度を検出するためにあなたのレーダ装置を使用しています。
- 4 知られている速度で車両のナンバープレートの画像をクリックしてください。キャリブレーションプレートの 2 枚の画像が表示されます。
- 5 各画像上のオレンジ色の線は、文字の下に従わなければならないし、ナンバープレートと同じ幅でなければなりません。必要に応じて、ラインの配置を修正するためにエンドポイントを移動します。

重要: 速度推定精度は、エンドポイントの正確な位置決めに依存します。

- 6 お使いのレーダ装置によって検出された車両の速度を入力します。
- 7 板の幅は、設定した LPR コンテキストに基づいて、あなたのために入力されます。必要であれば、板幅を変更します。
- 8 クリック セーブ。

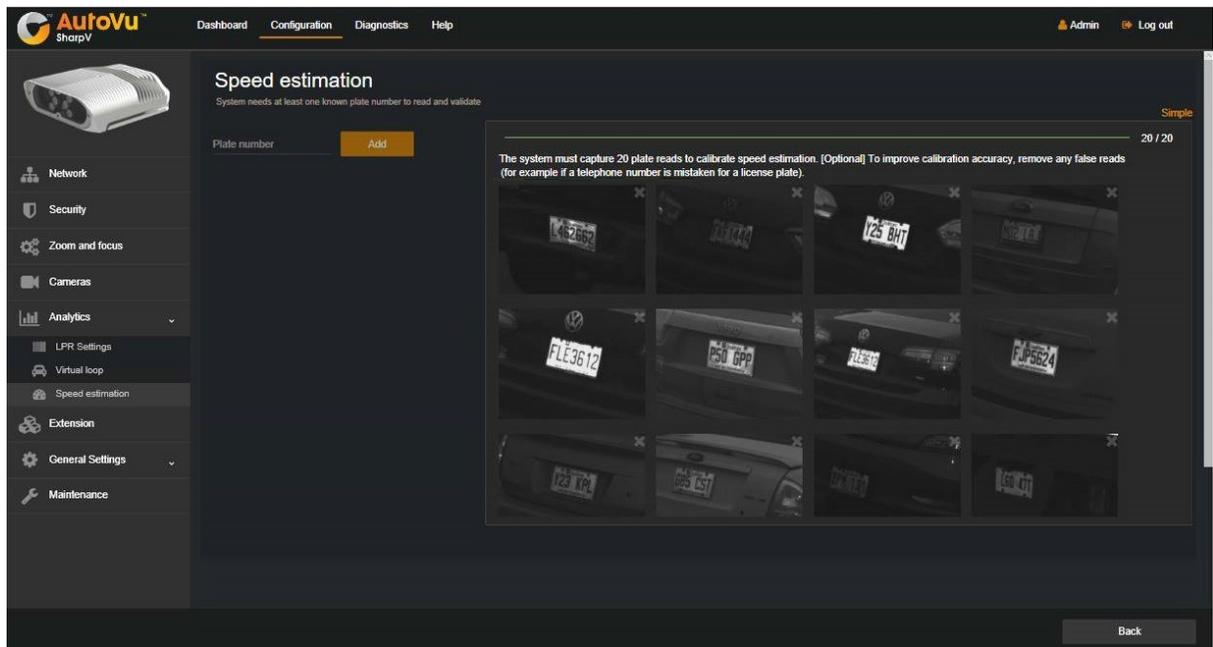
カメラは 20 ナンバープレート読み取りキャプチャ :

プレート进行分析しなければならないシステム 20 台の通過車両から読み出します。車両は任意の速度で走行することができますし、これらの車両の速度を知っている必要はありません。このために必要なユーザーの操作はありません

ステップは、しかし、あなたはプレートを編集することにより、速度推定精度を向上させることができ、次の手順を使用して読み取ります。

注意：これは、20 以上の車両は、キャリブレーションを完了するために渡しかかる場合があります。

- 1 メイン速度推定画面から、[編集]をクリックします。
- 2 画面の右側にある[詳細設定]をクリックします。
通行車両からのナンバープレートが表示されます。



- 3 あなたは間違っただプレートの読み取りに気づいた場合は車両の背面のステッカーは、ナンバープレートのために間違っていた場合には、例えば、画像を削除します。
- 4 あなたはナンバープレートの 2 枚の画像を表示するには画像をクリックすることができます。あなたは、オレンジ色の線の終点の位置を調べることができます。位置が不正確である場合は、いずれかの行の配置を修正するか、画像を削除するには、エンドポイントを移動することができます。
- 5 メイン速度推定画面に戻るには、[戻る]をクリックします。

システムは 20 枚のナンバープレートを読み取りに成功している、とあなたは、少なくとも 1 枚のライセンスプレートの速度を入力したとき、国家はメインのキャリブレーション画面上に表示されたときに準備ができています。

速度推定キャリブレーションが完了すると、車両の速度は、ポータルライブフィードのページに表示されます。セキュリティセンターでの注釈フィールドとして含まれるように車速を設定することも可能です。詳細については、セキュリティセンターの管理者ガイドを参照してください。

SharpV は、その LPR データを送信した場合の設定

セキュリティセンターの情報、または FTP や HTTP サーバを読み SharpV は、それに応じて LPR データを送信どこにナンバープレートを受信したいかどうかに応じて、設定する必要があります。

あなたは知っておくべきこと

デフォルトの拡張子は None です。あなたは SharpV がどこかにそのデータを送信していることを確認するために利用できる拡張のいずれかを選択する必要があります。

SharpV 拡張子を設定するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログインします。](#)
- 2 から [コンフィギュレーションメニュー](#) を選択 [拡張](#) ページ。
- 3 から [拡張タイプ](#) ドロップダウンリストには、次のいずれかを選択します。
 - **FTP**：FTP サーバへの ALPR データを送信します。
 - **HTTP**：HTTP サーバに ALPR データを送信します。
 - **セキュリティセンター**：LPR Manager に LPR データを送信します。
- 4 あなたの拡張機能として FTP を選択した場合は、サードパーティのアプリケーションによって統合することができます FTP の XML テンプレートを設定することができます。詳細については、[SharpV FTP 拡張機能の設定](#) 70 ページ。
- 5 あなたの拡張機能として HTTP を選択した場合は、XML や JSON 形式でデータを送信するためにシステムを構成することができます。詳細およびエクスポートされた XML と JSON ファイルの例については、[設定 SharpV HTTP 拡張](#) 72 ページ。
- 6 あなたが選択した場合 [セキュリティセンター](#) あなたの拡張機能として、次の項目を設定します。
 - このユニットは、セキュリティセンターへの接続を管理します。参照 ([接続 SharpV の自動検出が動作しない場合にのみ、これを使用](#) [セキュリティセンターへ SharpV カメラの接続](#))。あなたは LPR マネージャの役割を実行しているサーバーのサーバーのアドレスとポートを入力する必要があります。SharpV は、無線 LAN ルータに接続されており、カメラの IP アドレスが、その後変更された場合は、セキュリティセンターのコンピュータに再接続するためにこれを使用することができますので、例えば、LPR Manager は、自動的に変更を検出することはできません。
 - **ディスクバリーポート**：SharpV が発見要求をリッスンするポート。検出ポートと一致する必要があります。このポート番号は、LPR Manager の [プロパティ](#) ページで入力しました。
注意：検出ポートを設定する場合、それがロガーのサービスのために予約されているように、ポート 5050 を使用しないでください。
 - **制御ポート**：セキュリティセンター設定ツールで使用する手動で新しい LPR ユニット (SharpV) を作成するとき。
 - **Provider ポートを更新します。** SharpV は、このポートで LPR マネージャから更新を受け取ります。SharpV を更新するには、有効にする必要があります [更新プロバイダ](#) LPR Manager の [プロパティ](#) ページ、およびポート番号が一致する必要があります。

7 クリック セ

ープ. 関連トピ

ック

[SharpV FTP 拡張機能の設定](#) 70 ページ

[あなたは SharpV FTP の XML テンプレートに変更することができます](#) 70 ページ

セキュリティセンターへ SharpV カメラの接続

あなたがセキュリティセンターに SharpV カメラからの LPR データを送信するためにセキュリティセンターの拡張機能を使用している場合は、最初の役割とのユニットの下でセキュリティセンター LPR タスクにカメラを登録する必要があります。

セキュリティセンターで SharpV カメラを追加する最も簡単な方法は、カメラを発見するために LPR Manager を設定することです。この接続方法が不可能な場合は、セキュリティセンターでは、カメラの Web ポータルにカメラを手動で追加することができます。

次のいずれかの方法で、セキュリティセンターにカメラを追加することができます。

接続方法	これを使用するとき methodRequirements
<p>LPR Manager を構成 to 合、これは好ましい方法であります arethe</p> <p>LPR タブ マネージャーさん ディスカバリーポートを見つけるには</p> <p>上のカメラ サブネット。</p>	<p>この方法を使用するには、ユーザーが設定しなければならない場 カメラとセキュリティセンター あなたに設定することができます マネージャーさん プロパティ そして、カメラの Web ポータル</p> <p>カメラとセキュリティセンター は、同じサブネット上にある必 要があります。設定の詳細につ いては 固定 AutoVu のための LPR マネ ージャー™ システム、を参照しな</p>
<p>手動でカメラを追加に りません</p> <p>セキュリティセンター： あなたはカメラを追加することが できます ツールの中 LPR マネージャーさん LPR LAN。カメラとセキュリティセンターは、必要がある場合には、この メソッドを使用することができます 仕事。 しかし ディスカバリーポートすることができ セキュリティセンターにして、 カメラの Web ポータルに変更。</p> <p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none"> 通信は、インターネットを介して行かなければならない場合は、このメソッドを使用することはできません。 カメラが NAT の背後にある場合は、ポート転送を設定する必要があります 	<p>カメラはこの方法を使用するときは、このメソッドを使用しなければなら りません</p> <p>そしてセキュリティセンターです onknow IP アドレスとポート カメラの同じ (制御ポート) 内の異なるサブネット。設定 カメラの Web ポータル： インクルード ホスト名若しくは IP アドレス あなたは強制するこ 越えて通信 インターネット経由 ポートの (リスニングポート) どこネットワーク topologySecurity センターコンピュータ。 NAT のを含んでいます。</p> <p>注意： カメラが背後にある場 合 セキュリティセンターに接続します。NAT のために、あなた はあなたのゼネテックに連絡し、ポートの支援を設定する必要が あります™ 転送。</p>
<p>カメラのから SharpV を追加 しなければなりません 入力する必要があります</p> <p>とができます 接続 カメラの Web から ポータル あなたが選択した場合 セキュリティ センター 拡張と 選択</p>	<p>場合は、この方法を使用し cameraTo あなたは、このメソッドを使用 そして、セキュリティセンター あなたは強制するこ 越えて通信 インターネット経由 ポートの (リスニングポート) どこネットワーク topologySecurity センターコンピュータ。 NAT のを含んでいます。</p> <p>注意： カメラが背後にある場 合 セキュリティセンターに接続します。NAT のために、あなた はあなたのゼネテックに連絡し、ポートの支援を設定する必要が あります™ 転送。</p>

関連トピック

[SharpV は、その LPR データを送信した場合の設定 66 ページ](#)

SharpV の通信ポート

SharpV カメラは、セキュリティセンターと通信するために、正しい通信ポートを定義する必要があります。

次の表は、セキュリティセンターとの SharpV 通信に使用されるデフォルトのネットワークポートを示しています。

ComputerInboundOutbound	ポートの使用状況	
Srpv	HTTP 8001	制御ポート。
	HTTP 2323	ロードする拡張を決定するために SharpV によって使用されます。
	UDP 5000	ネットワークに接続され SharpV ユニットの発見のために使用します。
	TCP 8731	デフォルトのリスニングポート。
	TCP 8832	通信に SharpV によって使用されます セキュリティセンターのアップデートサービスを提供しています。
	80	セキュリティセンターとの HTTP 通信に使用されます。
	443	セキュリティセンターとの HTTPS 通信に使用されます。

LPR Manager に SharpV カメラを追加

セキュリティセンターにカメラからの LPR データを送信するには、LPR Manager にカメラを追加する必要があります。

あなたが始める前に

セキュリティセンターにカメラを追加するには、まず LPR マネージャーの役割を構成する必要があります。

あなたは知っておくべきこと

セキュリティセンターにカメラを追加する最も簡単な方法は、ユニット登録ツールを使用して自動的にカメラを追加することです。システムは、カメラを発見することができない場合は、手動で追加するには、次のメソッドを使用します。ユニット登録ツールの詳細については、セキュリティセンターの管理者ガイドを参照してください

手動でセキュリティセンターにカメラを追加するには：

- 1 設定ツールのホーム・ページから、クリックしてください **LPR タスク** を選択 **役割とユニット**。
- 2 クリック **+** **LPR ユニット**。
ザ・ユニットを作成します ダイアログボックスが開きます。
- 3 カメラの名前を入力します。
- 4 を入力 **IP アドレス** そして **ポート** カメラの。
この情報は、カメラの Web ポータルに表示されているものと一致しなければなりません。
- 5 選択 **LPR マネージャー** ドロップダウンリストから、役割、およびクリック **次**。
- 6 必要に応じて他のすべての設定を完了し、[作成]をクリックします。

新しいカメラは、選択した LPR マネージャーの下に追加されます。

アーカイバに SharpV カメラを追加

あなたはセキュリティセンターのコンテキストカメラビデオフィードを表示したい場合は、アーカイバにカメラを追加する必要があります。

あなたが始める前に

- セキュリティセンターにカメラを追加するには、まずアーカイバの役割を構成する必要があります。
- カメラの Web ポータルにログオンし、デフォルトのパスワードを変更します。
注意： アーカイバにカメラを追加するときは、デフォルト SharpV 資格情報を使用することはできません。
- デフォルトでは、SharpV カメラは DHCP モードです。アーカイバにコンテキストカメラを追加するには、Web ポータルで定義されている静的 IP アドレスを使用するようにカメラを設定する必要があります。

あなたは知っておくべきこと

- セキュリティセンターにカメラを追加する最も簡単な方法は、ユニット登録ツールを使用して自動的にカメラを追加することです。システムは、カメラを発見することができない場合は、手動で追加するには、次のメソッドを使用します。ユニット登録ツールの詳細については、セキュリティセンターの管理を参照してください

ガイド

- **注意：** コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

手動でセキュリティセンターのアーカイバにカメラを追加するには：

- 1 設定ツールのホーム ページから、動画のタスクを開きます。
 - 2 あなたが複数のアーカイバの役割を持っている場合は、アーカイバは、ドロップダウンリストから単位を管理するために、アーカイバの役割を選択します。
 - 3 クリック  ビデオユニット。
ザ・手動追加 ダイアログボックスが開きます。
 - 4 から メーカー ドロップダウンリストを選択 ゼネテック **AutoVu**.
 - 5 製品の種類]ドロップダウンリストから、[すべて]を選択します。
 - 6 カメラの静的 IP アドレスを入力します。
注意： SharpV カメラの場合、あなたは、IPv4 のみを使用する必要があります。あなたは、IPv6 を使用して SharpV を追加することはできません。
 - 7 **先端：** (レンジを使用します ) IP のは、一回の操作で複数のユニットを追加して対処しています。
 - 7 HTTP ポート番号を入力します。SharpV のポート番号は 8080 です。
 - 8 選択 **認証** カメラのための方法。
 - **デフォルトのログオン：** カメラは、**拡張**タブでアーカイバに定義されたデフォルトのログオンを使用しています。この方法を使用して、複数のカメラで同じログオン資格情報を定義することができます。
 - **重要：** あなたは SharpV の既定の資格情報を使用することはできません。
 - **特定：** カメラのログオン資格情報を入力します。あなたがカメラの接続に証明書に署名したか、自己署名を適用している場合は、Use HTTPS をオンにします。
 - 9 場所]ドロップダウンから、エリアエンティティにカメラを割り当てます。10 [追加]をクリックします。
通知トレイ「とは、単位が開始追加する」メッセージを表示します。成功した場合、メッセージ「ユニットが正常に追加」が表示されます。
- カメラは、選択されたアーカイバ下で追加されます。

SharpV FTP 拡張機能の設定

あなたは、FTP サーバーへの LPR データを送信するために SharpV を設定することができます。FTP サーバーに送信される LPR データは、サードパーティのアプリケーションによって統合することができます。

FTP 用 SharpV を設定するには：

- 1 SharpV Web ポータルにログインします。
- 2 から **コンフィギュレーション** メニューを選択 **拡張** ページ。
- 3 から **アクティブな拡張** セクションを選択 **FTP** から **拡張タイプ** ドロップダウンメニュー。
- 4 以下を設定します。
 - **サーバ**：ALPR データ用の FTP サーバの名前と場所を入力します。あなたは、サーバ名、ポート番号（標準 FTP サーバのポート 21 と異なる場合）、およびフォルダの名前が必要になります。例えば、`FTP ://<サーバー名> :<ポート番号> /<FolderNameOnServer> /`。
 - **ユーザー名**：FTP サーバのユーザ名を入力します。
 - **パスワード**：FTP サーバのパスワードを入力します。
 - **コンテンツプレート**：ALPR データが示すプレートを使用して、XML 形式で送信されます。あなたが選択した場合は、特定の要素を変更することができます。
 - **輸出関連画像**：（JPEG 形式）コンテキスト画像を書き出します。

注意：コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

- **輸出 ALPR 画像**：（JPEG 形式）プレートの画像をエクスポートします。
 - **接続が失われたときにデータを保持します**。チェックボックスが選択されている場合は、プレートは、FTP サーバーとの接続が失われた場合、イベントが SharpV のデータベースにローカルに保存されているお読みください。SharpV 70 000 まで保存することができるプレートがイベントを読み取り、しかし、そのイベントのサイズが観察されるシーンの複雑さに基づいて変化する注意。システムは、サーバ 30 秒ごとに再接続しようとしています。保存された接続が再確立されたときにサーバーにプッシュされている読み込みます。チェックボックスをオフにすると FTP サーバーとの接続が失われた場合、SharpV は、ストアは、ローカルに読み取っていません。あなたは **ダッシュボード>概要>ストレージ**と使用方法のセクションに SharpV に保存されている読み取りどのように多く見ることができます。
- 注意**：ある場合は任意のプレートが SharpV のデータベースを読み込み、このチェックボックスをオフにし、設定を保存すると、プレート読み取り削除します。
- 5 クリック **接続テスト** FTP サーバーへの接続をテストします。
 - 6 システムは、これらの設定を使用してサーバーに接続できることを確認するためのテストプレートを送信するために **サンプルを送信** をクリックします。
 - 7 クリック **セーブ**。

あなたは SharpV FTP の XML テンプレートに変更することができます

XML コードは SharpV によって生成された XML ファイルの構造を定義します。あなたは再ソートまたはフィールドのいずれかを削除することができます。XML ファイル名は SharpV 名との一意の識別番号（で構成されてい例えば、SHARPV12345_6ee17b00-82c1-466b-9fd6-003417bc82c4_lpr.xml）。

テンプレート：

```
<?xml version = "1.0" エンコード= "UTF-8"?>
<AutoVu>
  <プレート> #PLATE_READ#</プレート>
  <状態>は #CUSTOM_FIELDS# {状態名} </状態>
  <UTCDate> #DATE.UTC# {YYYY:MM:DD} </ UTCDate>
  <UTC 時刻> #TIME.UTC# {HH:MM:ss.fff} </ UTC 時刻>
  <CameraName> #CAMERA_NAME#</ CameraName>
  <sourcename ここ> #SHARP_NAME#</ sourcename ここ>
  <ContextImage> #CONTEXT_IMAGE#</ ContextImage>
  <PlateImage> #PLATE IMAGE#</ PlateImage>
```

```
<LongitudeX> #LONGITUDE#</ LongitudeX>
<LatitudeY> #LATITUDE#</ LatitudeY>
<GUID> #GUID#</ GUID>
</ AutoVu>
```

次の点に注意してください。

- ホットリストのマッチングはサポートされていません。
- LOCALDATE、に LocalTime、UTCDate、UTC 時刻、およびタイムゾーンは、Windows の日付と時刻のプロパティを表示します。
- CameraName はパトローラー・設定ツールで設定されています。
- sourcename ここは SharpV 名 (例えば Sharp12345) です。
- ContextImage と PlateImage をテキストにエンコードされています。

注意： コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

- GUID は読みイベントの固有の識別です。
- あなたは、テンプレートに次のカスタムフィールドを追加することができます。
 - **都道府県名：** SharpV プレート番号 (いくつかのプレートを発行都道府県を含む) に加えて、プレートの原点を読み取ろう。これは、ナンバープレートのすべてのタイプのためにできない場合があります。このフィールドを使用するには、XML に<状態>#CUSTOM_FIELDS#{都道府県名}</状態>を追加し、SharpV ウェブポータル[設定]メニューの解析ページの状態を選択します。

注意： 使用している LPR コンテキストは、状態名機能をサポートしている必要があります。

- **相対運動：** SharpV プレートを読み取る際に車両が接近又は離れるように移動している場合、それを検出して表示。このフィールドを使用するには、XML に次の行を追加します。

```
<RelativeMotion>#CUSTOM_FIELDS#{相対運動}</ RelativeMotion>。
```

- **車種：** 特定のナンバープレートは、特定の車両 (例えば、タクシー、輸送など) のタイプを識別する文字シンボルを含みます。SharpV は、これらのシンボルを読み取ることができる場合、それは他の読み取りと一緒に車両の種類を表示/情報を襲いました。このフィールドを使用するには、XML に次の行を追加します。

```
<VehicleType>#CUSTOM_FIELDS#{車種}</ VehicleType>。
```

- GPS 座標で FTP を使用している場合は、経度と緯度のフィールドを追加する必要があります。

例

```
<?xml version = "1.0" エンコード= "UTF-8"?>
<AutoVu>
  <プレート> #PLATE_READ#</プレート>
  <LOCALDATE>#DATE_LOCAL#{HH:MM:SS}</に LocalTime>
  <UTCDate>#DATE_UTC#{YYYY:MM:DD}</ UTCDate>
  <UTC 時刻>#TIME_UTC#{HH:MM:ss.fff}</ UTC 時刻>
  <タイムゾーン> #TIME_ZONE の#</タイムゾーン>
  <CameraName> #CAMERA_NAME#</ CameraName>
  <sourcename ここ> #SHARP_NAME#</ sourcename ここ>
  <ContextImage> #CONTEXT_IMAGE#</ ContextImage>
  <PlateImage> #PLATE_IMAGE#</ PlateImage>
  <LongitudeX> #LONGITUDE#</ LongitudeX>
  <LatitudeY> #LATITUDE#</ LatitudeY>
  <GUID> #GUID#</ GUID>
</ AutoVu>
```

SharpV HTTP の拡張機能の設定

あなたは、HTTP サーバに代わりのセキュリティセンターに LPR データを送信するために SharpV を設定することができます。HTTP サーバに送信される LPR データは、サードパーティのアプリケーションによって統合することができます。

HTTP のための SharpV を設定するには：

- 1 SharpV Web ポータルにログインします。
- 2 から **コンフィギュレーションメニュー** を選択 **拡張** ページ。
- 3 から **アクティブな拡張** セクションを選択 **HTTP** から **拡張タイプ** ドロップダウンメニュー。
- 4 以下を設定します。
 - **サーバ**：ALPR データを受信するサーバーの URL を入力します。例えば、`https://にアドレス:ポート/パス/`。どちらも `http://` そして `https://` でサポートされています。
 - **フォーマット**：あなたが ALPR データを送信したい形式を選択します。あなたは JSON または XML のいずれかを選択することができます
フォーマット。
 - **ユーザー名**：HTTP サーバ (基本認証) のためのユーザ名を入力します。
 - **パスワード**：HTTP サーバ (基本認証) 用のパスワードを入力します。
 - **輸出関連画像**：(JPEG 形式) コンテキスト画像を書き出します。

注意：コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

- **輸出 ALPR 画像**：(JPEG 形式) プレートの画像をエクスポートします。
 - **接続が失われたときにデータを保持します**。チェックボックスが選択されている場合は、プレートは、HTTP サーバとの接続が失われた場合 SharpV のデータベースにローカルに保存されている読み込みます。システムは、サーバ 30 秒ごとに再接続しようとします。保存された接続が再確立されたときにサーバにプッシュされている読み込みます。チェックボックスをオフにした場合、HTTP サーバとの接続が失われた場合、SharpV は、ストアは、ローカルに読み取っていません。あなたはダッシュボード>概要>ストレージと使用方法のセクションに SharpV に保存されている読み取りどのように多く見ることができます。

注意：ある場合は任意のプレートが SharpV のデータベースを読み込み、このチェックボックスをオフにし、設定を保存すると、プレート読み取り削除します。
 - **証明書エラーを無視**：ない HTTPS サーバに ALPR データを送信する際には、このオプションを選択します信頼された証明書を持っていません。SharpV は、このオプションを選択しない限り、信頼できる証明書を持っていない HTTPS サーバに ALPR データを送信しません。
- 5 システムは、これらの設定を使用してサーバに接続できることを確認するためのテストプレートを送信するために[サンプルを送信]をクリックします。
 - 6 クリック **セーブ**。

SharpV HTTP の拡張のための JSON と XML LPR イベントの例

あなたが HTTP サーバに LPR データを送信するときは、XML や JSON 形式でデータを送信するために SharpV システムを構成することができます。

JSON 形式のサンプル：

以下は、JSON 形式のライセンスプレート読み出しイベントの一例です。

注意：バイナリ画像データは、例えばから除去されています。

```
{ "ContextCameraName" : "コンテキストカメラ",  
  "ContextImage" : "",  
  "ID" : "32cf870a-46aa-4cfd-914B-00062d98e93a",  
  "緯度" : 0.0,  
  "経度" : 0.0, "LprCameraName" :  
  "LPR カメラ",  
  "PlateAnalytics" : [{ "キー" : "都道府県名",
```

```

    "スコア": -1.0、
    "値": " - "
  },
  {
    「キー」: 「車種」、
    "スコア": 1.0、
    "値": " - "
  },
  {
    "キー": "相対運動"、 "スコア"
    "スコア": -1.0、
    "値": " - "
  },
  {
    "キー": "コンテキスト"、
    "スコア": 1.0、
    "値": "US"
  },
  {
    "キー": "文字高さ"、 "スコア":
    "スコア": 1.0、
    "値": "70"
  }
],
"PlateImage": "",
"PlateRead": "AA7D2"、 "の
SourceURL": "SHARPV12345"、
"タイムスタンプ": "2016-08-29T08:42:45.797"

```

XML 形式のサンプル:

以下は、XML 形式のナンバープレート読み取りイベントの一例です。

注意: バイナリ画像データは、例えばから除去されています。

```

<プレート>
  <ContextCameraName>コンテキストカメラ</ ContextCameraName>
  <ContextImage />
  <ID> 32cf870a-46aa-4cfd-914B-00062d98e93a </ ID>
  <緯度> 0.0 </緯度>
  <経度> 0.0 </経度>
  <LprCameraName> Lpr をカメラ</ LprCameraName>
  <PlateAnalytics>
    <PlateAnalytics>
      <キー>都道府県名</キー>
      <スコア> -1.0 </スコア>
      <値> - </バリュー>
    </ PlateAnalytics>
    <PlateAnalytics>
      <キー>信頼性スコア</キー>
      <スコア> 1 </スコア>
      <値> 100 </バリュー>
    </ PlateAnalytics>
  </ PlateAnalytics>
  <PlateImage />
  <PlateRead> AA7D2 </ PlateRead>
  <の SourceURL> SHARPV12345 </の SourceURL>
  <タイムスタンプ> 2016-10-21T21:35:04.8627622 + 00:00 </タイムスタンプ>
</プレート>

```

プレートの読み取りイベントパラメータ

以下のパラメータは、JSON や HTTP サーバにエクスポートされた XML ファイルに含まれています:

パラメーター	値型	説明
ContextCameraName	弦	読み込みイベントを生成した色コンテキストカメラの名前。

注意: コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

ParameterValue	type	Description
ContextImage	BinaryColor	シーンのコンテキストイメージ。 Base64 でエンコードされた JPEG 画像。 注意： コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
同上	GUID	読み取りイベントの一意的識別子。
緯度	ダブル	SharpV カメラの小数緯度。
経度	ダブル	SharpV カメラの小数経度。
LprCameraName	弦	読み込みイベントを生成したナンバープレート認識カメラの名前。
PlateAnalytics	の配列 analyticsEach	分析対象は、データから構成されていますトリプレット。この配列は、可変サイズです。受信、解析対象物の量は、SharpV カメラの設定に依存します。
キー (分析トリプレット)	弦	分析の名前。
スコア (分析トリプレット) フロート (-1.0 又は 1.0)		解析値は (1.0) か、しない (-1.0) 信頼性があるかどうかを示します。
値 (分析トリプレット)	弦	分析の価値。
PlateImage	BinaryBlack	そして白色ナンバープレート画像をトリミング。 Base64 では、JPEG 画像をコードしていました。
プレート読みます	弦	検出されたナンバープレートの番号。
SourceURL	弦	SharpV カメラの一意的名前。
タイムスタンプ	日付時刻	での読み出しイベント (UTC) の日付と時刻フォーマットを以下 : YYYY-MM-DD T HH : MM : SS : FFF。

SharpV ログファイル用の Syslog の設定

複数 SharpV カメラを含むインストールの場合は、Syslog の機能を使用すると、すべての SharpV ログエントリの中央リポジトリを設定することができます。

あなたが始める前に

- あなたは SharpV カメラによってアクセス可能であるの Syslog サーバーが必要になります。

あなたは知っておくべきこと

- SharpV Syslog 機能は、RFC 5424 のプロトコルに準拠しています。
- あなたは syslog の機能を使用するかどうかは、SharpV ログは SharpV ウェブポータルの上で利用できるようになります

診断>[ログ] ページ。

SharpV ログファイルのリポジトリを設定するには：

- 1 [SharpV Web ポータルにログオンします](#)。
- 2 クリック [設定](#)>メンテナンス ページ。
- 3 選択 **syslog** のを使用してください チェックボックスをオンにします。
- 4 [サーバー]フィールドに、サーバーのアドレスを入力してください。
- 5 Port フィールドに、ポートを入力します。
- 6 から **ネットワークプロトコル** ドロップダウン、UDP または TCP を選択します。
- 7 クリック [接続テスト](#) 接続をテストします。
- 8 クリック [セーブ](#)。

アップグレード

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「[シャープポータルから SharpV の更新](#)」 77 ページ
- 「[セキュリティセンターから SharpV の更新](#)」 78 ページ

シャープポータルから SharpV の更新

ウェブアップデートツールを使用すると、シャープのポータルを使用して、あなたの SharpOS を更新することができます。ウェブアップデートは、ポータルのメンテナンスページで利用可能な更新]オプションからアクセスされます。

あなたが始める前に

アップデートパッケージはから入手できます **GTAP**。あなたは SharpV Web ポータルへのログオンに使用しているローカルマシン上の自己解凍 SharpOS_12.xxxzip ファイルを保存します。

重要: あなたは SharpV 上で実行されている現在の SharpOS のバージョンに応じて、正しいアップグレードファイルを選択する必要があります。

あなたは知っておくべきこと

ウェブアップデートは、現在、更新を実行する前にインストールされているバージョンをチェックしません。したがって、あなたはあなたの現在の SharpOS のバージョンを確認し、最新のものをインストールしていることを確認する必要があります。SharpOS の現在のバージョンは、バージョンの下の[概要]ページでポータルに表示されます。

ウェブアップデートを使用して SharpV を更新するには：

- 1 SharpV Web ポータルにログオンします。
- 2 クリック **設定>メンテナンス**。
- 3 下 **バージョン**、クリックしてください **更新**。
- 4 ソフトウェアの更新]ダイアログボックスで、更新.zip ファイルを含むフォルダの場所を参照し、[開く]をクリックします。
- 5 クリック **更新**。
ファイルが SharpV に転送されます。
- 6 転送が完了したら、[OK]をクリックします。
ザ・シャープアップデートページが開きます。
- 7 クリック **今すぐアップデート SharpV の更新を開始**。
進行状況]ウィンドウを使用すると、更新を監視することができます。アップグレードが完了すると、メッセージは、アップグレードが正常に完了したかどうかを示します。アップデートが失敗した場合は、メッセージを受信し、自動的にロールバックが発生します。

重要: 閉じたりから移動しないでください シャープアップデートアップデートがインストールされている間、ページ。

あなたが完了した後、

SharpV が更新されたら、SharpV がアップグレードされていることを確認するためにポータルに戻る]をクリックすることができます。あなたはバージョンの下に詳細をクリックすると、概要ページの SharpV ファイルのバージョンを確認することができます。

セキュリティセンターから SharpV を更

あなたの SharpV カメラが無線やネットワークを介して、セキュリティセンターに接続されている場合は、SharpV に更新をプッシュするセキュリティセンターのアップデートサービスを利用することができます。

あなたは知っておくべきこと

あなたはセキュリティセンターからの最新情報をプッシュした後 SharpV へのアップデートが自動的にインストールされています。

アップデートサービスを使用して SharpV を更新するには：

- 1 (初回のみ更新) アップデータサービスをオンにし、[セキュリティセンターの設定ツールでリスニングポートを指定します。
 - a) セキュリティセンター設定ツールにログオンします。
 - b) セキュリティセンター設定ツールのホームページから、LPR>役割と単位に行く更新したいユニットを制御 LPR Manager]を選択し、[プロパティ]をクリックします。
 - c) オンにします **更新プロバイダ**。そして、リスニングポートを指定します。
このポート番号は一致している必要があります **更新プロバイダポート** 上で指定 *拡張 SharpV Web* ポータルのページ。

セキュリティセンターが作成されます アップデート下のフォルダ LPR ルートフォルダお使いのコンピュータ上。このフォルダは通常に位置しています C : \ゼネテック\ AutoVu \ RootFolder \ アップデート。

- 2 に SharpV のアップデートをコピー アップグレードフォルダ。例えば、C : \ゼネテック\ AutoVu \ RootFolder2 \ アップデート \ SharpOS \ アップグレードフォルダ：
 - a) セキュリティセンターコンフィグツールから *家* ページに行きます LPR > 一般設定 > アップデート お使いのシステムに SharpV 単位を表示します。
 - b) クリック **ゼネテックパトローラー™**そして、**SharpV ユニット** タブ。
 - c) アップデートするコンポーネントのドロップフォルダにマウスポインタを移動します。
ツールチップには、ドロップフォルダの場所が表示されます。あなたは LPR マネージャーの役割をホストコンピュータにしている場合は、自動的にフォルダを開くには、ドロップフォルダのアイコンをクリックすることができます。
 - d) への更新をコピー **ドロップフォルダ**。
フォルダに zip ファイルをコピーした後、.zip ファイルからファイル名の変更が processed します。これは、LPR マネージャーが更新を解凍していることを意味し、AutoVu™コンポーネントにアップデートを送信する準備ができています。
- 3 AutoVu™コンポーネントにアップデートをプッシュ：
 - a) セキュリティセンターコンフィグツールから *家* ページに行きます LPR > 一般設定 > アップデート。 [Patrollers とシャープ単位] タブには、アップデートの対象となる SharpV カメラを表示します。
 - b) クリック **更新** 単一のカメラを更新し、またはクリックします **すべてのアップデート** リスト内のすべての適格なカメラを更新します。ときの状態から変化し **接続を待っています... to** シンクロナイズド、それはカメラが正常にアップデートをダウンロードしたことを意味します。
注意： ですが、更新を転送するのにかかる時間は、接続帯域幅およびアップデートのサイズによって異なります。

アップデートは自動的に関連する SharpV にインストールされています。

シャープポータル参照

このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- 「[シャープポータル - 概要ページ](#)」 80 ページ
- 「[シャープポータル - カメラがページをフィード](#)」 82 ページ
- 「[シャープポータル - ネットワークのページ](#)」 83 ページ
- 「[シャープポータル - セキュリティページ](#)」 84 ページ
- 「[シャープポータル - ズームとフォーカスのページ](#)」 86 ページ
- 「[シャープポータル - カメラのページ](#)」 88 ページ
- 「[シャープポータル - 解析のページ](#)」 89 ページ
- 「[シャープポータル - Extension ページ](#)」 91 ページ
- 「[シャープポータル - 日付と時刻のページ](#)」 93 ページ
- 「[シャープポータル - 電源オプションページ](#)」 94 ページ
- 「[シャープポータル - メンテナンスページ](#)」 95 ページ
- 「[シャープポータル - ログ・ページ](#)」 96 ページ

シャープポータル - 概要ページ

概要ページでは、ダッシュボードのメニューから使用可能です。その上、このようなシリアル番号、ライセンス、IP アドレス、入力と出力のステータスとして、SharpV に関する一般的な情報を表示する概要ページを使用し、そして。

SharpV (XYZ)

それについての一般情報を表示するためにあなたの SharpV の名前とセクションを使用します。

- **シリアルナンバー**：SharpV ハードウェアのシリアル番号を表示します。
- **ライセンス**：表示 SharpV ライセンスは、有効、無効、または欠落している場合。
- **入力**：SharpV 上の入力がハイ又はロー状態であるか否かの入力を示します。入力がハイ状態にあるとき、それは 5.75 V 以上の電圧を検出しています。入力が「ロー」状態にあるとき、それは 4.80 V 以下の電圧を検出しています。
- **出力**：SharpV 出力 (二乾式固体 (トランジスタ) 偏光出力) を示し、出力はハイ又はロー状態にあるかどうか。出力がハイ状態にあるとき、出力はオープンです。入力がロー状態にある場合、それが閉じられています。SharpV。
- **テスト出力**：構成を検証するために、低と高の間にあなたの構成された出力を切り替えるをクリックします。
- **Mac アドレス**：SharpV の MAC アドレスを表示します。あなたが技術サポートに連絡した場合、この情報が要求される可能性があります。
- **タイプ**：SharpV ユニットのタイプを表示します。
- **イルミネーター**：SharpV の照明情報を表示します。
- **画像**：SharpV にインストールされたソフトウェアイメージを表示します。あなたが技術サポートに連絡する場合は、この番号を提供するように求められます。
- **バージョン**：SharpOS パッケージのバージョンを表示します。パッケージに含まれているサービスのバージョンの詳細については、詳細をクリックしてください。あなたの SharpV が最新であることを確認するために、この情報を使用することができます。
- **ロケーション**：(カメラの位置は、セキュリティセンターで構成する必要があります) SharpV カメラの座標を表示します。マップ上のカメラの位置を表示する地図上の位置を確認します。
- **カメラ**：解像度、コンテキストカメラ画像と LPR カメラ画像のために使用可能なレンズの焦点距離を表示します。
注意：コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
- **LED が点滅します**：10 秒間 SharpV 上の LED を点滅させるには、をクリックします。あなたが複数のシャープスを持っていて、物理的にあなたが設定されている 1 つを特定したい場合に便利です。

接続性

インターネット接続についてと SharpV は、セキュリティセンターに接続されているか否かの情報を表示するには、接続のセクションを使用します。

- **IP アドレス**：SharpV の IP アドレスを表示します。
- **セキュリティセンター**：SharpV は、セキュリティセンターに接続されているかどうかを表示します。
注意：あなたは上のセキュリティセンターにご LPR データを送信することを選択した場合のみ、このフィールドが表示されます
[拡張 ページ](#)。
- **インターネット**：SharpV がインターネットに接続されているかどうかを表示します。
- **ビデオストリーム**：SharpV は、セキュリティセンターアーカイブに追加されており、映像を監視するために使用されている場合には、カメラ名、クライアントの IP アドレス、およびフ

フレームレートは、ストリームごとに記載されています。

ストレージと使用

およそ SharpV に保存された読み取り情報、CPU 使用率、およびメモリ使用量を表示するために保管し、使用方法のセクションを使用してください。あなたが状況を見ることができるよう、インジケータラインが用意されています。インジケータラインは通常、グリーンまたはオレンジです。赤いインジケータラインは問題があることを示し、又は高い CPU 活性を示すいずれか。

- **保存された読み取ります。** (バイト単位) SharpV のデータベースに格納された読み出し示します。読み込みの数も表示されます。
- **メモリ：** メモリドライブを表示し、そして gibibytes (ジブ) で各ドライブのメモリ使用量を示します。
- **CPU (合計)：** SharpV の合計 CPU 使用率を示します。クリック **詳細を表示** 各 CPU の使用状況を確認してください。

最後の活動

- **ユニット再起動：** ユニットが再起動された最後の時間を示します。
- **ソフトウェアの再起動：** プレートリーダーソフトウェアが再起動された最後の時間を示します。

シャープポータル - カメラがページをフィード

ザ・カメラフィードページから入手できます。計器盤メニュー。使用カメラフィードコンテキストカメラと LPR カメラのライブフィードを表示するページ。

カメラフィード

カメラは、セクションがライブビデオがコンテキストカメラと LPR カメラの両方のフィードが表示さフィード。あなたはまた、それで FPS、解像度、露出時間などのライブビデオフィードに関する情報を表示し、することができます。

注意： コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

- 記録：** カメラウィンドウをフィードから直接コンテキストと LPR の一連の画像をキャプチャし、デバッグ目的のために .zip ファイルとしてコンピュータに保存するために録音ボタンをクリックしてください。

注意： 使い方 **記録** オプションでは、CPU の使用率が増加します。
- カメラ選択：** あなたはどちらかを選択することができます **1st カメラグループ** (LPR とコンテキスト・カメラ)、または **No カメラ**。ザ・カメラがないあなたは監視を読み込みながら、CPU 使用率やネットワーク帯域幅を節約したいときにオプションが有効です。
- 十字線を表示します：** LPR またはコンテキストのカメラウィンドウに十字線を表示するには、このオプションを選択します。
- バウンディングボックスを表示します：** で検出されたプレートの周りに黄色のバウンディングボックスを表示するには、このオプションを選択します **LPR カメラ** 窓。
- 関心のある領域を表示します：** 関心領域を表示するには、このオプションを選択 **LPR カメラ** 窓。関心領域は、上で設定する必要があります **カメラ** ページ。デフォルトでは、関心のない領域がありません。
- FPS (実/平均)。** コンテキストカメラの FPS を表示します。これはによって処理フレームレートであります LPR エンジン。
- 解決：** カメラのビデオフィードの解像度を表示します。
- 露出時間：** 表示されます **暴露** ビデオフィードの時間。
- 利得：** 表示されます **利得** ビデオフィードの。
- 虹彩：** 割合としてビデオフィードのアイリス絞りを表示します。
- イルミネーター：** (コンテキスト・カメラのみ) コンテキストカメラに (パーセンテージとして) 照明装置の光の強度を表示します。

最後の読み取り

- プレートナンバー：** 最後の読み取りのプレート番号を表示します。
- 状態：** シャープは、ナンバープレートからそれを読むことができた場合には、プレートの都道府県を表示します。あなたは、設定メニューの解析ページでこの機能を有効にする必要があります。
- 読み込みの数：** プレートリーダーのサービスが開始されてから、シャープで撮影されている読み取り、その数を表示します。あなたは、リセットをクリックすると、この値をゼロにリセットすることができます。
- 候補者：** 検出されたすべての読み取りは、潜在的な読み取り候補として、このフィールドに表示されます。SharpV は、毎秒 30 のフレーム (読み出し) まで読み取ることができます。解析ページで構成されたリード戦略は、最終的な読み取りとして使用される候補を読んで決定します。

シャープポータル - ネット

ネットワークのページには、設定メニューから利用可能です。動的ホスト構成プロトコル (DHCP) または静的 IP アドレスを使用するように SharpV を設定するには、[ネットワーク]ページを使用します。

IPv4 ネットワークの設定

注意： no オプションが選択されていない場合、DHCP がデフォルトで使用されています。

- **DHCP を使用します。** 必要な IP アドレスを割り当てる DHCP サーバに SharpV を接続するには、このオプションを選択します。DHCP と DNS サーバとネットワークでは、あなたではなく IP アドレス (例えば、192.186.10.100) よりも (例えば、SharpV 1234) SharpV 名を使用して SharpV に接続することができます。
- **静的 IP アドレスを使用します。** SharpV の静的アドレスを使用するには、このオプションを選択します。

重要: あなたがセキュリティセンターアーカイバロールにビデオをストリーミングする場合は、静的 IP アドレスを使用する必要があります。

あなたは以下のように変更することができます。

- **IP アドレス：** あなたは SharpV に割り当てる新しい IP アドレスを入力します。デフォルトは 10.0.0.1 です。
- **サブネットマスク：** 新しいを入力 サブネットマスク 該当する場合。デフォルトは 255.255.0.0 です。
- **ゲートウェイ：** 新しいを入力 ゲートウェイ 該当する場合。デフォルトは 10.0.0.0 です。
- **DNS：** 該当する場合は、新しい DNS を入力します。デフォルトは 10.0.0.0 です。

シャープポータル - セキュリティページ

セキュリティページは、Configuration メニューから利用可能です。このよう SharpV のための暗号化通信を使用し、自己署名と署名証明書を作成し、インストールするかどうかなどのセキュリティ設定を構成するセキュリティページを使用してください。

アクセス

- パスワードを変更します。クリック パスワードを変更します。SharpV のパスワードを変更します。
重要: パスワードを忘れた場合は、それが取得またはリセットすることができません。カメラは、サービスのためにゼネテック社に返却しなければなりません。

HTTPS 接続ポリシー

- HTTPS を使用します。** 暗号化通信を使用するには、このオプションを選択します。

注意:

- 証明書を削除するときに使用する HTTPS オプションはクリアする必要があります。自己署名証明書がすでにインストールされ、あなたが署名された証明書に置き換えることを希望される場合たとえば、あなたは最初に HTTPS を使用]オプションをオフにする必要があります。

証明書

注意: あなたは、一度に 1 つの証明書を設定することができます。新しい証明書をインストールする場合は、まず現在の証明書を削除する必要があります

- 自己署名証明書を作成します。自己署名証明書を作成するときにクリックします。の中に証明書署名要求を作成します。ダイアログボックスには、次の 2 つの文字を入力する必要があります 国 コード、一般名、そしてあなたが定義する必要があります (年) 妥当性。他のフィールドはオプションです。
注意: あなたは自己署名証明書を使用する場合は、クライアントマシン上で証明書をインストールする必要があります。たとえば、マシンが SharpV Web ポータルへのログオンに使用します。
注意: あなたもアーカイバに接続するために証明書を使用している場合は、証明書に定義された一般的な名前が SharpV IP アドレスではなく、SharpV 名でなければなりません。
- 自己署名証明書をダウンロードします。あなたの信頼されたルートストアに自己署名証明書を追加します。あなたが使用して自己署名証明書をインストールするように求められます証明書のインポートウィザード。
- 証明書署名要求を作成します。証明書署名要求を作成するにはクリックしてください。あなたが信頼できる認証局から署名付き証明書を注文することができます前に、証明書署名要求は、サーバー用に作成する必要があります。次の 2 つの文字を入力する必要があります 国 コードと一般名 の中に証明書署名要求を作成します。ダイアログボックス。他のフィールドはオプションです。
重要: SharpV は、セキュリティセンターアーカイバに追加されている場合は、ビデオを監視するために使用されている、あなたは SharpV はなく名前の IP アドレスを入力する必要があります。
- 署名要求: そのようなサーバーの国、州、および共通名として署名要求に関する情報を表示します。証明書署名要求を表示するための表示要求をクリックします。証明書署名要求を削除するには、[削除]をクリックします。
重要: 現在使用中のインストール署名証明書の証明書署名要求を削除しないでください。署名された証明書は機能しなくなります、そしてあなたはそれを再インストールすることはできません。
- 署名された証明書をインストールします。信頼できる認証局から署名付き証明書をインストールする]をクリックします。
- インストールされた証明書: インストールされた証明書に関する情報を表示します。クリック 削除 あなたの信頼されたルートストアから証明書を削除します。

アクセス権

- **リモートリポート要求を受け入れます**：SharpVは、他のアプリケーションから再起動することができるように、このオプションを選択します。
- **リモートアシスタンス**：クリック **1時間の有効化** 技術サポートのためのリモートアクセスを許可します。アクセスの有効期限が切れる日付と時刻が表示されます。
注意：時間後、ログインしたユーザーはまだ認可されているが、新しいログインは拒否されます。

単位

- **隠密モードで実行します**。それが目立たなくなつて、シャープユニットにLEDをオフにするには、このオプションを選択します。

重要：このオプションを選択すると、LEDが点灯することはありませんという意味ではありません。例えば、SharpVと重大なエラーがある場合、LEDは問題があることを示すために点滅します。

シャープポータル - ズームとフォーカスページ

ズームとフォーカスのページには、設定メニューから利用可能です。彼らは明確であり、そしてプレートに関連した車両が読むように LPR カメラとコンテキストカメラから画像を調整するためにズームを使用して、ページを集中容易に識別することができます。

通常、ズーム及びフォーカスが一旦調整され、SharpV 変化の位置場合にのみ調整される必要があります。

注意： コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。適切にズームを調整し、SharpV のために集中します：

- あなたが読みプレートの外観を評価できるように、カメラは静止ナンバープレートや目標に向けなければなりません。
- お使いのカメラを選択します。あなたは（LPR またはコンテキスト）を調整したいカメラを選択します。
- 一時的に露出を調整します。最高プレート画像の露出を調整するスライダを使用します。

注意： ズームとフォーカスを調整しながら、この一時的な設定にのみ使用されます。自動露出が一時的に停止され、アイリスが完全に開いています。調整が完了したら、この設定は無視され、カメラはそれがコンフィギュレーション> [カメラ] ページで設定された露光設定を使用します。

- **フラッシュを有効にします：** あなたは、低光条件におけるコンテキストカメラのズームとフォーカスを校正する必要がある場合（コンテキストカメラのみ）、IR 照明を有効にするには、このオプションを選択します。
- **ズームレベルを設定します。** カメラの LPR レンズまたはコンテキストカメラのズームを調整するために SharpV の底面のラベル付きネジを使用してください。30 個のピクセルが理想的である 60 ピクセル、プレートの文字が 25 になるように、あなたはズームの調整を支援するポータルに表示ルーラーオプションを使用します。最適な設定は、ベストスコアのグラフを使用して、到達したときは、視覚的に監視することができます。次のようにズームネジは標識されています。

- **CTX：** コンテキストカメラ
- **LPR：** LPR カメラ
- **T：** 望遠
- **中：** ワイド
- **(コンテキストカメラのみ) SR：** 標準範囲
- **(コンテキストカメラのみ) LR：** 長距離

重要： ズームレベルの影響焦点。常にフォーカスを設定する前に、ズームレベルを調整します。

- **フォーカスを設定します。** カメラの LPR レンズまたはコンテキストカメラのフォーカスを調整するために SharpV の底面のラベル付きネジを使用してください。車両の予想軌跡の中間点に位置する固定プレート上にカメラの焦点を合わせます。最適な設定は、ベストスコアのグラフを使用して、到達したときは、視覚的に監視することができます。フォーカスネジはカメラの種類とモデルに応じてラベル付けされています。
 - **CTX：** コンテキストカメラ
 - **LPR：** LPR カメラ
 - **F：** 遠か
 - **N：** 近く
 - **(コンテキストカメラのみ) SR：** 標準範囲
 - **(コンテキストカメラのみ) LR：** 長距離
- **ベストスコア：** あなたが SharpV の下のネジを調整している間に、最適な設定は、ズームやフォーカスのために達したときに、視覚的に監視するために、ベストスコアのグラフを使用してください。グラフ中の太字のオレンジ色の線は、現在のフォーカス値を示しています。薄暗いオレンジ色の線が達成された最良の焦点を示しています。オレンジ色の太いラインが暗いオレンジ色から離れるときは、最適点に達しています

行と下降を開始します。この時点で、あなたは大胆なオレンジ色の線が暗いオレンジ色のラインを満たすために上向きに戻すようにあなたは、ネジを回している方向を逆にしなければなりません。2行が再び交差するとき、これが最適な設定です。

- **リセット**：リセットするにはクリックしてください **ベストスコア** グラフ。
- **ルーラーを表示します**：カメラ画像上の定規の表示を持っている場合に、このオプションを選択します。ナンバープレートに定規をドラッグして画面上の定規のサイズを変更する画素 (PX) の値を入力します。30 個の画素が理想的である 60 画素、- 画像内のプレート文字の高さが 25 の間であるべきです。

先端：あなたが最良のズームレベルを評価するためにデジタルズームを使用するためのライセンスプレートをクリックしてください。1 : 1, 2 : 1、および 4 : 1 3 つのズームレベルがあります。ズームされた領域のプレビューが画像の右上に表示されます。

- **完了**：あなたがあなたの LPR とコンテキストカメラのズームとフォーカスの校正が終了したら、クリックしてください。

シャープポータル - カメラページ

が、カメラページから入手できます。 **コンフィギュレーションメニュー**。使用カメラページには、関

心領域を定義し、露出を調整します。

- **お使いのカメラを選択します。** 設定するには、カメラを選択します。
 - **(コンテキストカメラのみ) 照明の種類：** ドロップダウンメニューから、照明の種類を選択します。
注意： コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
 - **暴露：** 選択 **暴露** タイプ。あなたは、次の中から選択することができます。
 - **デフォルト：** 自動的 SharpV を持って露出設定を調整するには、このオプションを選択します。
 - **(屋内) 修正：** 一定の照明条件が用意されていたときには、このオプションを選択します。画像のための希望の全体的な明るさと透明性が達成されるまで、ゲインを調整し、時間をシャッタースライダを使用してください。
 - **レンジ (屋外)：** 屋外での可変照明条件のために、このオプションを選択します。画像のための希望の全体的な明るさと透明性が達成されるまで、ゲインを調整し、時間をシャッタースライダを使用してください。
 - **(LPR カメラのみ) 関心領域を定義するには画像をクリックしてください：** ユーザによって設定された関心領域を規定する視野の部分に読み取り可能なエリアを制限します。周囲を作成するには、画像上の点をクリックすることで、関心領域を定義します。クリック **関心のある領域をクリア** リージョンを削除します。
 - **(コンテキストカメラのみ) 照明を有効にします。** 暗い場所での IR イルミネーターを有効にするには、これを選択します。もし **暴露** に設定されています **固定 (屋内)**、IR 照明器は、に応じてオンまたはオフに固定されています。 **照明を有効にします** ボックスをチェックします。もし **暴露** に設定されています **レンジ (屋外)**、照明装置は、自動的に光の条件に応じてオンまたはオフされま
- す。しかし、IR イルミネーターは完全にクリアすることでオフにすることができます **照明を有効に** します ボックスをチェックします。
- 注意：** コンテキストカメラに関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。

シャープポータル - 解析ページ

ザ・解析ページから入手できます。 **コンフィギュレーションメニュー**。使用**解析SharpV**で読み取るナンバープレートに使用する分析を構成するためのページ。

- **コンテキスト**：SharpVが読んされているプレートの原点を選択します。
- **読み込みモード**：以下の読み取りモードのいずれかを選択します。
 - **連続**：連続して撮影するプレートのためにこれを選択します。これがデフォルトの設定です。
 - **条件**：このオプションを選択すると、SharpVプレートがあれば、選択された入力信号が規定される条件を（高/低）を満たすように連続的に読み取る撮像します。あなたは、入力を選択し、状態が高いか低いかを指定する必要があります。
 - **トリガー上の単一の読み取り**：SharpV信号は、電気トリガから受信された後に読んでプレートをキャプチャするように、このオプションを選択するか、またはセキュリティセンターイベント・ツー・アクションまたはホットアクションの後。この構成は、ゲート付きの駐車場への車両のアクセスを制御するのに便利です。あなたは前またはトリガが起動された後に発生するプレートのリード・キャプチャを設定することができます。
 - **トリガーを追加します**。トリガーを追加して選択します。あなたは、次の項目を設定する必要があります。
 - **いつ**。トリガ信号を受信する入力を選択し、入力の状態を示す（Lowまたは**高い**）。あなたはまた、外部入力を選択することができます（セキュリティセンターのイベントにアクションまたはホットアクション）。
 - **キャプチャウィンドウ**。
 - **スタート X ミリ秒前/トリガ後**。キャプチャは、X ミリ秒までの前またはトリガーがアクティブ化された後に発生する可能性があります。
 - **期間 X ミリ秒**。システムは、最大 30000 ミリ秒プレート読み取りを捕捉しようとしています。4000 ミリ秒がデフォルト値です。
重要: キャプチャウィンドウは、トリガがアクティブになる時間の前に終了することはできません。
 - **いいえプレートの場合**。
 - **トリガー後のキャプチャ画像は、X ミリ秒**。何のプレートがで指定された時間の間に読まれていない場合**キャプチャウィンドウ**、**何のプレートません**読み出しが記録され、システムがそう車両のコンテキストを撮像します
読み取りが手動で編集することができます。
 - **コンテキスト画像として LPR の画像を使用します**。LPR カメラからの画像は、のコンテキストイメージを置き換えるために使用されます**何のプレートません**読む。
 - **トリガー後のキャプチャ画像は、X ミリ秒**。何のプレートがで指定された時間の間に読まれていない場合**キャプチャウィンドウ**、「**全くプレート**」記録され読み出されず、リードを手動で編集することができるように、システムは、車両のコンテキストを撮像します。
 - **コンテキスト画像として LPR の画像を使用します**。LPR カメラからの画像が「**NO プレート**」のコンテキスト画像を置き換えるために使用されて読み取ります。
注意： コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
- **戦略を読みます** 次の読み取りの戦略のいずれかを選択します。
 - **動きの遅い車**：彼らのナンバープレートを撮影している時に車両がゆっくりと移動している場合に選択します。例えば、駐車場ゲートまたは料金所のためにこれを使用しています。
 - **動きの速い車**：彼らのナンバープレートを撮影しているとき、車両が高速に中程度で走行している場合に選択します。例えば、高速道路を見下ろすシャープため、このオプションを選択します。
 - **ゲート制御**：彼らのナンバープレートを撮影している時に車両が停止している場合に選択します。例えば、ゲート付き駐車場や料金所を監視しているシャープのためにこれを使用しています。
 - **オプション**：選択 **固定設備用に最適化** 偽陽性を減少させるために関心のスマートリージョンを作成します。

- **内容を読みます** あなたが読むことを試みることは SharpV をご希望のものを選択します。
注意: あなたが状態を追加することができ、車両はセキュリティデスクのレポートでこの情報を照会するために、セキュリティセンターの注釈フィールドとして行い、信頼性スコア。
 - **状態:** あなたはナンバープレートの原点 (発行状態、地域、または国) を読んで試行するシャープユニットをしたい場合は、このオプションを選択します。
注意: プレート状態認識は、すべての状態の利用できない場合があります。
 - **車のメイク:** あなたはブランドやロゴから車両の make を読む (ホンダ、トヨタなど) しようとするシャープユニットをしたい場合は、このオプションを選択します。
 - **信頼性スコア:** 各ナンバープレート読み取り (0-100) 数値を割り当てます。この値は、SharpV が読み取りの精度であるか確信を示しています。

シャープポータル - Extension ページ

ザ・拡張ページから入手できます。 **コンフィギュレーションメニュー**。使用 **拡張 SharpV** は、LPR データを送る場所を設定するためのページ。

- **拡張タイプ**：ドロップダウンリストから、拡張タイプを選択します。
 - なし：デフォルトの状態。
 - **FTP**：FTP サーバーへの LPR データを送信します。以下を設定します。
 - **サーバ**：LPR データ用のサーバーの名前と場所を入力します。
 - **ユーザー名**：サーバーのユーザー名を入力します。
 - **パスワード**：サーバーのパスワードを入力します。
 - **接続テスト**：サーバアドレスが SharpV で行くことができるかどうかを判断するためにクリックしてください。
 - **コンテンツプレート**：LPR データが示すテンプレートを使用して、XML 形式で送信されます。あなたが選択した場合は、特定の要素を変更することができます。
 - **輸出関連画像**：(JPEG 形式) コンテキスト画像を書き出します。
注意：コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
 - **輸出 LPR 画像**：(JPEG 形式) プレートの画像を送信します。
 - **接続が失われたときにデータを保持します**。サーバーとの接続が失われた場合 SharpV データベースにローカルに保存されるように読み込むプレートのため、このオプションを選択します。システムは、サーバと 30 秒ごとに再接続を試みます。保存された接続が再確立されたときにサーバーにプッシュされている読み込みます。
 - **サンプルを送信**：クリック **試験板を送信** システムが構成された設定を使用してサーバーに接続できることを確認します。
 - **HTTP**：HTTP サーバへの LPR データを送信します。以下を設定します。
 - **サーバ**：LPR データ用のサーバーの名前と場所を入力します。
 - **ユーザー名**：サーバーのユーザー名を入力します。
 - **パスワード**：サーバーのパスワードを入力します。
 - **証明書エラーを無視**：ない HTTPS サーバに LPR データを送信する際には、このオプションを選択します信頼された証明書を持っていません。SharpVwill は、このオプションが選択されていない限り、信頼できる証明書を持っていない HTTPS サーバに LPR データを送信しません。
 - **フォーマット**：LPR データのフォーマットを選択します。あなたは、JSON または XML 形式のいずれかを選択することができます。
 - **輸出関連画像**：(JPEG 形式) コンテキスト画像を書き出します。
注意：コンテキスト画像に関する情報は、ITS のカメラを SharpV には適用されません。
 - **輸出 LPR 画像**：(JPEG 形式) プレートの画像を送信します。
 - **接続が失われたときにデータを保持します**。サーバーとの接続が失われた場合 SharpV データベースにローカルに保存されるように読み込むプレートのため、このオプションを選択します。システムは、サーバと 30 秒ごとに再接続を試みます。保存された接続が再確立されたときにサーバーにプッシュされている読み込みます。
 - **サンプルを送信**：クリック **試験板を送信** システムが構成された設定を使用してサーバーに接続できることを確認します。
 - **セキュリティセンター**：セキュリティセンターに LPR データを送信します。次のオプションを設定します。
 - このユニットは、**セキュリティセンターへの接続を管理**します。あなたは現在、セキュリティセンターへの接続を管理するために設定されている SharpV をしたい場合は、このオプションを選択します。あなたは次のように入力する必要があります。

- **サーバ**：セキュリティセンターのサーバのアドレス。
- **ポート**：セキュリティセンターのサーバー上の LPR マネージャーの役割のポートをリスニング - ライブを入力します。
- **ディスカバリーポート**：SharpV が発見要求をリスンするポート。あなたはセキュリティセンターを選択した場合、ポートは LPR Manager のプロパティ]ページで入力した検出ポートと一致する必要があります。
- **制御ポート**：手動で新しい LPR ユニット (シャープ) を作成するときに、ポートは、セキュリティセンターの設定ツールで使用されます。
- **プロバイダポートを更新します**。シャープは、このポート上でセキュリティセンターからの最新情報を受け取ります。シャープを更新するには、LPR Manager のプロパティ]ページの [Update プロバイダを有効にする必要があります、およびポート番号が一致している必要があります。
- **接続テスト**：サーバアドレスが SharpV で行くことができるかどうかを判断するためにクリックしてください。

シャープポータル - 日付と時刻のページ

ザ・日時ページから入手できます。 **コンフィギュレーションメニュー**。使用日時ページでは、SharpV の内部クロックを設定する方法を設定します。

- **設定**：次のいずれかの設定を選択します。
 - **いいえ同期ありません**。デフォルトの状態。SharpV は、自身のクロックを使用しています。
 - **NTP サーバ**：（例えば、time.windows.com）知られているタイムサーバの URL を入力します。SharpV クロックは、起動時にこのサーバ、その後、時間ごとに同期します。あなたは、テスト接続をクリックして、いつでも接続をテストすることができます。
 - **アクティブな拡張機能 (セキュリティセンター)**：それが接続されているセキュリティセンターのサーバ上のクロックと SharpV クロックを同期するためにクリックしてください。SharpV クロックは、接続時にセキュリティセンターのサーバのクロックと、その後 24 時間ごとに同期されます。
重要: あなたが他の拡張型のいずれかの使用 (FTP、HTTP、およびように) している場合は、このオプションを選択しても効果はありません。アクティブな拡張タイプは、セキュリティセンターとして設定されている場合にのみ使用することができます。アクティブな拡張は、Extension ページ上に設定されています。
 - **今、クライアントブラウザとの同期**：あなたはシャープポータルに接続するために使用しているクライアントマシンで日付と時刻を同期するためにクリックしてください。カメラは、一回の同期を行います。
重要: あなたは LPR マネージャーの役割をホストするサーバから SharpV の Web ポータルに接続されていない限り、クライアントのブラウザで SharpV クロックを同期しないでください。あなたはセキュリティセンターサーバ以外のコンピュータとのクロックを同期させる場合は、カメラの読み取りとヒットは正確なタイムスタンプを持っていない可能性があります。
- **日付と時刻の形式**：次の日付と時刻の形式のいずれかを選択します。
 - **国際**：国際オプションを選択する形式で日付と時刻を表示します。YYYY-MM-DD HH : MM : SS
 - **インペリアル**：インペリアルオプションを選択する形式で日付と時刻を表示します。DD / MM / YYYY H : MM : SS AM / PM

シャープポータル - 電源オプショ

ザ・電源オプションページから入手できます。設定>一般設定 メニュー。使用電源オプション設置場所の電力網に基づいてカメラを設定するためのページ。

- **電源ライン周波数**：設置場所に対応し、電源ライン周波数を選択します。
 - **60 ヘルツ**：一般的には、北米と南米で使用されます
 - **50 ヘルツ**。一般的にアフリカ、オーストラリア、アジア、ヨーロッパで使用されます

注意： インストールの場所で使用される電源ライン周波数の詳細については、 [ここをクリック](#)。

シャープポータル - メンテナンス

ザ・メンテナンスページから入手できます。 **コンフィギュレーションメニュー**。使用**メンテナンス**ページには、ディスク容量、インポートおよびエクスポートの設定を解放し、**SharpV** を再起動します。

- **バージョン** :
 - **画像** : 現在インストールされている画像/ファームウェアを表示します。
 - **バージョン** : インストール SharpOS のバージョンを表示します。
 - **ディスク領域を解放** : ログファイル、キャッシュファイルを削除することによって解放され、かつ保存された読み込み可能なディスク領域の量を表示します。表示されたスペースを再利用するためのスペースを**無料アップ**をクリックします。
重要: 保存しておきたい SharpV に保存されている読み込み未送信があると思われる場合のスペースを**無料**をクリックしないでください。
 - **更新** : SharpOS を更新する]をクリックします。

設定

- **エクスポートの設定** : .zip ファイルとして設定し、**診断設定をエクスポートする]**をクリックします。あなたは、技術サポートのための.zip ファイルを使用することもできますし、簡単な設定のために別のシャープユニットに設定をインポートすることができます
- **設定のインポート** : 別のシャープからエクスポートされた.zip ファイルからのインポート構成設定を。あなたはすぐにあなたのシャープを設定するには、この.zip ファイルを使用することができます。あなたが設定をインポートした後、プレートリーダーサービスが自動的に再起動します。
重要: あなただけの同様のシャープ (同じモデルと SharpOS バージョン) から設定をインポートすることができます。
- **工場出荷時のデフォルトにリセット** : 工場出荷時のデフォルト設定を使用するように SharpV をリセットするためにクリックしてください。

シスログ

- **Syslog サーバーを使用します**。すべて SharpV ログエントリの中央リポジトリを設定するには、このオプションを選択します。
 - **サーバ** : サーバーの名前を入力します。
 - **ポート** : ポートの名前を入力します。
 - **ネットワークプロトコル** : UDP または TCP を選択します。

再起動ユニット : SharpV を再起動します。

シャープポータル - ログ

ログページには、Diagnostics メニューから利用可能です。レポートを実行し、SharpV のステータスに関するログを生成するログページを使用します。あなたはその上の特定のソース、メッセージでフィルタリング、およびすることができます。ログレポートはまた、メンテナンスページにエクスポートの設定を選択することで、.zip ファイルにエクスポートすることができます。

- **重要度**：レポートクエリに含める重大度のタイプを選択し、アイコンをクリックしてください。あなたは、次の中から選択することができます。
 - エラー
 - 警告
 - 情報
 - デバッグ
 - 演奏
- **ソース**：レポートクエリに含めるソースを選択します。
- **メッセージ**：メッセージを入力します。入力されたメッセージ文字列を含むログのみがクエリに表示されます。
- **個別エントリのみ**：同じメッセージとログは一度だけ表示されます。
- **時間**：時間範囲を選択します。
- **サーチ**：クエリを実行するためにクリックしてください。
- **一時停止**：クエリの自動更新を一時停止するにはクリックしてください。あなたが特定のエントリに集中できるように入ってくるから、新しいエントリを停止したいときに便利です。クエリの自動更新を有効にするには再開をクリックします。
- **ログインする出典**：ログを生成するからソースを選択します。たとえば、あなただけのリーダー、リストから選択プレートリーダーをプレートに関連するログイベントを生成する場合。

注意： その名前に含まれているソース (冗長) は、ディスクの活動の多くを生成することがあります。

どこの製品情報を検索します

次の場所で私たちの製品マニュアルを見つけることができます。

- **ゼネテック™技術情報サイト**：最新のドキュメントは、技術情報サイトで提供されています。技術情報サイトにアクセスするには、ログオン**ゼネテック™ポータル** クリックします **テクニカル 情報**。お探しのものが見つかりませんか？ 接触 documentation@genetec.com。
- **インストールパッケージ**：インストール・ガイドおよびリリースノートには、インストールパッケージの Documentation フォルダにあります。これらの文書は、文書の最新バージョンへの直接ダウンロードリンクを持っています。
- **助けて**：セキュリティセンターのクライアントおよび Web ベースのアプリケーションは、製品が動作し、製品の機能を使用する方法についての指示を提供する方法を説明し、ヘルプが含まれています。ゼネテックパトローラー™とシャープ Portal はまた、各画面の状況依存ヘルプが含まれます。ヘルプにアクセスするには、ヘルプ、F1 キーを押しをクリックするか、をタップ？異なるクライアントアプリケーションで（疑問符）。

技術サポート

ゼネテック™技術支援センター (GTAC) が利用可能な最善の技術サポートサービスとの世界的な顧客を提供することにコミットしています。ゼネテック株式会社の顧客として、あなたが情報を見つけて、あなたの製品に関する質問への回答を検索することができます。ゼネテック™技術情報サイトへのアクセスを持っています。

- **ゼネテック™ 技術情報サイト**：ご質問にお答えしたり、技術的な問題を解決するのに役立つ記事、マニュアル、およびビデオを検索します。

GTAC に接触したりサポートケースを開く前に、潜在的な修正、回避策、または既知の問題については、技術情報サイトを検索することをお勧めします。

技術情報サイトにアクセスするには、ログオン **ゼネテック™ポータル** クリックします **技術的な案内**。お探しのものが見つかりませんか？ 接触 documentation@genetec.com。

- **ゼネテック™ 技術支援センター (GTAC)**：GTAC はゼネテックに記述されている連絡します™ ライフサイクル管理 (GLM) のドキュメント：[EN_GLM_ASSURANCE](#) そして [EN_GLM_ADVANTAGE](#)。

その他のリソース

あなたはゼネテック™技術支援センター以外の追加のリソースが必要な場合は、次のように利用することができます：

- **フォーラム**：フォーラムはゼネテック Inc.の顧客や従業員が相互に通信し、技術のヒントに技術的な質問に至るまで、さまざまなトピックを議論することができます。簡単に使用できるメッセージボードです。あなたは、ログインまたはサインアップすることができます <https://gtapforum.genetec.com>。
- **技術研修**：プロの教室の環境で、または独自のオフィスの利便性から、私たちの資格のトレーナーは、システムの設計、設置、運用をご案内することができます。かつトラブルシューティング。技術的なトレーニングサービスは、すべての製品のためにと技術的な経験の様々なレベルでの顧客のために提供されており、特定のニーズや目的に合わせてカスタマイズすることができます。詳細については、にアクセスしてください <http://www.genetec.com/support/training/training-calendar>。

ライセンス

- **ライセンスアクティベーションまたはリセットするために**、GTAC でお問い合わせください <https://gtap.genetec.com>。
- **ライセンスコンテンツまたは一部の番号、または順序についての懸念の問題については**、次のゼネテック™カスタマーサービスまでご連絡ください customerservice@genetec.com、またはコール 1-866-684-8006 (オプション #3)。
- **デモ・ライセンスを必要とするか、または価格設定に関する質問がある場合は**、でゼネテック™セールスまでお問い合わせください sales@genetec.com、またはコール 1-866-684-8006 (オプション #2)。

ハードウェア製品の問題や欠陥

GTAC でお問い合わせください <https://gtap.genetec.com> ゼネテック™アプライアンスまたはゼネテック株式会社を通じて購入したハードウェアに関するすべての問題に対処するため